令和元年度

秋田県学習状況調査

調 査 結 果 報 告 書

令和２年２月

秋田県教育委員会

ま　え　が　き

県教育委員会では、令和元年１２月に、小学校第４学年から中学校第２学年までの全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施いたしました。

この調査のねらいは、県として、①学習指導要領の内容等の定着の程度を把握すること、②少人数学習の成果や課題を捉えること、そして、各学校において、③児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導の工夫改善を図ること、④全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立することなどにより、本県の教員の学習指導の改善・充実や児童生徒の学力向上に役立てるところにあります。

この調査では、小学校第４学年が国語、算数、理科の３教科、小学校第５・６学年が国語、社会、算数、理科の４教科、中学校第１・２学年が国語、社会、数学、理科、英語の５教科の教科に関する調査と、「学習習慣や学校生活についての意識」「各教科等の学習に対する意識」「読書についての意識」など、学習の意欲等に関する質問紙調査を実施いたしました。教科に関する調査の特色として、全国学力・学習状況調査における「活用」に関する問題の出題趣旨を踏まえた問題を出題するとともに、県の課題の改善状況を明らかにするための複数学年にわたる共通問題や、本県で重視している“「問い」を発する子ども”を育成するための基盤づくりに資する問題、高校入試と関連した問題等を出題いたしました。また、学習の意欲等に関する質問紙調査では、全国学力・学習状況調査を踏まえて質問項目を一部見直すことで、各学校が調査結果を比較・分析して自校の児童生徒の学習に対する意識等を的確に捉え、学習指導の一層の改善・充実に役立てることができるようにいたしました。

さて、小学校においては来年度から、中学校においては令和３年度から全面実施となる新学習指導要領には、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが示されております。今年度の全国学力・学習状況調査及び本調査の児童生徒質問紙調査の結果からは、授業において、児童生徒が主体的に学習活動に取り組もうとしている様子や、対話を通して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている様子がうかがえました。このことは、各学校が諸調査等を自校の検証改善サイクルの中に位置付け、成果と課題を分析して授業改善の取組を継続的に行ってきたことや、「秋田の探究型授業」の基本プロセスを学習過程に効果的に取り入れ、“「問い」を発する子ども”の育成に向けた取組を推進してきたことの表れと捉えております。

本報告書は、令和元年度の秋田県学習状況調査の結果に基づき、全県的な学習状況や今後の授業改善のポイント等をまとめたものです。各学校や市町村教育委員会においては、本報告書及び調査問題を日常の学習指導や教育への取組の改善・充実に積極的に活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました県内全ての市町村教育委員会、各学校の皆様に心から御礼申し上げます。

令和２年２月

秋田県教育委員会

目　　次

1　調査の概要 ---------- 1

2　調査の特徴、用語等 ---------- 2

3　調査結果の概要 ---------- 3
(1) 教科に関する調査の結果
① 設定通過率との比較 ---------- 3
② 各教科の観点又は領域別の設定通過率との比較 ---------- 4
③ 類似問題との比較 ---------- 5
④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較 ---------- 6

(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果
① 学習全般についての結果概要 ---------- 11
② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要 ---------- 11
③ 学習全般について ---------- 12
④ 生活全般について ---------- 14
⑤ 家庭学習について ---------- 17
⑥ 授業について ---------- 18
⑦ 各教科等の学習に対する意識について ---------- 21
⑧ 読書について ---------- 30

4　結果と考察 ---------- 31

本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。

(1) 国語
・小学校第４学年 ---------- 32
・小学校第５学年 ---------- 36
・小学校第６学年 ---------- 40
・中学校第１学年 ---------- 44
・中学校第２学年 ---------- 48

(2) 社会
・小学校第５学年 ---------- 52
・小学校第６学年 ---------- 56
・中学校第１学年 ---------- 60
・中学校第２学年 ---------- 64

(3) 算数、数学
・小学校第４学年 ---------- 68
・小学校第５学年 ---------- 72
・小学校第６学年 ---------- 76
・中学校第１学年 ---------- 80
・中学校第２学年 ---------- 84

(4) 理科
・小学校第４学年 ---------- 88
・小学校第５学年 ---------- 92
・小学校第６学年 ---------- 96
・中学校第１学年 ---------- 100
・中学校第２学年 ---------- 104

(5) 英語
・中学校第１学年 ---------- 108
・中学校第２学年 ---------- 112

令和元年度
秋田県学習状況調査

１　調査の概要
２　調査の特徴・用語等
３　調査結果の概要

1　調査の概要

(1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査、本調査及び高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

○本報告書において、「小・中学校」は義務教育学校、「小学校」は義務教育学校の前期課程、「中学校」は義務教育学校の後期課程をそれぞれ含んでいます。

（人）

校種・学年 ＼ 実施教科等	小　学　校			中　学　校	
	第４学年	第５学年	第６学年	第１学年	第２学年
国　　語	６，８７４	６，９８８	７，１２７	７，１５０	６，９０９
社　　会		６，９８８	７，１２６	７，１４４	６，９１１
算数・数学	６，８７２	６，９８８	７，１２５	７，１５１	６，９１１
理　　科	６，８７５	６，９９２	７，１２８	７，１４６	６，９０９
英　　語				７，１４８	６，９１５
学習の意欲等に関するアンケート	６，８８６	６，９９７	７，１２９	７，１７０	６，９５０
参　加　者	６，８８６	６，９９７	７，１２９	７，１７０	６，９５０
小・中ごとの参加者計	２１，０１２			１４，１２０	
参加者合計	３５，１３２				

(3) 出題内容

①　基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質や能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

②　出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容が含まれる場合もある。

(4) 調査実施日

小学校　　令和元年１２月　４日（水）

中学校　　令和元年１２月　５日（木）

2　調査の特徴、用語等

(1) 特徴

① 評価規準の設定
- 観点別評価の実施
- 調査する基礎・基本の明確化

② 設定通過率の設定
- 県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定

③ 教科に関する調査と学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握
- 多面的な学力の把握

④ 過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較
- 学力の経年変化の把握

⑤ 複数学年にわたる共通問題
- 身に付けておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容の定着度の把握
- 前年度までの調査において課題が見られた問題についての改善状況の把握

⑥ 思考力、判断力、表現力に関する問題
- 全国学力・学習状況調査における「活用」に関する問題の出題趣旨を踏まえた問題
- “「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題

⑦ 秋田県公立高等学校における学力検査の現状分析に基づいた問題
- 改善状況の把握

⑧ 調査結果の活用の工夫
- 各学校における結果分析に基づいた指導の改善
- 報告書の作成

(2) 用語

① 通過率
- 各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合
  （各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%）

② 平均通過率
- 全問題の通過率の平均

③ 設定通過率
- 問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足」な状況とするかをあらかじめ定めた値（分析する上での参考値として示している）

④ 正答数別度数分布
- 正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ

⑤ 小問別通過率度数分布表
- 各小問における通過率ごとの学校数を示した表

(3) データ処理の方法

採点、データ入力・集約
- 本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。
- 各学校の教科に関する調査及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。

3　調査結果の概要

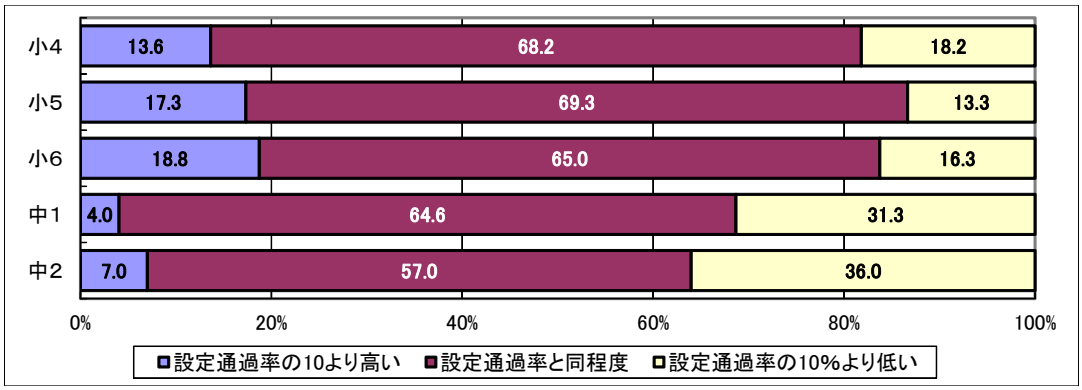
(1) 教科に関する調査の結果

① 設定通過率との比較

・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第４学年が81.8%、小学校第５学年が86.6%、小学校第６学年が83.8%、中学校第１学年が68.6%、中学校第２学年が64.0%であった。昨年度に比べて、小学校第５学年は5.0ポイント高くなっている。一方、中学校はいずれの学年も昨年度の通過割合を下回った。

・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第４学年国語、第５学年算数、理科、第６学年社会、理科、中学校では第２学年国語であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、中学校の第１学年社会、数学、第２学年社会、数学、理科、英語であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

校　種	教　科	学　　年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
小学校	国　語	第４学年	71.1	70.4	0.7	83.3%
		第５学年	67.8	70.0	-2.2	80.0%
		第６学年	68.4	70.0	-1.6	90.0%
	社　会	第５学年	69.5	70.5	-1.0	80.0%
		第６学年	72.5	70.5	2.0	85.0%
	算　数	第４学年	70.1	72.5	-2.4	80.0%
		第５学年	76.4	72.5	3.9	90.0%
		第６学年	67.1	70.0	-2.9	70.0%
	理　科	第４学年	72.7	73.8	-1.1	83.3%
		第５学年	80.8	73.8	7.0	95.0%
		第６学年	76.0	71.5	4.5	90.0%
中学校	国　語	第１学年	63.2	70.0	-6.8	73.7%
		第２学年	73.6	70.8	2.8	80.0%
	社　会	第１学年	57.7	70.0	-12.3	55.0%
		第２学年	58.8	70.0	-11.2	70.0%
	数　学	第１学年	56.2	70.0	-13.8	65.0%
		第２学年	56.9	70.0	-13.1	65.0%
	理　科	第１学年	62.6	70.0	-7.4	75.0%
		第２学年	54.9	70.0	-15.1	55.0%
	英　語	第１学年	62.5	70.0	-7.5	75.0%
		第２学年	51.4	70.3	-18.9	50.0%

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれを上回る（＋10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点又は領域別の設定通過率との比較

・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）が75%以上であるのは、小学校では国語の全観点、社会の「技能」と「知識・理解」、算数の「考え方」と「知識・理解」、理科の全観点であった。一方、中学校では、国語の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」、理科の「技能」であった。

・通過率が設定通過率を下回る問題は、小学校では社会の「思考・判断・表現」、算数の「技能」、中学校では国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、社会のの「思考・判断・表現」と「技能」、数学の「技能」と「知識・理解」、理科の「思考・表現」、英語の「理解の能力」であった。

＜小学校＞

教科名	観点又は領域	問題数	＋10%より高い	±10%の範囲内	－10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	3	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)
	書くこと	3	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)
	読むこと	16	0 (0.0%)	12 (75.0%)	4 (25.0%)
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	25	4 (26.9%)	18 (61.5%)	3 (12.0%)
社会	思考・判断・表現	16	1 (6.3%)	10 (62.5%)	5 (31.3%)
	技能	13	3 (23.1%)	9 (69.2%)	1 (7.7%)
	知識・理解	11	4 (36.4%)	6 (54.5%)	1 (9.1%)
算数	考え方	20	4 (20.0%)	15 (75.0%)	1 (5.0%)
	技能	21	2 (9.5%)	11 (52.4%)	8 (38.1%)
	知識・理解	19	1 (5.3%)	15 (78.9%)	3 (15.8%)
理科	思考・表現	24	7 (29.2%)	15 (62.5%)	2 (8.3%)
	技能	8	1 (23.1%)	7 (76.9%)	0 (0.0%)
	知識・理解	20	7 (35.0%)	10 (50.0%)	3 (15.0%)

＜中学校＞

教科名	観点又は領域	問題数	＋10%より高い	±10%の範囲内	－10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	5	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)
	書くこと	2	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
	読むこと	12	3 (25.0%)	6 (50.0%)	3 (25.0%)
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	20	2 (10.0%)	12 (60.0%)	6 (30.0%)
社会	思考・判断・表現	15	0 (0.0%)	9 (60.0%)	6 (40.0%)
	技能	13	0 (0.0%)	8 (61.5%)	5 (38.5%)
	知識・理解	12	0 (0.0%)	8 (66.7%)	4 (33.3%)
数学	考え方	12	0 (0.0%)	8 (66.7%)	4 (33.3%)
	技能	16	0 (0.0%)	11 (68.8%)	5 (31.3%)
	知識・理解	12	0 (0.0%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)
理科	思考・表現	15	2 (13.3%)	5 (33.3%)	8 (53.3%)
	技能	8	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)
	知識・理解	17	0 (0.0%)	12 (70.6%)	5 (29.4%)
英語	表現の能力	5	0 (0.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)
	理解の能力	23	0 (13.6%)	16 (77.3%)	7 (30.4%)
	言語や文化についての知識・理解	12	0 (0.0%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)

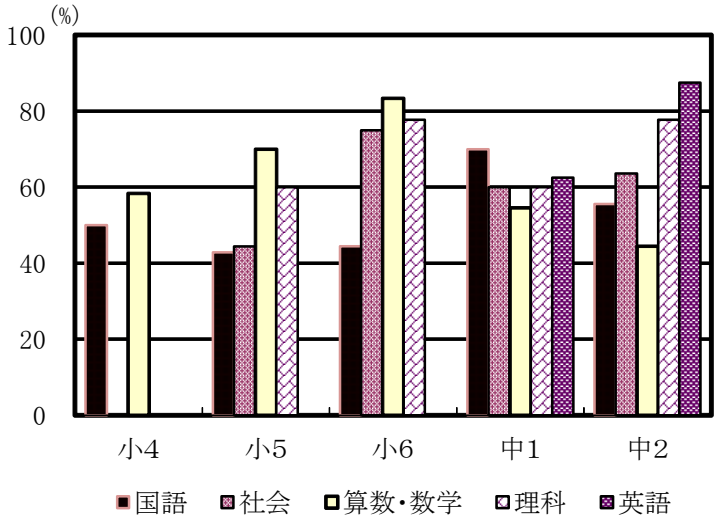
③　類似問題との比較

・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では94問中56問（59.6%）、中学校では95問中60問（63.2%）であった。

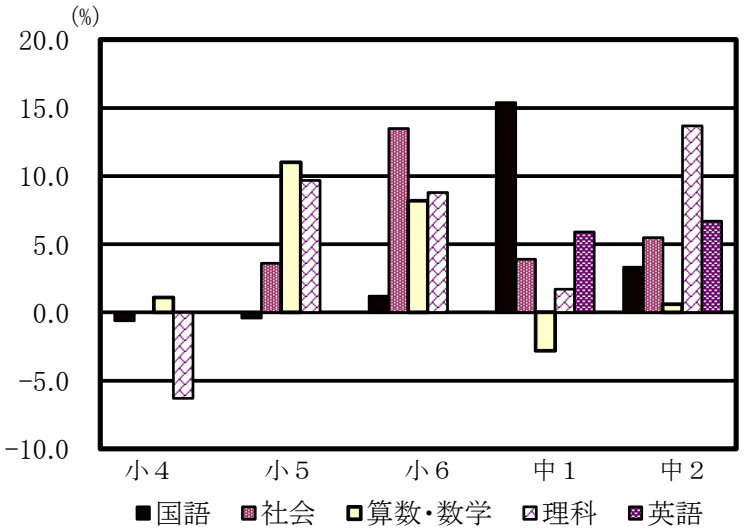
・学年・教科別に見ると、類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合が70%以上だったのは、小学校では第５学年の算数、第６学年の社会、算数、理科であった。中学校では第１学年の国語、第２学年の理科、英語であった。

・類似問題の通過率の平均を比較すると、社会と英語は全ての学年で過去の通過率の平均を上回っている。小学校第４学年の国語、理科、第５学年の国語、中学校第１学年の数学は下回っているものの、その差は－10ポイント以内である。

類似問題において過去の通過率を上回った問題数の割合



類似問題において過去の通過率の平均を基準とした今年度の通過率の平均



④　各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設　定：設定通過率
通過率：今年度の平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	85	94.6	
小4	2)	85	97.2	
小4	3)	75	73.8	
小4	4)	70	72.1	
小4	5)	60	52.9	59.1
小4	6)	60	74.7	57.3
小4	7)	70	75.9	
小4	8)	70	70.7	
小4	9)	65	64.8	
小4	10)	60	43.2	
小4	11)	60	41.8	59.9
小4	12)	85	92.0	87.7

設定通過率	70.4		
平均通過率		71.1	
類似問題		65.4	66.0

	番号	設定	通過率	類似
小5	2)	90	93.4	
小5	3)	75	77.0	
小5	4)	75	77.1	
小5	5)	60	38.0	
小5	6)	75	74.4	
小5	7)	65	61.2	90.6
小5	8)	65	81.4	60.9
小5	9)	65	53.3	71.3
小5	10)	60	51.7	
小5	11)	65	56.4	63.9
小5	12)	75	75.7	
小5	13)	75	80.1	
小5	14)	70	64.1	41.9
小5	15)	60	49.2	71.9
小5	16)	75	84.4	52.6

設定通過率	70.0		
平均通過率		67.8	
類似問題		64.3	64.7

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	90	91.6	
小6	2)	70	68.0	
小6	3)	75	75.5	
小6	4)	75	76.5	
小6	5)	75	78.9	
小6	6)	70	70.8	
小6	7)	65	84.3	77.1
小6	8)	65	65.8	35.1
小6	9)	90	93.1	
小6	10)	65	66.0	68.5
小6	11)	60	43.3	
小6	12)	60	60.7	79.8
小6	13)	70	67.5	
小6	14)	70	65.9	
小6	15)	70	68.9	72.2
小6	16)	80	75.9	79.7
小6	17)	60	50.0	79.7
小6	18)	60	40.9	
小6	19)	70	65.3	53.2
小6	20)	60	59.1	39.5

設定通過率	70.0		
平均通過率		68.4	
類似問題		66.2	65.0

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	70	48.7	
中1	3)	65	8.6	
中1	4)	75	68.7	
中1	5)	60	54.7	
中1	6)	70	51.0	26.5
中1	7)	75	77.0	30.2
中1	8)	80	94.4	63.7
中1	9)	70	67.7	73.9
中1	10)	70	64.4	64.6
中1	11)	70	60.2	19.7
中1	12)	75	80.9	77.6
中1	13)	70	75.8	
中1	14)	80	82.2	
中1	15)	65	48.9	83.0
中1	16)	65	63.7	30.4
中1	17)	65	59.6	
中1	18)	60	42.8	
中1	19)	75	70.2	54.7
中1	20)	70	81.9	

設定通過率	70.0		
平均通過率		63.2	
類似問題		67.8	52.4

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	80	91.7	81.0
中2	2)	80	86.7	
中2	3)	75	94.8	87.2
中2	4)	70	71.1	
中2	5)	85	91.7	
中2	6)	60	60.9	
中2	7)	80	87.1	
中2	8)	70	80.0	48.0
中2	9)	75	58.1	88.1
中2	10)	60	46.1	
中2	11)	70	73.6	78.7
中2	12)	75	87.0	38.6
中2	13)	75	64.6	92.5
中2	14)	60	15.2	27.8
中2	15)	70	75.9	69.1
中2	16)	60	57.5	
中2	17)	70	86.9	
中2	18)	70	87.6	
中2	19)	60	78.0	
中2	20)	70	78.1	

設定通過率	70.8		
平均通過率		73.6	
類似問題		71.2	67.9

【社会】

設　定：設定通過率
通過率：今年度の平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	80	92.2	
小5	2)	60	65.5	
小5	3)	65	56.0	57.1
小5	4)	75	77.2	69.7
小5	5)	85	76.5	85.1
小5	6)	65	72.1	60.7
小5	7)	75	77.0	72.7
小5	8)	65	60.4	
小5	9)	85	85.3	87.0
小5	10)	65	53.8	
小5	11)	70	70.5	
小5	12)	65	77.0	
小5	13)	85	83.2	85.1
小5	14)	65	49.7	57.1
小5	15)	70	60.1	
小5	16)	60	43.0	
小5	17)	75	71.6	
小5	18)	70	58.1	
小5	19)	70	92.8	
小5	20)	60	68.1	38.2

設定通過率	70.5		
平均通過率		69.5	
類似問題		71.7	68.1

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	85	95.1	
小6	2)	65	74.7	
小6	3)	75	96.3	
小6	4)	65	78.3	44.2
小6	5)	70	78.7	63.9
小6	6)	70	73.2	
小6	7)	65	60.8	
小6	8)	85	86.1	95.0
小6	9)	75	90.6	
小6	10)	60	35.3	
小6	11)	65	59.9	
小6	12)	70	91.8	47.3
小6	13)	65	73.6	
小6	14)	75	67.9	70.0
小6	15)	60	40.2	
小6	16)	75	80.9	78.9
小6	17)	75	79.1	64.7
小6	18)	75	77.4	67.9
小6	19)	70	54.5	
小6	20)	65	56.1	

設定通過率	70.5		
平均通過率		72.5	
類似問題		80.0	66.5

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	75	76.2	
中1	2)	60	17.1	
中1	3)	60	50.8	
中1	4)	65	61.3	
中1	5)	80	70.3	85.3
中1	6)	80	82.3	
中1	7)	75	54.9	
中1	8)	60	41.1	
中1	9)	65	45.3	
中1	10)	60	39.5	48.1
中1	11)	80	82.0	50.3
中1	12)	65	45.6	38.0
中1	13)	60	41.8	
中1	14)	80	85.4	68.9
中1	15)	75	78.3	59.1
中1	16)	65	44.5	
中1	17)	85	79.1	75.7
中1	18)	80	71.1	85.1
中1	19)	60	23.4	32.0
中1	20)	70	64.8	58.1

設定通過率	70.0		
平均通過率		57.7	
類似問題		64.0	60.1

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	85	77.1	
中2	2)	65	46.8	53.7
中2	3)	60	50.4	40.6
中2	4)	65	58.7	
中2	5)	60	53.0	59.1
中2	6)	60	45.5	
中2	7)	85	83.3	
中2	8)	60	45.5	
中2	9)	70	59.5	64.8
中2	10)	75	68.6	41.9
中2	11)	85	80.6	73.3
中2	12)	65	35.1	
中2	13)	85	79.7	
中2	14)	65	19.9	32.4
中2	15)	60	52.2	35.0
中2	16)	80	70.8	64.1
中2	17)	60	53.4	
中2	18)	65	60.1	
中2	19)	75	69.3	46.4
中2	20)	75	67.0	66.3

設定通過率	70.0		
平均通過率		58.8	
類似問題		58.0	52.5

【算数、数学】

設　定：設定通過率
通過率：今年度の平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	85	68.1	
小4	2)	85	64.2	87.2
小4	3)	80	51.6	88.6
小4	4)	75	69.5	
小4	5)	80	76.6	
小4	6)	60	75.0	75.7
小4	7)	70	79.8	67.6
小4	8)	70	59.1	
小4	9)	65	55.7	62.2
小4	10)	65	59.4	47.4
小4	11)	75	75.0	68.1
小4	12)	75	77.3	71.9
小4	13)	60	70.1	39.7
小4	14)	80	84.9	
小4	15)	80	85.8	
小4	16)	75	71.8	70.9
小4	17)	65	59.4	
小4	18)	65	69.6	48.6
小4	19)	80	87.3	
小4	20)	60	62.0	70.4
設定通過率	72.5			
平均通過率		70.1		
類似問題		67.6	66.5	

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	85	91.6	
小5	2)	85	88.7	89.4
小5	3)	80	79.6	77.8
小5	4)	70	77.8	62.1
小5	5)	60	74.3	
小5	6)	65	87.8	49.1
小5	7)	70	78.0	
小5	8)	60	69.2	41.4
小5	9)	65	74.6	
小5	10)	75	79.7	
小5	11)	80	86.6	
小5	12)	80	73.3	
小5	13)	60	61.4	39.3
小5	14)	75	84.3	
小5	15)	75	63.7	79.5
小5	16)	75	60.9	
小5	17)	75	72.4	37.8
小5	18)	80	94.3	93.1
小5	19)	75	68.4	83.3
小5	20)	60	61.1	
設定通過率	72.5			
平均通過率		76.4		
類似問題		76.3	65.3	

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	90	91.2	95.8
小6	2)	75	88.7	64.6
小6	3)	80	81.2	76.0
小6	4)	85	85.8	78.3
小6	5)	65	74.6	
小6	6)	65	69.0	61.5
小6	7)	65	49.9	
小6	8)	65	48.7	
小6	9)	60	47.6	
小6	10)	70	75.5	51.8
小6	11)	60	56.1	48.5
小6	12)	65	67.5	52.1
小6	13)	75	73.7	61.1
小6	14)	70	54.1	
小6	15)	60	72.0	
小6	16)	75	84.0	61.5
小6	17)	75	70.9	
小6	18)	65	35.9	
小6	19)	75	56.9	83.5
小6	20)	60	58.6	54.5
設定通過率	70.0			
平均通過率		67.1		
類似問題		74.0	65.8	

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	85	80.5	86.6
中1	2)	65	55.6	48.9
中1	3)	70	35.4	
中1	4)	60	51.3	63.3
中1	5)	60	54.6	54.1
中1	6)	65	38.2	
中1	7)	70	63.6	63.1
中1	8)	70	25.9	
中1	9)	70	28.9	
中1	10)	65	61.7	58.2
中1	11)	60	46.1	35.7
中1	12)	70	32.3	59.8
中1	13)	80	74.1	73.6
中1	14)	75	84.6	
中1	15)	90	83.4	89.0
中1	16)	60	53.0	
中1	17)	70	65.0	
中1	18)	90	92.1	
中1	19)	65	56.6	58.1
中1	20)	60	42.0	
設定通過率	70.0			
平均通過率		56.2		
類似問題		60.0	62.8	

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	90	84.6	83.5
中2	2)	90	80.2	77.2
中2	3)	80	74.8	77.2
中2	4)	70	48.8	
中2	5)	60	51.8	58.6
中2	6)	60	52.4	66.6
中2	7)	65	56.2	66.4
中2	8)	60	42.6	
中2	9)	60	35.4	
中2	10)	70	64.8	
中2	11)	70	51.4	
中2	12)	65	48.4	
中2	13)	85	78.8	
中2	14)	60	18.2	
中2	15)	70	64.2	51.9
中2	16)	65	55.7	
中2	17)	85	77.8	79.4
中2	18)	75	68.6	
中2	19)	60	26.5	
中2	20)	60	57.9	34.4
設定通過率	70.0			
平均通過率		56.9		
類似問題		66.7	66.1	

【理科】

設　定：設定通過率
通過率：今年度の平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	70	65.6	
小4	2)	70	73.3	
小4	3)	70	61.7	
小4	4)	60	45.9	
小4	5)	80	88.8	91.4
小4	6)	70	62.5	
小4	7)	80	66.4	84.4
小4	8)	70	87.8	
小4	9)	80	95.3	
小4	10)	75	72.4	73.6
小4	11)	80	71.9	75.2
小4	12)	80	80.4	

設定通過率	73.8		
平均通過率		72.7	
類似問題		74.9	81.2

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	70	89.8	73.3
小5	2)	80	96.4	55.3
小5	3)	80	92.7	
小5	4)	65	49.4	
小5	5)	60	62.1	
小5	6)	70	78.0	
小5	7)	75	88.6	
小5	8)	80	82.2	86.1
小5	9)	70	66.6	68.2
小5	10)	65	73.6	66.3
小5	11)	70	85.1	54.9
小5	12)	70	78.8	
小5	13)	75	80.9	76.1
小5	14)	75	79.6	87.0
小5	15)	70	73.0	
小5	16)	65	69.5	
小5	17)	90	91.6	92.7
小5	18)	80	88.5	77.0
小5	19)	80	96.4	
小5	20)	85	92.4	

設定通過率	73.8		
平均通過率		80.8	
類似問題		83.4	73.7

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	80	82.7	74.3
小6	2)	60	39.9	
小6	3)	70	80.0	57.7
小6	4)	80	95.9	
小6	5)	60	52.7	
小6	6)	60	60.5	
小6	7)	80	85.1	
小6	8)	80	96.1	
小6	9)	70	89.8	
小6	10)	70	84.5	
小6	11)	80	83.3	73.4
小6	12)	70	62.0	
小6	13)	80	93.8	92.7
小6	14)	80	92.8	84.5
小6	15)	70	59.5	72.4
小6	16)	60	58.2	18.7
小6	17)	70	73.6	64.9
小6	18)	70	88.6	
小6	19)	60	65.4	
小6	20)	80	75.5	81.4

設定通過率	71.5		
平均通過率		76.0	
類似問題		77.7	68.9

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	70	95.8	
中1	2)	60	31.6	
中1	3)	60	35.2	
中1	4)	75	71.2	64.6
中1	5)	70	65.9	
中1	6)	80	85.4	78.5
中1	7)	70	60.5	50.4
中1	8)	70	25.9	
中1	9)	80	79.7	84.0
中1	10)	65	49.2	57.6
中1	11)	70	62.0	
中1	12)	70	64.3	90.5
中1	13)	75	58.4	67.6
中1	14)	60	53.7	35.3
中1	15)	75	70.0	61.4
中1	16)	80	91.4	
中1	17)	60	55.8	
中1	18)	70	66.6	
中1	19)	70	61.4	
中1	20)	70	67.6	53.4

設定通過率	70.0		
平均通過率		62.6	
類似問題		66.0	64.3

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	80	74.4	
中2	2)	70	45.3	26.8
中2	3)	80	79.7	89.1
中2	4)	60	57.7	
中2	5)	60	17.2	
中2	6)	65	57.8	36.2
中2	7)	70	46.5	
中2	8)	60	31.5	51.7
中2	9)	60	25.5	
中2	10)	70	42.6	
中2	11)	80	33.4	
中2	12)	80	74.3	
中2	13)	75	68.2	67.6
中2	14)	70	61.8	
中2	15)	70	65.2	44.8
中2	16)	80	77.2	49.0
中2	17)	70	46.1	
中2	18)	70	82.8	39.7
中2	19)	60	42.3	
中2	20)	70	68.9	48.8

設定通過率	70.0		
平均通過率		54.9	
類似問題		64.1	50.4

【英語】

設　定：設定通過率
通過率：今年度の平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	80	80.1	66.9
中1	2)	80	84.8	
中1	3)	80	76.7	
中1	4)	75	82.8	68.7
中1	5)	75	66.3	67.6
中1	6)	60	27.7	
中1	7)	75	65.0	
中1	8)	75	78.7	54.0
中1	9)	75	78.9	
中1	10)	75	68.1	
中1	11)	75	67.5	
中1	12)	70	67.8	
中1	13)	65	56.0	
中1	14)	60	44.0	
中1	15)	70	73.3	62.8
中1	16)	60	23.2	40.9
中1	17)	60	48.0	
中1	18)	60	42.8	45.9
中1	19)	60	51.7	44.8
中1	20)	70	66.6	

設定通過率	70.0		
平均通過率		62.5	
類似問題		62.4	56.5

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	90	88.3	84.6
中2	2)	80	73.9	63.7
中2	3)	70	8.3	
中2	4)	70	24.8	
中2	5)	80	48.3	66.0
中2	6)	80	54.1	
中2	7)	65	38.4	21.0
中2	8)	70	73.8	
中2	9)	65	49.1	46.0
中2	10)	70	61.5	
中2	11)	65	59.5	57.1
中2	12)	65	58.1	
中2	13)	65	59.2	35.0
中2	14)	70	77.9	
中2	15)	60	39.5	
中2	16)	60	51.9	
中2	17)	70	45.2	
中2	18)	65	21.4	
中2	19)	70	30.2	20.2
中2	20)	75	65.9	

設定通過率	70.3		
平均通過率		51.4	
類似問題		55.9	49.2

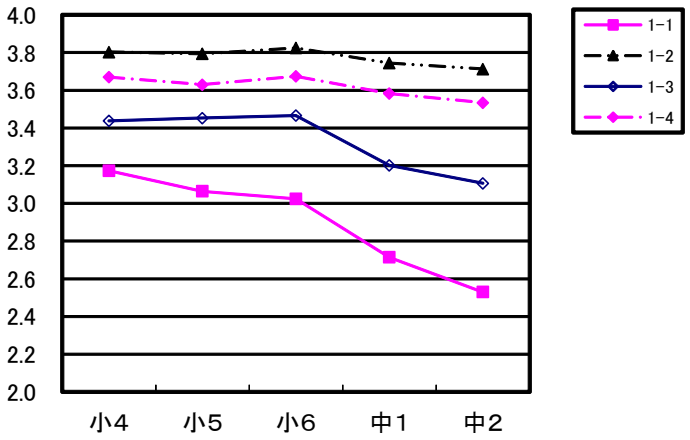
(2)　学習の意欲等に関する質問紙調査結果

①　学習全般についての結果概要（４点換算による県平均）

当てはまる…４点　　どちらかといえば当てはまる…３点
どちらかといえば当てはまらない…２点　当てはまらない…１点

質 問 項 目

１－１　勉強が好きだ
１－２　勉強は大切だ
１－３　学校の勉強がよく分かる
１－４　ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい

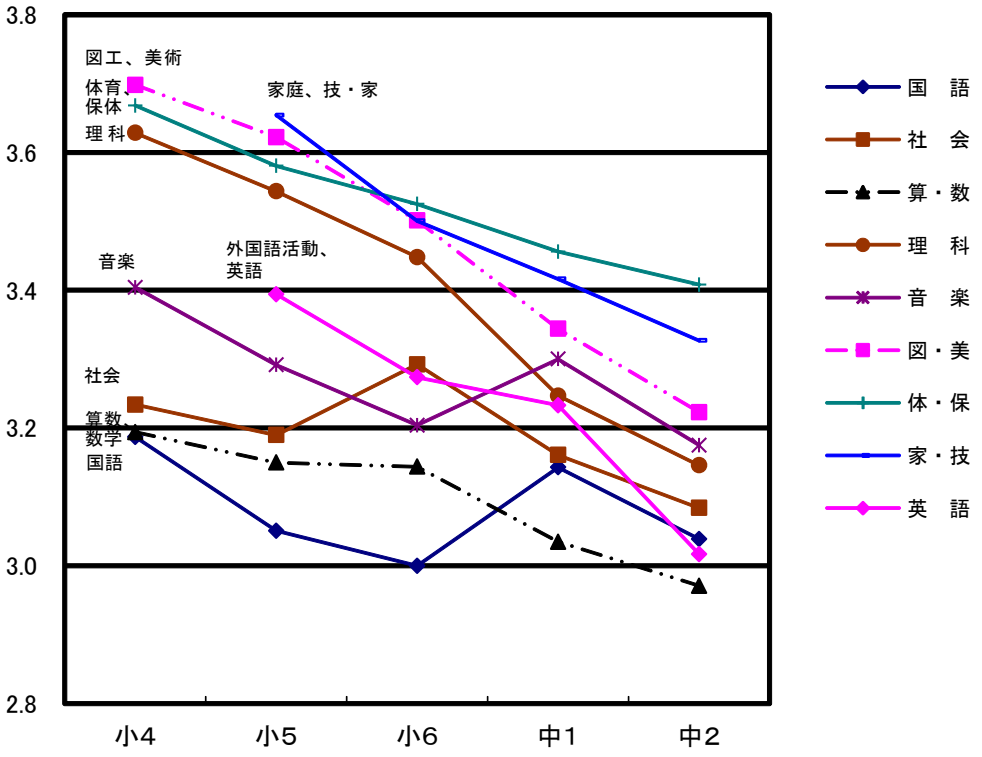


②　各教科等の学習に対する意識についての結果概要（４点換算による県平均）

当てはまる…４点　　どちらかといえば当てはまる…３点
どちらかといえば当てはまらない…２点　当てはまらない…１点

質 問 項 目

（例）国語の勉強は好きだ　　※下線部を各教科等名にしてそれぞれ質問する。

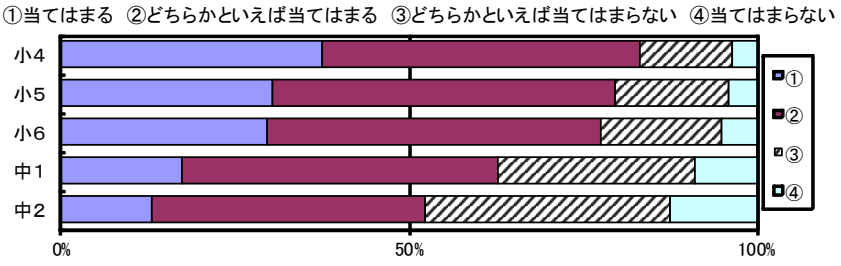


③　学習全般について

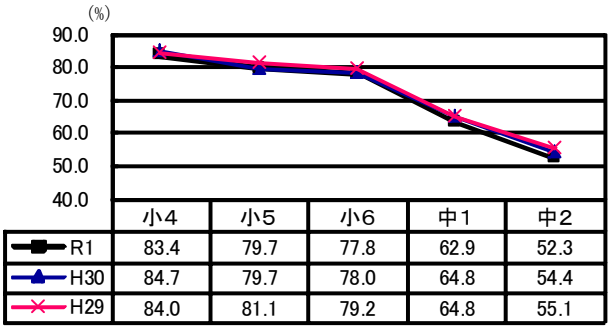
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

［１－１］　勉強が好きだ

	①	②	③	④
小4	37.6	45.8	13.1	3.6
小5	30.5	49.2	16.3	3.9
小6	29.7	48.1	17.3	5.0
中1	17.4	45.5	28.3	8.9
中2	13.0	39.3	35.2	12.4



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

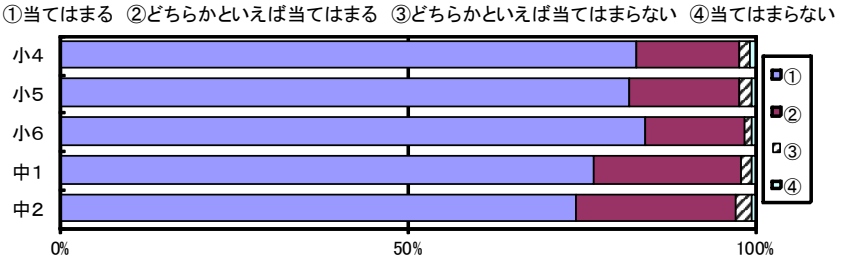


	小4	小5	小6	中1	中2
R1	83.4	79.7	77.8	62.9	52.3
H30	84.7	79.7	78.0	64.8	54.4
H29	84.0	81.1	79.2	64.8	55.1

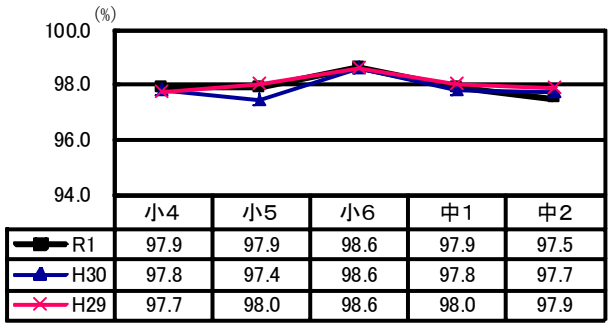
肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少していく状況は依然として見られるものの、中学校第２学年においては、肯定的な回答のうち「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は昨年度よりやや高くなっている。

［１－２］　勉強は大切だ

	①	②	③	④
小4	83.2	14.7	1.6	0.6
小5	81.9	16.0	1.7	0.4
小6	84.2	14.4	1.1	0.3
中1	76.8	21.1	1.6	0.4
中2	74.5	23.0	2.1	0.5



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



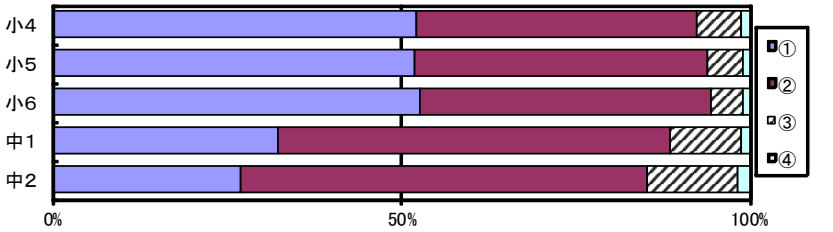
	小4	小5	小6	中1	中2
R1	97.9	97.9	98.6	97.9	97.5
H30	97.8	97.4	98.6	97.8	97.7
H29	97.7	98.0	98.6	98.0	97.9

肯定的な回答の割合が、全ての学年で97％以上という高い状況であり、学ぶことの重要性や意義などを感じながら学習に取り組んでいる児童生徒が多いことがうかがえる。

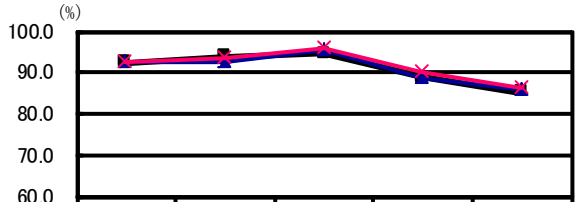
［１－３］　学校の勉強がよく分かる

①当てはまる　②どちらかといえば当てはまる　③どちらかといえば当てはまらない　④当てはまらない

	①	②	③	④
小4	52.4	40.1	6.4	1.1
小5	52.1	41.7	5.3	0.8
小6	52.8	41.8	4.6	0.8
中1	32.5	56.3	10.1	1.1
中2	27.1	58.2	13.0	1.7



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



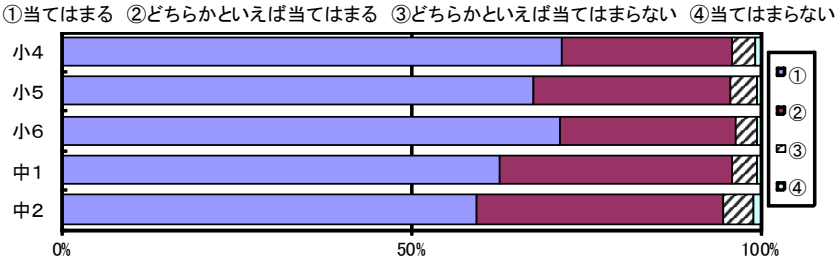
	小4	小5	小6	中1	中2
R1	92.5	93.8	94.6	88.8	85.3
H30	92.6	92.5	95.4	88.6	85.8
H29	92.4	93.6	95.8	89.9	86.1

小学校では92％以上、中学校では85％以上が肯定的な回答をしており、全体的に、昨年とほぼ同様の傾向である。小学校第５学年は、この３年間で最も高い数値を示している。

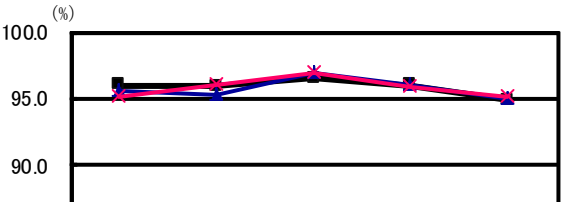
［１－４］　ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい

①当てはまる　②どちらかといえば当てはまる　③どちらかといえば当てはまらない　④当てはまらない

	①	②	③	④
小4	71.6	24.4	3.4	0.6
小5	67.6	28.3	3.6	0.5
小6	71.4	25.1	3.0	0.5
中1	62.7	33.3	3.6	0.4
中2	59.6	35.3	4.3	0.9



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



	小4	小5	小6	中1	中2
R1	96.0	95.9	96.5	96.0	94.9
H30	95.6	95.3	96.9	96.0	95.0
H29	95.2	96.0	97.0	95.9	95.2

肯定的な回答の割合が、全ての学年で94％以上である。小学校第４学年においては、この３年間で最も高い数値を示している。

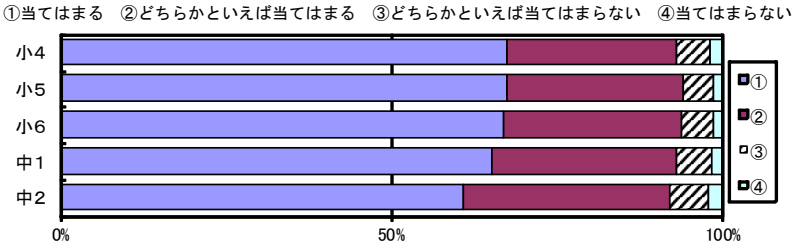
学習する内容を日常生活にも役立てようとする意識を明確にもっている児童生徒が多いことがうかがえる。

④　生活全般について

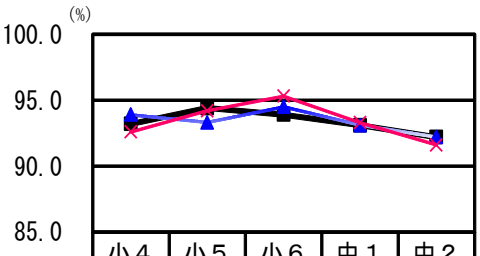
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

［２－１］学校が楽しい

	①	②	③	④
小４	67.6	25.6	5.2	1.7
小５	67.7	26.7	4.6	1.1
小６	67.1	26.8	4.8	1.3
中１	65.2	27.9	5.5	1.4
中２	60.9	31.3	5.7	2.0



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



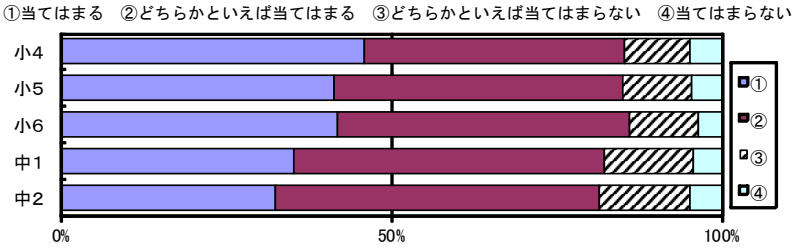
	小４	小５	小６	中１	中２
R1	93.2	94.4	93.9	93.1	92.2
H30	93.9	93.3	94.5	93.1	92.2
H29	92.6	94.2	95.3	93.3	91.6
R1全国調査	小6…秋田県89.8(全国85.8)　中3…秋田県87.1(全国81.9)				

全ての学年で、肯定的な回答が92％以上であり、そのうち「当てはまる」という回答は60％以上である。小学校第５学年においては、この３年間で最も高い数値を示している。

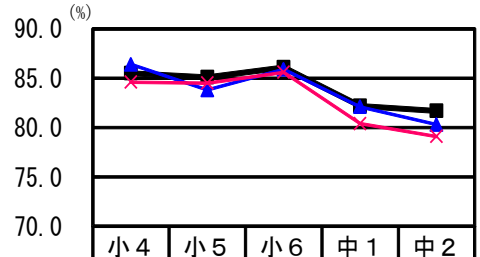
学校が児童生徒にとって伸び伸びと過ごせる楽しい場となるよう、各学校が児童生徒の実態を踏まえ、教育活動を工夫していることがうかがえる。

［２－２］　自分にはよいところがあると思う

	①	②	③	④
小４	46.1	39.4	9.8	4.7
小５	41.6	43.5	10.4	4.5
小６	42.1	44.0	10.6	3.3
中１	35.3	46.9	13.4	4.3
中２	32.5	49.2	13.6	4.7



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
R1	85.5	85.1	86.1	82.2	81.7
H30	86.4	83.8	85.9	82.1	80.3
H29	84.6	84.5	85.6	80.4	79.1
R1全国調査	小6…秋田県89.2(全国81.2)　中3…秋田県82.8(全国74.1)				

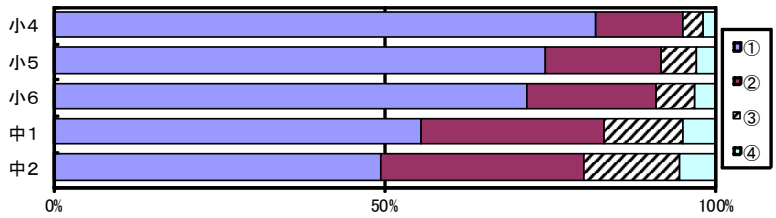
小学校では85％以上、中学校では81％以上が肯定的な回答をしている。また、小学校第５学年と第６学年、中学校の全ての学年において、この３年間で最も高い数値となっている。

学校生活の様々な場面において、児童生徒が自分のよさに気付き、自己肯定感を高めることができるよう、教職員による働き掛けが行われていることがうかがえる。

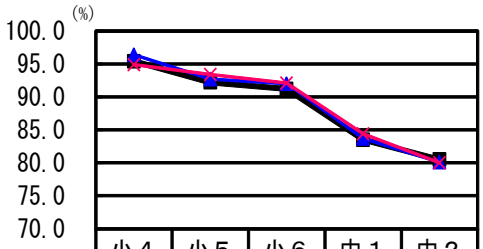
［２－３］　将来の夢や目標をもっている

①当てはまる　②どちらかといえば当てはまる　③どちらかといえば当てはまらない　④当てはまらない

	①	②	③	④
小４	82.3	13.1	3.2	1.4
小５	74.6	17.6	5.4	2.4
小６	71.8	19.4	5.9	2.8
中１	55.7	27.8	11.9	4.6
中２	49.6	30.9	14.6	5.0



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
R1	95.4	92.2	91.2	83.5	80.5
H30	96.4	92.7	92.0	83.7	80.1
H29	94.9	93.4	92.1	84.4	80.0
R1全国調査	小6…秋田県91.4(全国83.8)中3…秋田県80.9(全国70.5)				

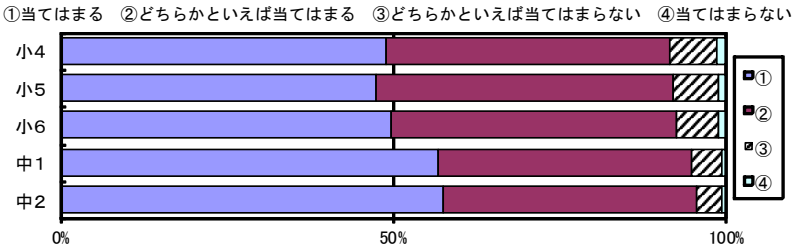
肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って低くなる状況は依然として見られるものの、小学校では91％以上、中学校では80％以上が肯定的な回答をしている。

各学校では、学級活動や職場体験活動等の様々な場において、児童生徒に将来のことについて考えさせる機会を確保している様子がうかがえる。

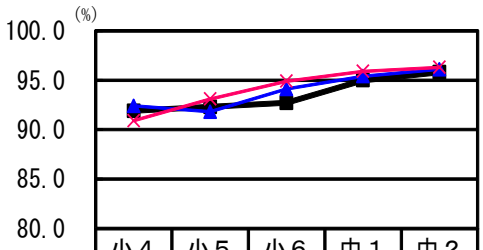
［２－４］　学校のきまりを守っている

①当てはまる　②どちらかといえば当てはまる　③どちらかといえば当てはまらない　④当てはまらない

	①	②	③	④
小４	49.2	42.7	7.0	1.2
小５	47.6	44.7	6.8	0.8
小６	49.8	42.9	6.4	0.9
中１	56.9	38.1	4.4	0.5
中２	57.8	38.0	3.7	0.5



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



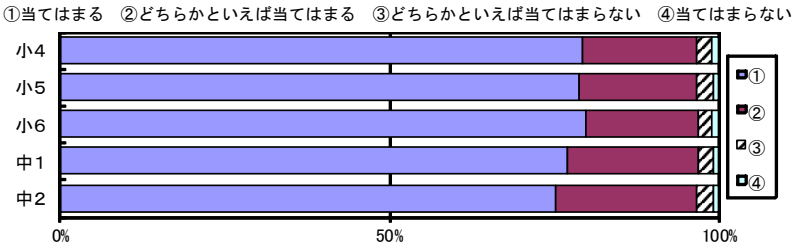
	小４	小５	小６	中１	中２
R1	91.9	92.3	92.7	95.0	95.8
H30	92.4	91.8	94.1	95.4	96.1
H29	90.9	93.1	94.9	95.9	96.3
R1全国調査	小6…秋田県95.1(全国92.3)中3…秋田県97.6(全国96.2)				

肯定的な回答の割合が、全ての学年で91％を超えており、学年が上がるに従って高くなっている。

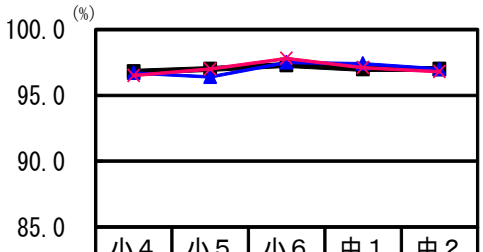
学校における集団生活の様々な場面で、児童生徒の規範意識の醸成につながる取組がなされていることがうかがえる。

［２－５］　人の役に立つ人間になりたいと思う

	①	②	③	④
小４	79.6	17.2	2.5	0.7
小５	79.2	17.8	2.4	0.6
小６	80.1	17.2	2.1	0.7
中１	77.1	19.9	2.3	0.6
中２	75.4	21.6	2.4	0.6



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



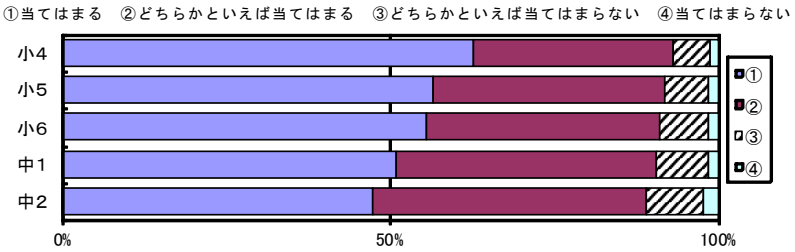
	小４	小５	小６	中１	中２
R1	96.8	97.0	97.3	97.0	97.0
H30	96.7	96.4	97.5	97.4	97.0
H29	96.5	97.0	97.8	97.1	96.8
R1全国調査	小6…秋田県97.6(全国95.2)中3…秋田県97.1(全国94.3)				

全ての学年で、肯定的な回答の割合が96％を超えている。肯定的な回答のうち、「当てはまる」と回答している割合は、小学校では79％以上、中学校では75％以上であり、昨年度より高くなっている。

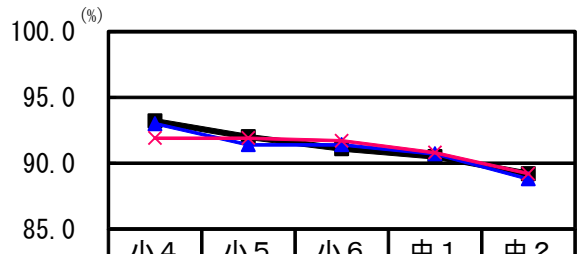
各学校において、キャリア教育や道徳教育等の取組を通して、他者と協働したり、公共のためになることに取り組もうとしたりする意欲を高める働き掛けが行われていることがうかがえる。

［２－６］　地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う

	①	②	③	④
小４	62.9	30.3	5.8	1.1
小５	56.6	35.4	6.7	1.3
小６	55.7	35.4	7.4	1.5
中１	50.9	39.6	7.9	1.5
中２	47.5	41.7	8.6	2.2



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
R1	93.2	92.0	91.1	90.5	89.2
H30	93.0	91.4	91.4	90.7	88.8
H29	91.9	91.9	91.7	90.8	89.2

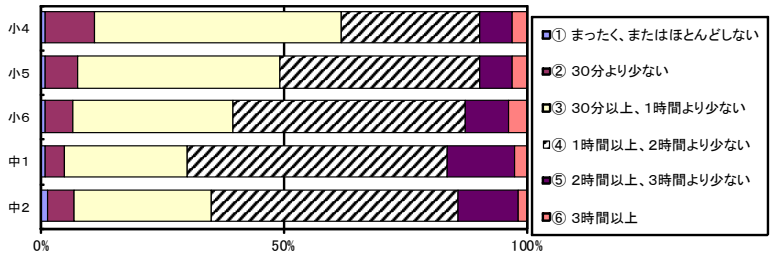
肯定的な回答の割合は、小学校では91％以上、中学校では89％以上であり、小学校第４学年と第５学年では、この３年間で最も高い数値を示している。

各学校のふるさと教育やキャリア教育等の取組が、児童生徒の地域に対する愛着と、地域社会に貢献しようとする意欲の高まりにつながっていることがうかがえる。

⑤　家庭学習について

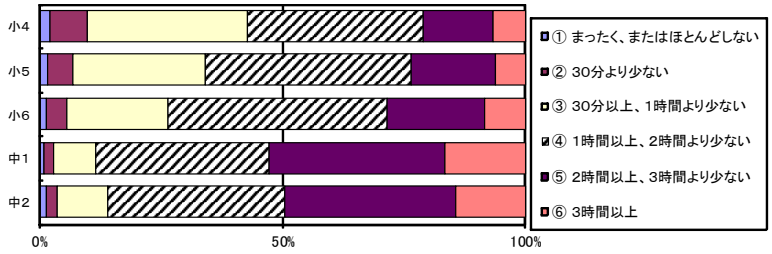
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

学校がある日の勉強時間



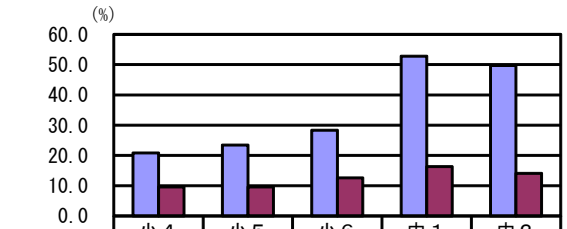
	①	②	③	④	⑤	⑥
小４	1.1	10.1	50.7	28.5	6.7	2.9
小５	1.0	6.9	41.4	41.1	6.8	2.8
小６	1.2	5.5	32.9	47.8	8.9	3.7
中１	1.0	4.1	25.1	53.5	14.0	2.3
中２	1.5	5.6	28.1	50.8	12.5	1.6

土曜日や日曜日の勉強時間



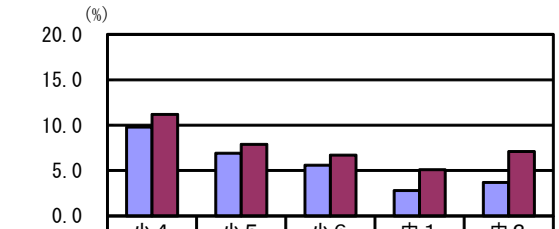
	①	②	③	④	⑤	⑥
小４	2.0	7.8	33.1	36.4	14.4	6.4
小５	1.5	5.4	27.1	42.6	17.5	5.9
小６	1.3	4.3	20.7	45.3	20.0	8.3
中１	0.9	1.9	8.6	35.7	36.4	16.4
中２	1.3	2.4	10.3	36.3	35.5	14.2

２時間以上の割合



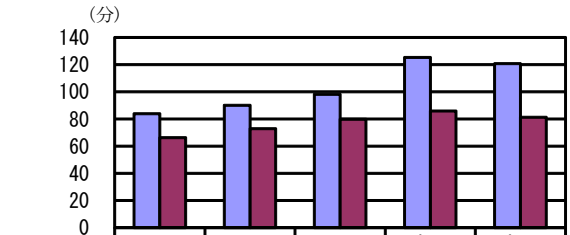
	小４	小５	小６	中１	中２
本県休日	20.8	23.4	28.3	52.8	49.7
本県平日	9.6	9.6	12.6	16.3	14.1

全くしない又は30分未満の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
本県休日	9.8	6.9	5.6	2.8	3.7
本県平日	11.2	7.9	6.7	5.1	7.1

家庭学習の平均時間



	小４	小５	小６	中１	中２
本県休日	83.9	90.0	98.2	125.3	120.7
本県平日	66.1	72.7	79.8	85.9	81.3

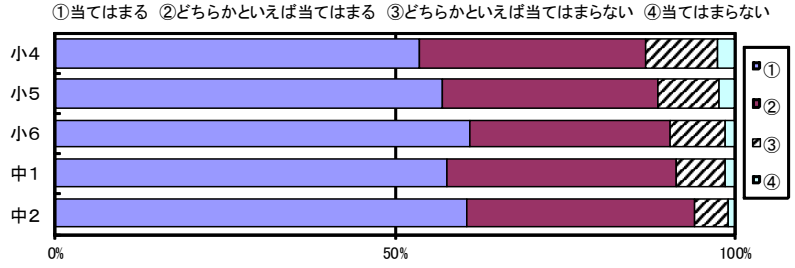
小・中学校とも、平日より休日の勉強時間が長いこと、小学校より中学校の方が家庭学習の平均時間が長いことなど、全体的には昨年度までと同様の傾向である。中学校では、約半数の生徒が、休日に２時間以上勉強している。

⑥　授業について

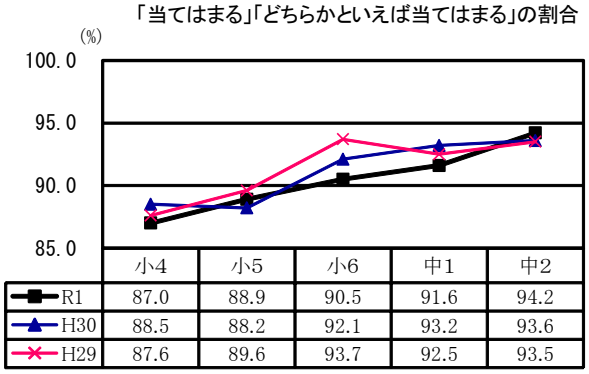
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

［４－１］　ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があると思う

	①	②	③	④
小４	53.7	33.3	10.6	2.4
小５	57.2	31.7	9.1	2.1
小６	61.1	29.4	8.1	1.4
中１	57.7	33.9	7.2	1.2
中２	60.8	33.4	5.0	0.9



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



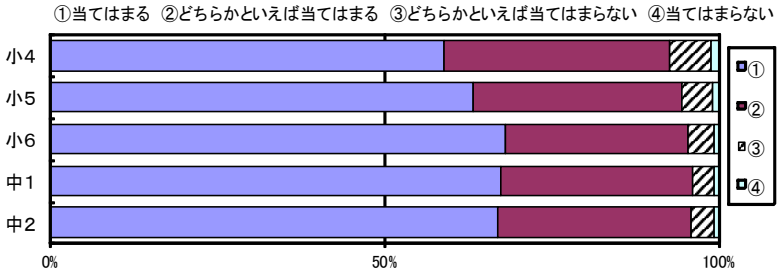
	小4	小5	小6	中1	中2
R1	87.0	88.9	90.5	91.6	94.2
H30	88.5	88.2	92.1	93.2	93.6
H29	87.6	89.6	93.7	92.5	93.5

肯定的な回答の割合が、小学校では87％以上、中学校では91％以上であり、中学校第２学年においては、この３年間で最も高くなっている

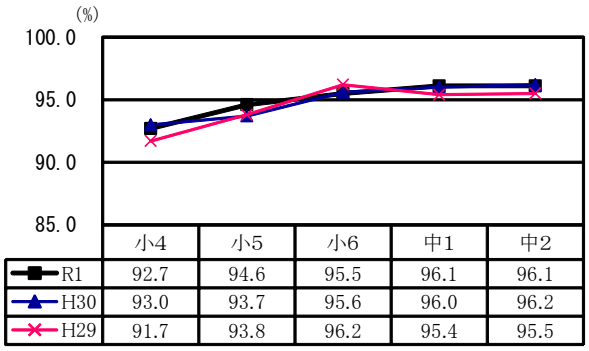
各学校においては、児童生徒が自分の考えを発表する機会を、授業の中に意図的に設定していることがうかがえる。

［４－２］　ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う

	①	②	③	④
小４	59.1	33.6	6.2	1.1
小５	63.5	31.1	4.7	0.7
小６	68.2	27.3	3.9	0.5
中１	67.5	28.6	3.3	0.5
中２	67.1	29.0	3.4	0.5



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



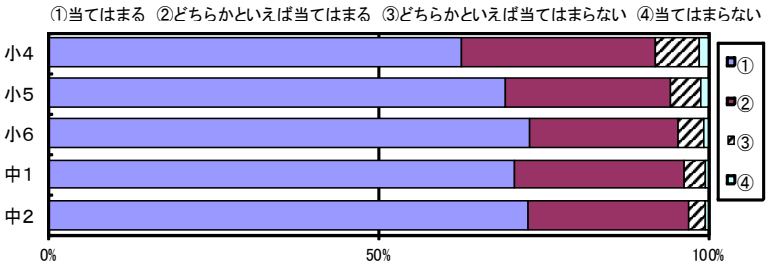
	小4	小5	小6	中1	中2
R1	92.7	94.6	95.5	96.1	96.1
H30	93.0	93.7	95.6	96.0	96.2
H29	91.7	93.8	96.2	95.4	95.5

肯定的な回答の割合が、全ての学年で92％以上であり、小学校第５学年と中学校第１学年においては、この３年間で最も高くなっている。また、小学校では、学年が上がるに従って、割合が高くなっている。

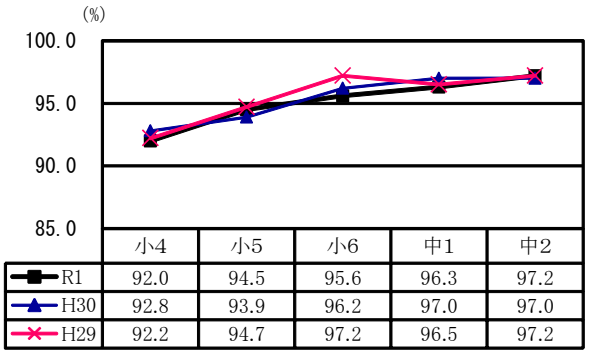
各学校においては、児童生徒による話合いの場を確実に設定することで、児童生徒同士が協働して課題を解決したり探究したりする学習活動を充実させようとしている様子がうかがえる。

［４－３］　ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う

	①	②	③	④
小４	62.6	29.4	6.6	1.3
小５	69.5	25.0	4.5	1.0
小６	73.1	22.5	3.8	0.6
中１	70.7	25.6	3.3	0.3
中２	72.9	24.3	2.4	0.4



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



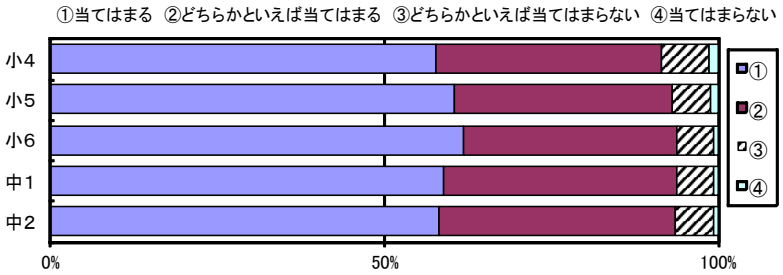
	小4	小5	小6	中1	中2
R1	92.0	94.5	95.6	96.3	97.2
H30	92.8	93.9	96.2	97.0	97.0
H29	92.2	94.7	97.2	96.5	97.2

肯定的な回答の割合が、小学校では92％以上、中学校では96％以上と高くなっている。

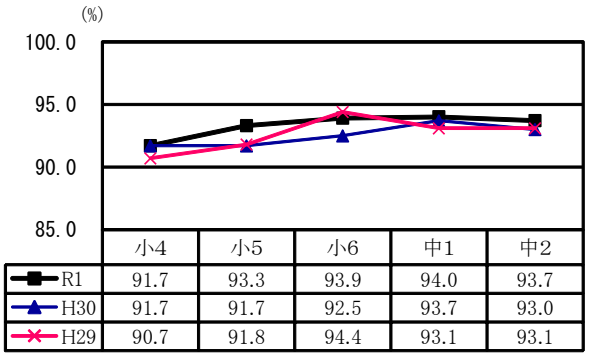
各学校においては、授業の導入の手立てを工夫するなどして、児童生徒に学習の見通しをもたせ、主体的に学習活動に取り組むことができるようにしている様子がうかがえる。

［４－４］　ふだんの授業では、自分の学習活動を振り返る活動を行っていると思う

	①	②	③	④
小４	57.9	33.8	7.0	1.3
小５	60.7	32.6	5.8	1.0
小６	62.1	31.8	5.5	0.6
中１	59.1	34.9	5.4	0.6
中２	58.4	35.3	5.6	0.6



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



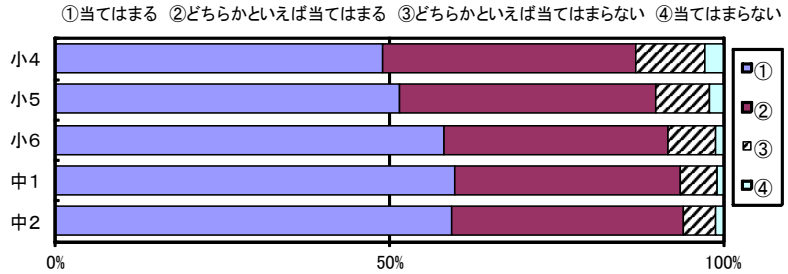
	小4	小5	小6	中1	中2
R1	91.7	93.3	93.9	94.0	93.7
H30	91.7	91.7	92.5	93.7	93.0
H29	90.7	91.8	94.4	93.1	93.1

肯定的な回答の割合が、全ての学年で91％以上である。

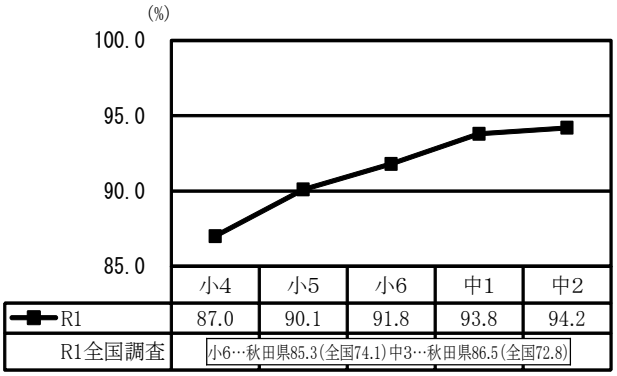
各学校においては、振り返る場面を大切にし、児童生徒が自身の学びや変容等を実感できるようにしている様子がうかがえる。

［４－５］　ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う

	①	②	③	④
小４	49.0	38.0	10.4	2.6
小５	51.4	38.7	8.0	1.9
小６	58.3	33.5	7.0	1.1
中１	60.1	33.7	5.5	0.8
中２	59.5	34.7	4.9	0.9



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



今年度、初出の質問である。

肯定的な回答の割合が、小学校では87％以上、中学校では93％以上であり、学年が上がるに従って、数値が高くなっている。また、小学校第６学年では、４月の全国・学力学習状況調査の回答の数値より6.5ポイント高くなっている。

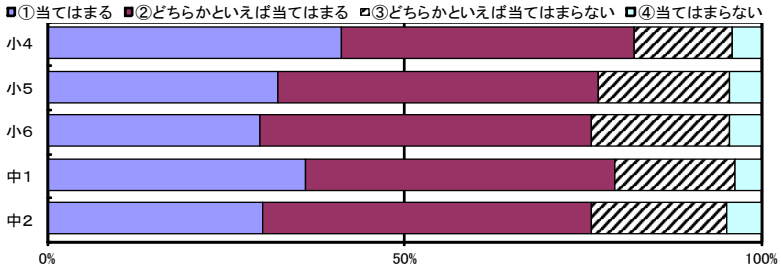
各学校においては、児童生徒が多様な考えに触れることができるような働き掛けが行われていることがうかがえる。

⑦　各教科等の学習に対する意識について

［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

【国語】質問：国語の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	41.4	40.9	13.7	4.0
小５	32.4	44.9	18.4	4.3
小６	29.9	46.4	19.4	4.3
中１	36.4	43.4	16.8	3.5
中２	30.3	46.0	19.0	4.7

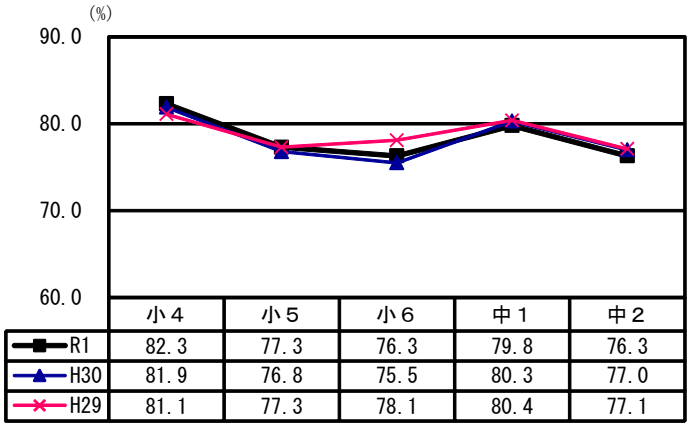


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	21.3%	20.0%	17.2%	22.0%	18.2%
	② 分かりやすい	16.3%	12.8%	10.6%	14.7%	13.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	10.0%	13.2%	18.1%	13.9%	16.4%
	④ 生活の中で役立つ	8.6%	8.5%	10.0%	8.2%	8.0%
	⑤ 考えるのが楽しい	16.1%	12.9%	11.3%	11.0%	8.6%
	⑥ 得意	6.7%	5.9%	4.9%	5.6%	7.1%
回答した理由「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	2.9%	4.8%	5.4%	5.6%	7.0%
	⑧ 分かりにくい	3.9%	3.9%	3.2%	3.1%	4.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%
	⑪ 考えるのがめんどう	1.5%	2.1%	2.6%	1.7%	1.7%
	⑫ 不得意	8.2%	10.7%	11.5%	8.8%	9.4%
	⑬ その他	4.2%	5.0%	4.8%	5.2%	5.8%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

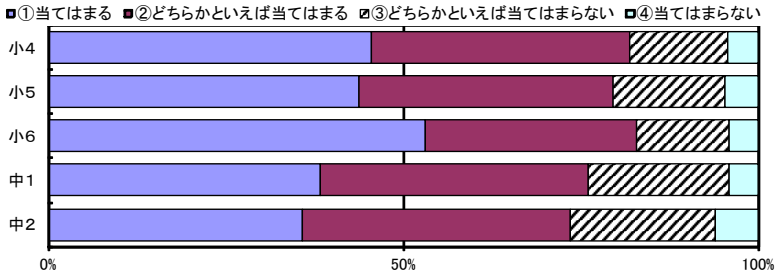


	小４	小５	小６	中１	中２
R1	82.3	77.3	76.3	79.8	76.3
H30	81.9	76.8	75.5	80.3	77.0
H29	81.1	77.3	78.1	80.4	77.1

小・中学校とも、76%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、全ての学年において「内容に興味がある」の割合が高い。また、「将来、社会に出たときに役立つ」を理由として挙げた児童生徒の割合が、小・中学校とも、学年が上がるに従って高くなる傾向が見られる。小学校では、「分かりやすい」「考えるのが楽しい」の割合も比較的高くなっている。一方、小・中学校とも、学年が上がるに従って「不得意」の割合が多くなっている。

【社会】質問：社会の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	45.6	36.4	13.9	4.1
小５	43.8	35.9	15.7	4.6
小６	53.3	29.7	13.2	3.9
中１	38.5	37.7	19.9	4.0
中２	35.9	37.7	20.5	5.9

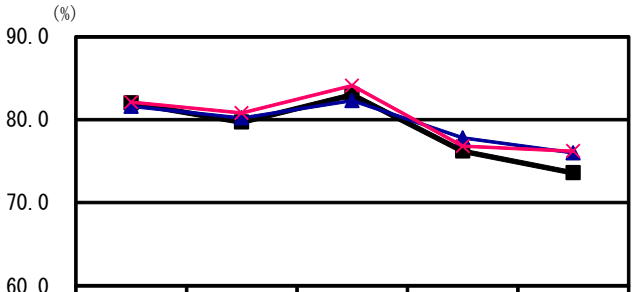


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	17.2%	18.5%	36.3%	30.6%	30.6%
	② 分かりやすい	9.5%	9.4%	9.2%	11.9%	11.4%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	31.9%	30.0%	14.5%	12.1%	10.9%
	④ 生活の中で役立つ	9.6%	6.1%	2.6%	3.0%	2.5%
	⑤ 考えるのが楽しい	7.7%	8.3%	10.6%	9.7%	8.0%
	⑥ 得意	4.0%	5.5%	7.0%	5.0%	5.9%
回答した理由「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	3.5%	4.0%	3.1%	4.2%	6.2%
	⑧ 分かりにくい	5.2%	4.3%	3.5%	5.3%	4.8%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.3%	0.5%	1.0%	1.4%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.3%	0.5%	0.5%	1.1%
	⑪ 考えるのがめんどう	1.4%	1.6%	0.8%	1.0%	0.7%
	⑫ 不得意	6.5%	8.8%	8.0%	11.5%	11.3%
	⑬ その他	2.8%	2.8%	3.4%	4.2%	5.2%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

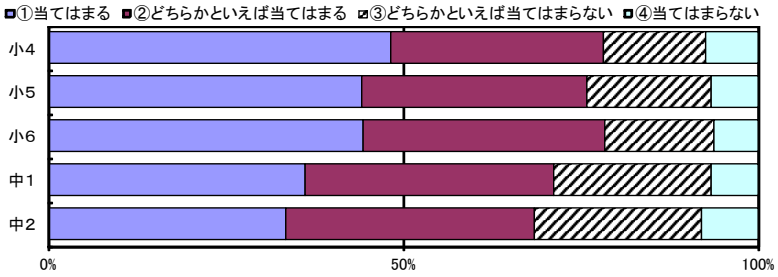


	小４	小５	小６	中１	中２
R1	82.0	79.7	83.0	76.2	73.6
H30	81.6	80.2	82.3	77.8	76.0
H29	82.1	80.8	84.1	76.8	76.2

小学校では79%以上、中学校では73%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小学校第４学年と第５学年では、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が高く、小学校第６学年と中学校第１学年、第２学年では、「内容に興味がある」の割合が高くなっている。一方、小・中学校とも「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っており、中学校では、「不得意」と「得意」の割合の差が広がる傾向が見られる。

【算数、数学】質問：算数（数学）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	48.4	29.9	14.5	7.2
小５	44.3	31.6	17.5	6.5
小６	44.5	34.0	15.4	6.1
中１	36.2	35.1	22.1	6.6
中２	33.6	34.9	23.7	7.8

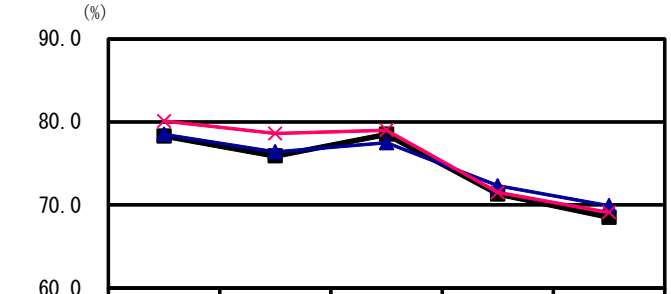


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	9.4%	8.8%	8.3%	8.7%	9.1%
	② 分かりやすい	11.9%	11.3%	8.9%	10.6%	9.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	11.8%	12.4%	18.1%	15.0%	13.0%
	④ 生活の中で役立つ	12.5%	10.4%	12.4%	8.2%	6.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	17.1%	19.4%	18.5%	18.4%	19.4%
	⑥ 得意	13.4%	11.8%	10.8%	7.7%	8.1%
回答した理由「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.7%	1.9%	2.0%	2.4%	3.2%
	⑧ 分かりにくい	6.5%	5.7%	4.1%	6.1%	5.8%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.1%	0.2%	0.4%	0.8%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%
	⑪ 考えるのがめんどう	2.6%	3.4%	3.2%	3.4%	3.4%
	⑫ 不得意	9.9%	11.9%	11.0%	15.5%	17.0%
	⑬ その他	3.0%	2.9%	2.4%	3.2%	3.5%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

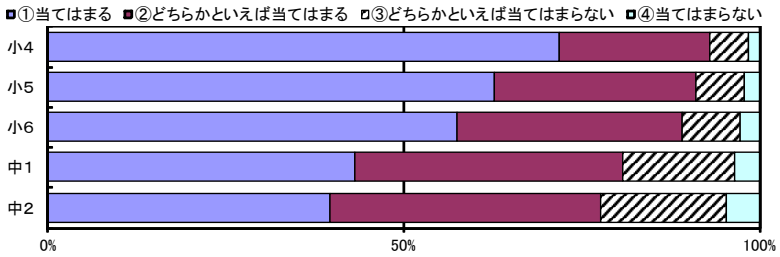


	小４	小５	小６	中１	中２
R1	78.3	75.9	78.5	71.3	68.5
H30	78.5	76.4	77.5	72.3	69.9
H29	80.1	78.6	79.0	71.5	69.1

肯定的な回答の割合が、中学校よりも小学校の方が高いという傾向は、昨年までと同様である。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「考えるのが楽しい」の割合が最も高い数値を示している。一方、小学校第５学年から「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っており、学年が上がるに従って「不得意」と「得意」の割合の差が広がる傾向が見られる。

【理科】質問：理科の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	71.9	21.3	5.3	1.5
小５	62.8	28.3	6.9	2.0
小６	57.5	31.8	8.0	2.7
中１	43.2	37.6	15.8	3.4
中２	39.8	38.0	17.7	4.5

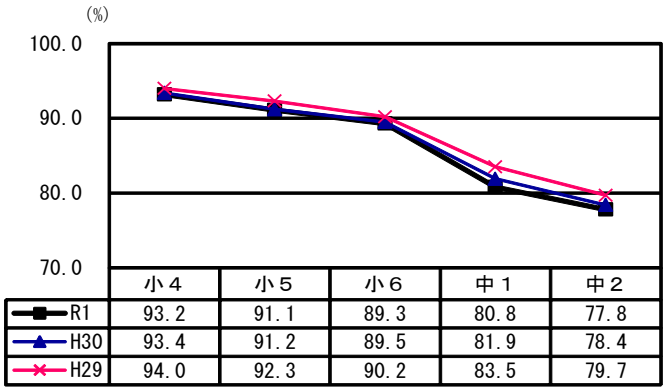


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	28.9%	33.2%	32.4%	31.7%	29.4%
	② 分かりやすい	10.0%	9.7%	9.8%	8.9%	10.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	5.3%	4.3%	4.5%	4.5%	5.4%
	④ 生活の中で役立つ	9.2%	6.1%	7.0%	7.0%	7.5%
	⑤ 考えるのが楽しい	24.3%	23.7%	23.3%	18.1%	14.8%
	⑥ 得意	12.1%	10.5%	8.8%	6.4%	6.5%
回答した理由「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	0.9%	1.6%	2.3%	2.9%	3.6%
	⑧ 分かりにくい	1.8%	2.1%	2.2%	4.4%	5.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.5%	0.5%	1.5%	1.4%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.3%	0.4%	0.5%	0.6%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.6%	0.8%	0.8%	1.1%	1.4%
	⑫ 不得意	2.5%	3.3%	4.0%	8.1%	9.2%
	⑬ その他	3.9%	3.9%	4.1%	4.7%	4.9%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

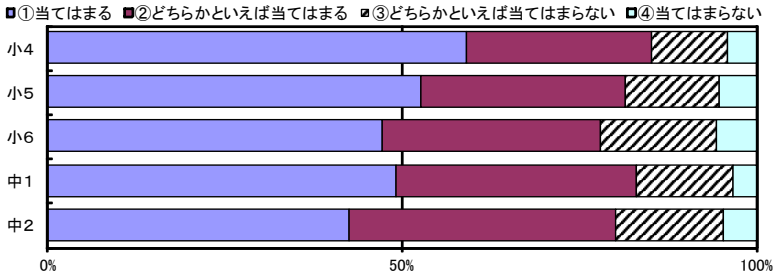


	小４	小５	小６	中１	中２
R1	93.2	91.1	89.3	80.8	77.8
H30	93.4	91.2	89.5	81.9	78.4
H29	94.0	92.3	90.2	83.5	79.7

小学校では89%以上、中学校では77%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高い傾向にある。また、「生活の中で役立つ」の割合が、小学校第５学年以外の学年で、昨年度よりも高くなっている。

【音楽】質問：音楽の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	59.1	26.2	10.7	4.0
小５	52.7	29.0	13.3	5.1
小６	47.3	30.6	16.5	5.5
中１	49.2	33.9	13.6	3.3
中２	42.5	37.7	15.3	4.5

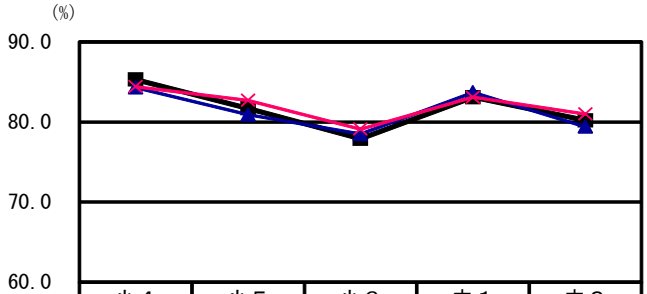


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	22.2%	26.2%	24.9%	33.7%	34.9%
	② 分かりやすい	13.5%	10.8%	10.0%	10.8%	8.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.1%	2.2%	2.1%	1.5%	2.1%
	④ 生活の中で役立つ	2.8%	2.5%	2.3%	2.3%	1.8%
	⑤ 考えるのが楽しい	8.3%	7.5%	7.3%	9.7%	9.7%
	⑥ 得意	25.8%	22.1%	20.0%	14.5%	12.1%
回答した理由「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	2.6%	3.7%	4.5%	4.2%	6.5%
	⑧ 分かりにくい	2.1%	2.2%	2.0%	0.7%	1.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.7%	1.3%	2.4%	2.2%	2.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.6%	0.9%	1.1%	1.2%	1.3%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.4%
	⑫ 不得意	7.2%	9.1%	10.8%	7.2%	7.1%
	⑬ その他	11.7%	11.0%	12.2%	11.5%	12.1%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

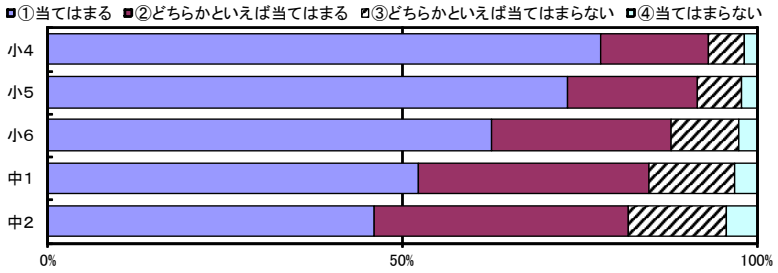


	小４	小５	小６	中１	中２
R1	85.3	81.7	77.9	83.1	80.2
H30	84.3	80.9	78.5	83.7	79.4
H29	84.4	82.7	79.1	83.1	81.0

小学校では77%以上、中学校では80%以上が肯定的な回答をしており、小学校第４学年においては、この３年間で最も高くなっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「得意」の割合が高くなっている。また、小学校では「分かりやすい」、中学校では「考えるのが楽しい」の割合も比較的高い傾向にある。

【図画工作、美術】質問：図工（美術）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	78.0	15.2	5.2	1.6
小５	73.4	18.3	6.1	2.1
小６	62.7	25.3	9.5	2.5
中１	52.4	32.5	12.1	3.0
中２	46.1	35.7	14.0	4.1

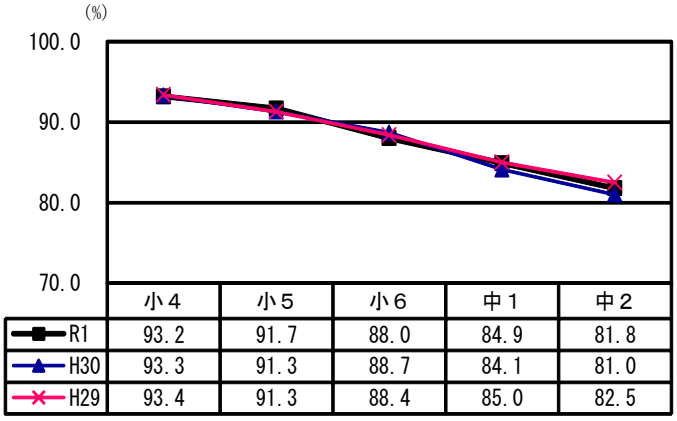


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	22.5%	27.3%	26.4%	30.4%	30.8%
	② 分かりやすい	5.4%	4.3%	4.3%	6.6%	5.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.6%	2.3%	2.2%	1.6%	1.9%
	④ 生活の中で役立つ	4.2%	3.4%	3.1%	2.7%	2.5%
	⑤ 考えるのが楽しい	25.1%	26.0%	26.7%	22.7%	22.9%
	⑥ 得意	27.5%	22.9%	18.7%	13.4%	10.9%
回答した理由「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	0.7%	1.2%	1.6%	3.2%	4.3%
	⑧ 分かりにくい	0.5%	0.3%	0.3%	0.5%	0.7%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.5%	1.2%	1.5%	1.9%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.2%	0.5%	1.0%	0.9%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	1.0%
	⑫ 不得意	3.9%	4.9%	7.1%	7.6%	8.8%
	⑬ その他	6.5%	5.9%	7.1%	7.9%	8.2%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

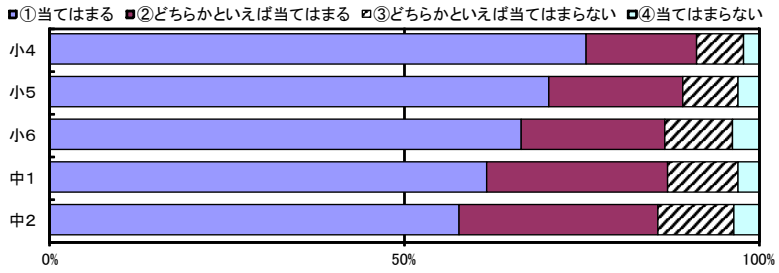


	小４	小５	小６	中１	中２
R1	93.2	91.7	88.0	84.9	81.8
H30	93.3	91.3	88.7	84.1	81.0
H29	93.4	91.3	88.4	85.0	82.5

小学校では88%以上、中学校では81%以上が肯定的な回答をしており、全体的に高い数値を示している。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高くなっている。また、小学校では「得意」の割合も高い傾向にある。

【体育、保健体育】質問：体育（保体）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	75.7	15.6	6.6	2.1
小５	70.3	19.0	7.7	2.9
小６	66.6	20.4	9.4	3.7
中１	61.7	25.5	9.9	2.8
中２	57.8	28.1	10.6	3.5

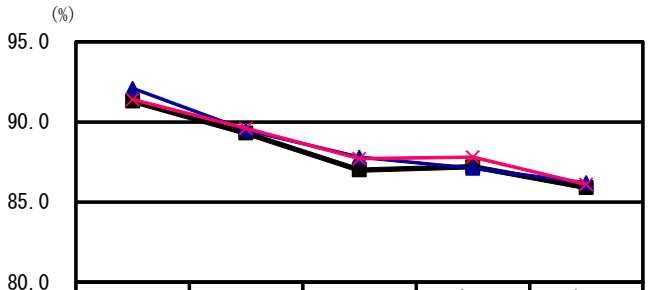


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	20.0%	24.2%	23.9%	27.7%	28.2%
	② 分かりやすい	4.9%	4.2%	3.9%	5.5%	3.9%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.4%	5.2%	3.9%	4.9%	4.3%
	④ 生活の中で役立つ	7.2%	6.1%	4.9%	6.1%	6.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	2.8%	2.7%	3.2%	4.6%	4.9%
	⑥ 得意	41.4%	36.9%	35.5%	29.2%	27.7%
回答した理由「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	0.8%	1.1%	1.1%	1.9%	2.0%
	⑧ 分かりにくい	0.2%	0.1%	0.2%	0.4%	0.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.5%	0.8%	0.6%	0.7%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.2%	0.4%	0.3%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.1%	0.2%	0.1%	0.3%	0.3%
	⑫ 不得意	6.2%	7.8%	10.1%	8.8%	9.7%
	⑬ その他	11.5%	10.6%	12.0%	9.6%	11.3%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

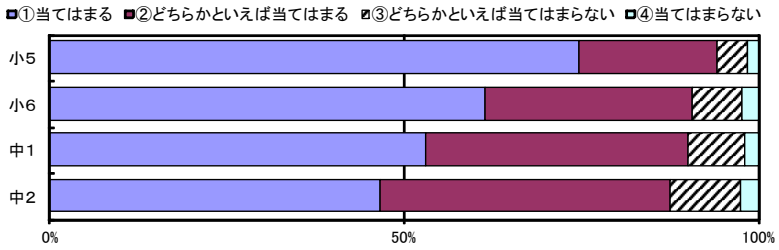


	小４	小５	小６	中１	中２
R1	91.3	89.3	87.0	87.2	85.9
H30	92.1	89.5	87.8	87.1	86.2
H29	91.4	89.6	87.7	87.8	86.1

小学校では87%以上、中学校では85%以上が肯定的な回答をしており、全体的に高い数値を示している。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「得意」「内容に興味がある」の割合が高くなっている。「得意」の数値は中学校よりも小学校の方が、「内容に興味がある」の数値は小学校よりも中学校の方が高い傾向にある。

【家庭、技術・家庭】質問：家庭（技・家）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小５	74.9	19.5	4.3	1.4
小６	61.4	29.2	7.1	2.2
中１	53.2	37.0	8.1	1.8
中２	46.7	40.8	9.9	2.5

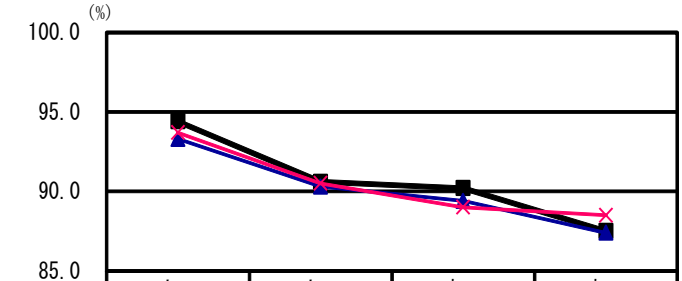


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小５	小６	中１	中２
回答した理由「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	18.6%	15.2%	23.3%	23.1%
	② 分かりやすい	4.4%	3.9%	5.3%	3.8%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	17.8%	19.9%	17.7%	19.3%
	④ 生活の中で役立つ	30.4%	32.0%	22.3%	22.0%
	⑤ 考えるのが楽しい	4.4%	3.6%	8.9%	7.9%
	⑥ 得意	15.8%	12.9%	8.9%	7.6%
回答した理由「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.1%	2.1%	3.0%	4.5%
	⑧ 分かりにくい	1.0%	0.9%	1.0%	0.9%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.2%	0.4%	0.8%	0.8%
	⑫ 不得意	2.8%	5.1%	4.3%	4.9%
	⑬ その他	3.1%	3.8%	4.2%	4.7%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

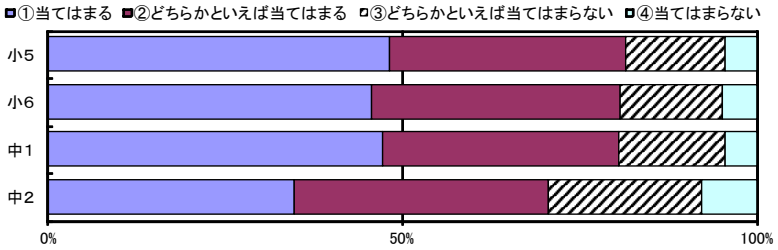


	小５	小６	中１	中２
R1	94.4	90.6	90.2	87.5
H30	93.3	90.3	89.4	87.4
H29	93.7	90.5	89.0	88.5

肯定的な回答の割合は小学校で90%、中学校で87%以上と全教科の中で最も高くなっている。また、学年進行に伴う肯定的な回答の割合の減少の程度も小さい。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「生活の中で役立つ」「内容に興味がある」「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が高くなっている。さらに、小学校では「得意」の割合も高い傾向にある。

【英語（小学校外国語活動、中学校外国語）】質問：外国語活動（外国語）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小５	48.2	33.4	13.9	4.5
小６	45.7	35.0	14.4	4.8
中１	47.2	33.3	15.0	4.5
中２	34.7	36.0	21.5	7.8

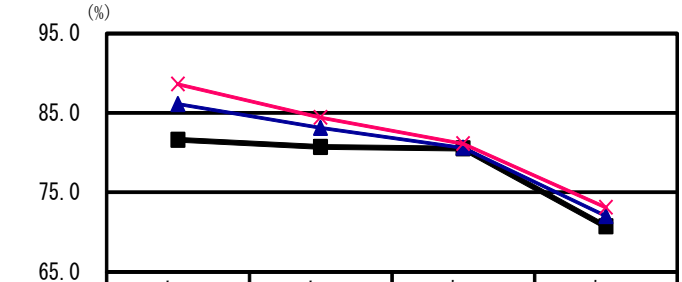


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小５	小６	中１	中２
回答した理由「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	12.5%	12.5%	13.3%	12.5%
	② 分かりやすい	8.8%	6.8%	9.8%	6.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	31.5%	36.3%	31.1%	31.3%
	④ 生活の中で役立つ	6.6%	5.4%	5.1%	4.7%
	⑤ 考えるのが楽しい	9.7%	8.8%	7.1%	5.5%
	⑥ 得意	7.8%	7.2%	11.1%	7.1%
回答した理由「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	2.6%	3.2%	2.4%	3.5%
	⑧ 分かりにくい	6.0%	5.9%	4.0%	6.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.2%	0.4%	0.7%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.4%	0.3%	0.4%	0.5%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.8%	0.9%	0.9%	1.5%
	⑫ 不得意	7.3%	7.7%	10.7%	16.0%
	⑬ その他	5.7%	4.7%	3.7%	4.5%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



	小５	小６	中１	中２
R1	81.6	80.7	80.5	70.7
H30	86.1	83.1	80.6	72.0
H29	88.6	84.4	81.1	73.1

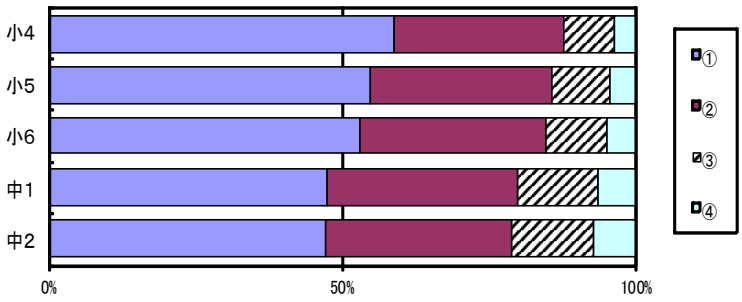
小学校第５学年から中学校第１学年までは80%以上、中学校第２学年は70%以上が肯定的な回答をしているが、小・中学校とも、過去３年間で最も低くなっている。特に、小学校第５学年は、平成29年度に比べて７ポイント低くなっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高い数値を示している。一方、小・中学校とも学年が上がるに従って、「不得意」の割合が「得意」の割合を上回る傾向が見られる。

⑧　読書について

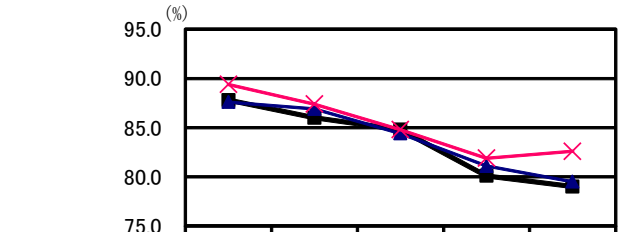
［読書は好きだ］

①当てはまる　②どちらかといえば当てはまる　③どちらかといえば当てはまらない　④当てはまらない

	①	②	③	④
小4	59.1	28.7	8.8	3.3
小5	54.7	31.3	10.0	4.0
小6	52.8	32.0	10.4	4.7
中1	47.4	32.7	13.9	6.1
中2	47.0	32.0	14.1	6.9



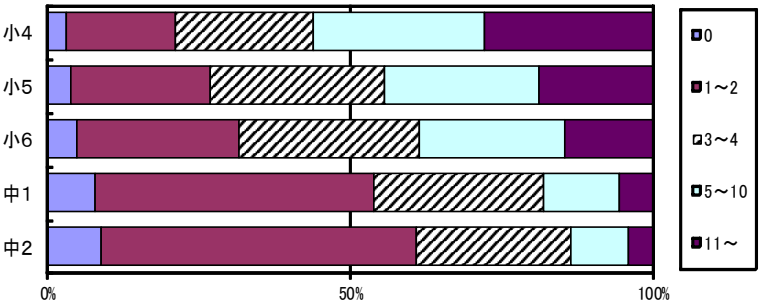
「当てはまる」「どちらかというと当てはまる」の割合



	小4	小5	小6	中1	中2
R1	87.8	86.0	84.8	80.1	79.0
H30	87.6	86.9	84.4	81.1	79.5
H29	89.4	87.4	84.8	81.9	82.6
R1全国調査	小6…秋田県82.0(全国75.0)中3…秋田県76.6(全国68.0)				

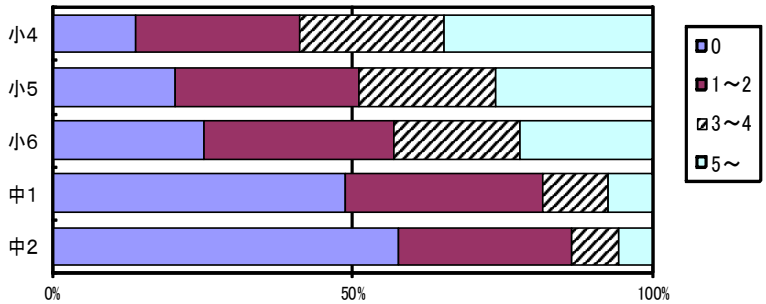
［１か月に何冊くらい本を読むか（教科書・学習参考書・マンガ・雑誌や付録を除く）］

	0	1～2	3～4	5～10	11～
小4	3.2	17.9	22.9	28.2	27.8
小5	3.9	23.1	28.8	25.4	18.8
小6	5.0	26.7	29.8	24.0	14.5
中1	7.9	46.0	28.2	12.6	5.4
中2	8.9	52.0	25.4	9.7	3.9



［１か月に何回くらい図書館を利用するか］

	0	1～2	3～4	5～
小4	14.1	27.2	24.0	34.6
小5	20.6	30.7	22.7	26.0
小6	25.4	31.6	21.0	22.0
中1	49.0	32.8	10.9	7.2
中2	57.8	28.9	7.8	5.5



全ての学年において、児童生徒の79%以上は読書が好きだと回答している。また、全ての学年の児童生徒の91%以上が１か月に１冊以上の本を読んでおり、特に小学校では、１か月に５冊以上の本を読んでいる児童が38%以上いることから、日常的に読書に親しんでいる様子がうかがえる。図書館等の利用回数について、月に１回以上利用しているのは、小学校ではおよそ７割以上、中学校では５割程度である。

令和元年度
秋田県学習状況調査

４　結 果 と 考 察

(1) 国　語

(2) 社　会

(3) 算数、数学

(4) 理　科

(5) 英　語

4　結果と考察　(1)国語

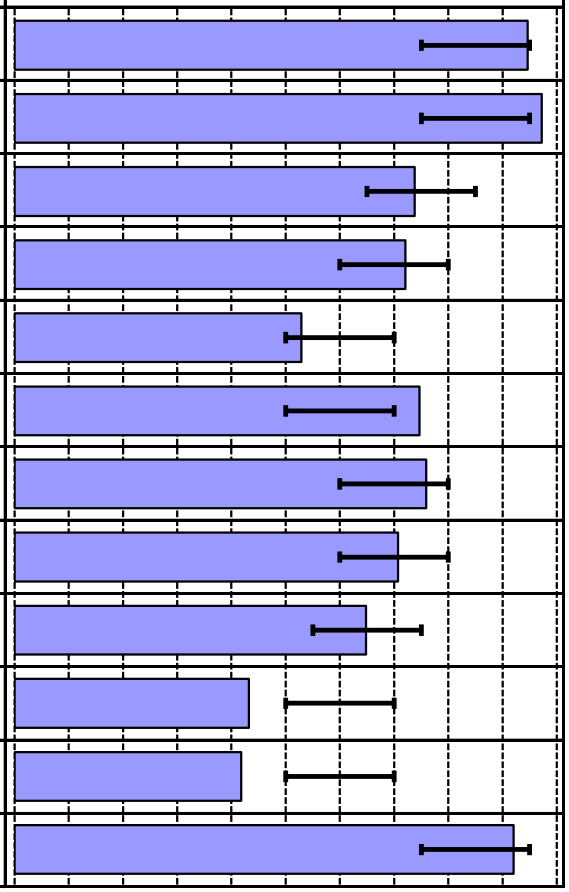
令和元年度秋田県学習状況調査　小学校第４学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点		
					書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
第４学年	こと書く	ウ(3･4年)	・自分の考えとその理由を明確にして書いている。	12)	○		
	読むこと	ウ(3･4年)	・登場人物の行動や会話に即し，登場人物の気持ちを想像して読んでいる。	7)		○	
				9)		○	
			・場面の移り変わりに注意しながら，人物相互の関係を踏まえ，登場人物の気持ちを想像して読んでいる。	8)		○	
				10)		○	
				11)		○	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)ウ(ｲ)(3･4年)	・第４学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく読んでいる。	1)			○
				2)			○
			・第３学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく書いている。	3)			○
				4)			○
		(1)イ(ｷ)(3･4年)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	5)			○
		(1)ア(ｲ)(3･4年)	・慣用句の意味と使い方について理解している。	6)			○

小学校　４年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　71.1%

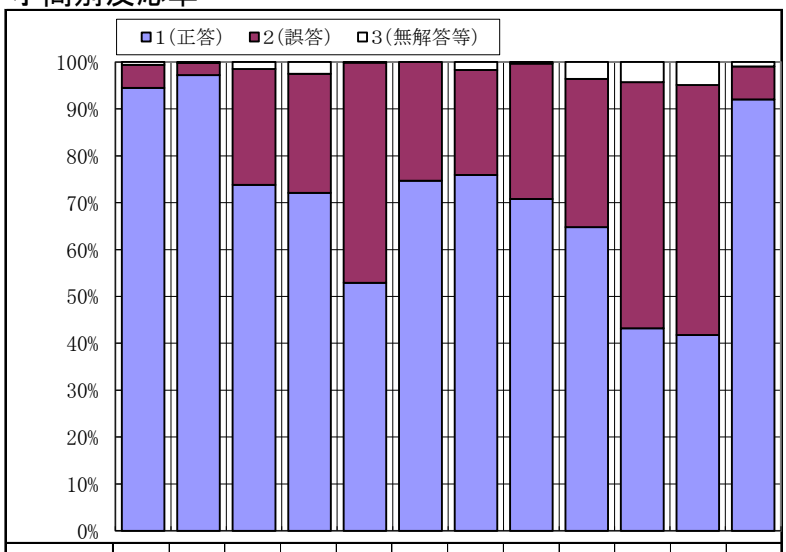
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	漢字を読む（ぶじ）	94.6	85.0
（2	漢字を読む（まわり）	97.2	85.0
（3	漢字を書く（鉄道）	73.8	75.0
（4	漢字を書く（拾う）	72.1	70.0
（5	修飾と被修飾との関係の理解	52.9	60.0
（6	ことわざや慣用句の理解	74.7	60.0
（7	叙述を基に登場人物の心情を想像してまとめる	75.9	70.0
（8	登場人物の心情の理解	70.7	70.0
（9	登場人物の様子を表す表現の理解	64.8	65.0
（１０	登場人物の心情を表す表現の理解	43.2	60.0
（１１	登場人物の心情の変化の理解	41.8	60.0
（１２	手伝いの内容とそれを選んだ理由を書く〔作文〕	92.0	85.0



※ ⊢⟶⊣ は設定通過率±10%を示している。

小学校　４年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12
1 (正答)	94.6	97.2	73.8	72.1	52.9	74.7	75.9	70.7	64.8	43.2	41.8	92.0
2 (誤答)	4.9	2.6	24.7	25.4	47.0	25.3	22.4	28.9	31.6	52.5	53.3	7.1
3 (無解答等)	0.6	0.2	1.5	2.5	0.1	0.0	1.7	0.3	3.6	4.3	4.9	0.9

小問別通過率度数分布表（196校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	平均通過率
100%	59	102	17	17	7	17	13	11	9	3	1	72	
90%～100%	104	79	8	16	5	22	13	2	3	1		70	4
80%～90%	28	12	52	36	19	43	51	28	19	5	7	44	22
70%～80%	2	2	49	52	21	48	70	68	39	7	3	7	89
60%～70%	1		45	47	26	35	33	55	51	17	16	2	73
50%～60%	1		15	23	35	22	11	19	51	36	37		7
40%～50%			6	3	30	6	3	8	17	46	38		
30%～40%			2	1	29	3		1	4	46	48		
20%～30%					18			3	2	29	31		1
10%～20%					3					5	10		
0%～10%	1	1	2	1	3		2	1	1	1	5	1	

小学校４年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	領域別			計
	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
＋10％ より高い	0	0	2	2
±10％ の範囲内	1	3	4	8
－10％ より低い	0	2	0	2
計	1	5	6	１２

2　考察

(1) 全体について

12問中10問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①「書くこと」では、内容の中心を明確にし理由を挙げて文章を書くことについて、指導の成果が見られる。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字を読むことや慣用句の使い方について、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①「読むこと」では、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の行動や会話、様子を表す叙述を基に、登場人物の気持ちの変化を想像することについて、課題が見られる。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、修飾と被修飾との関係を理解することについて、課題が見られる。

3　今後の指導

登場人物の気持ちの変化を、場面の移り変わりに即して、叙述と結び付けて具体的に想像して読む指導の充実を図る。

・複数の場面における登場人物の行動や会話、様子などの叙述を結び付け、場面の移り変わりとともに登場人物同士の関係や気持ちがどのように変化しているかを考えさせる。
・自分の想像の根拠として着目した叙述や、叙述と叙述を結び付けて具体的に想像したことなどを交流させる活動を設定し、多様な考え方や感じ方があることに気付かせ、自分の考えを広げたり深めたりさせるとともに、物語を読む楽しさを実感させることが大切である。

文の構成についての理解を促すために、「読むこと」や「書くこと」などの領域の学習と関連させた指導の充実を図る。

・児童の実態に応じ、例文を用いるなどして、主語、述語、修飾語等の役割や語句相互の関係などについて、理解を深めるようにする。
・例えば、主語と述語のみの例文に、伝えたい内容に応じて「いつ」「どこで」などの修飾語を付け加えさせる活動などを取り入れることで、分かりやすく相手に伝えたり、文章の内容を的確に理解したりする上で役立つことを実感させることが大切である。
・物語の叙述を解釈する際に修飾語に着目し、その言葉が生み出す効果について話し合わせたり、書いた文章を推敲する際に主語、述語、修飾語の関係が明確に表現されているかどうかに着目させたりするなど、「読むこと」や「書くこと」などの学習の中で文の構成について意図的に指導することが大切である。

［参考　通し番号 11)］

4　次は、ピータイルをふんでいくときのみどりの気持ちの変化について話し合っている場面です。「あきこさん」になったつもりで、［　②　］に入るふさわしい内容を書きなさい。

みどりは、階だんで、「それ、黒とちがう！」と黒ねこにさけんだり、ねこのあとをおってとび下りたりしていて、必死な感じが伝わってきます。これらの表現から、ここの場面では、ねこといっしょに進むのが楽しいという気持ちだけでなく、［　②　］気持ちもあると思いました。

［参考　通し番号 5)］

3　次の文の「スーッと」はどの言葉をくわしくしていますか。**ア**～**エ**から一つ選んで、［　］の中に記号を書きなさい。

・ふしぎなことに、スーッと［**ア**］げんかんの［**イ**］戸が［**ウ**］開きました。［**エ**］

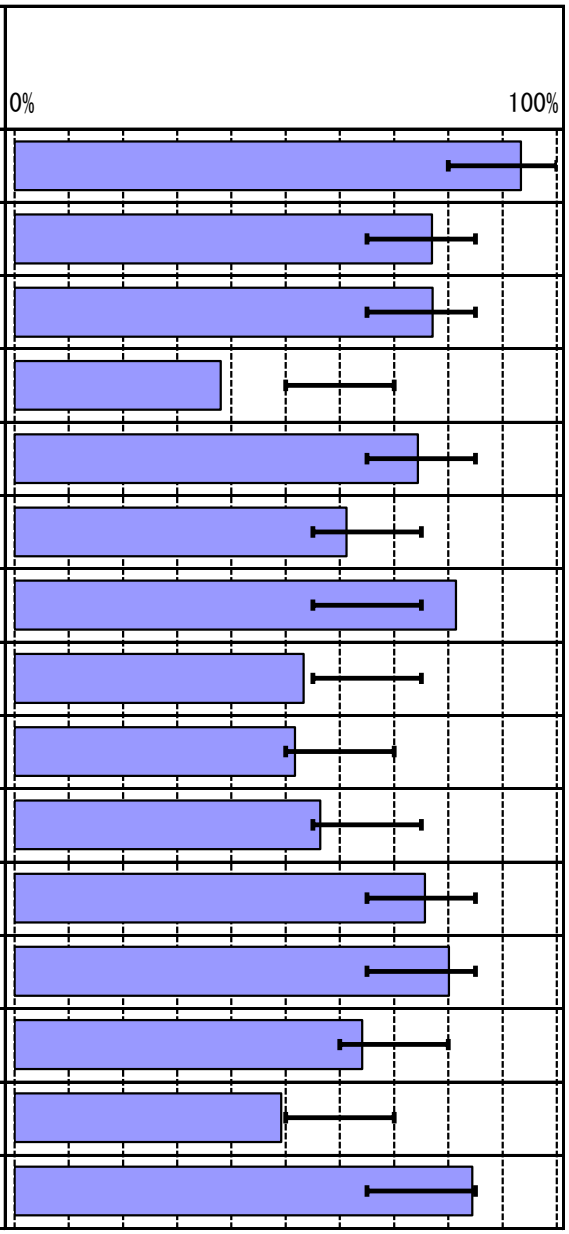
令和元年度秋田県学習状況調査　小学校第５学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点			
					話す能力聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
第５学年	話すこと聞くこと	イ(5･6年)	・目的や意図に応じて，事柄が明確に伝わるように場に応じた適切な言葉遣いで質問をしている。	10)	○			
		イ(5･6年)	・目的や意図に応じて，事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫している。	11)	○			
	書くこと	ウ(5･6年)	・目的に応じて，自分の考えた活動内容とそれがよいと考える理由とを区別して書いている。	16)		○		
	読むこと	ウ(5･6年)	・文章の内容を的確に押さえて読んでいる。	12)			○	
		ウ(5･6年)	・事実と感想，意見などの関係を的確に押さえ，筆者の意図を想定しながら読んでいる。	13)			○	
		ウ(5･6年)	・筆者の意図を想定しながら文章全体の構成を把握している。	14)			○	
		ウ(5･6年)	・文章の内容を的確に押さえ，要旨を捉えて読んでいる。	15)			○	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)ウ(ｱ)(5･6年)	・第５学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく読んでいる。	2)				○
		(1)ウ(ｲ)(3･4年)	・第４学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく書いている。	3)				○
				4)				○
		(1)イ(ｶ)(3･4年)	・漢字辞典の使い方を理解している。	5)				○
		(1)イ(ｴ)(5･6年)	・和語・漢語を区別して理解している。	6)				○
		(1)イ(ｸ)(5･6年)	・敬語の使い方について理解している。	7)				○
		(1)イ(ｷ)(3･4年)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	8)				○
		(1)ア(ｲ)(3･4年)	・慣用句の意味と使い方を理解している。	9)				○

小学校　５年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　67.8%

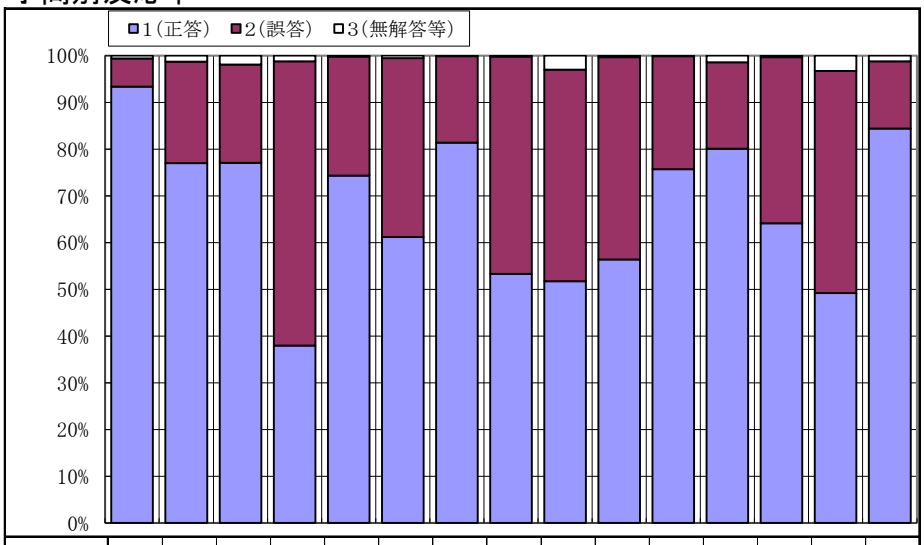
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（2	漢字を読む（しょぞく）	93.4	90.0
（3	漢字を書く（群馬）	77.0	75.0
（4	漢字を書く（折り目）	77.1	75.0
（5	漢字辞典の使い方の理解	38.0	60.0
（6	和語と漢語の理解	74.4	75.0
（7	敬語の使い方の理解	61.2	65.0
（8	修飾と被修飾との関係の理解	81.4	65.0
（9	ことわざや慣用句の理解	53.3	65.0
（１０	目的に応じた質問についての理解	51.7	60.0
（１１	話の構成の工夫の理解	56.4	65.0
（１２	筆者が説明している内容の理解	75.7	75.0
（１３	筆者の意図や思考を想定し考えをまとめる	80.1	75.0
（１４	文章の構成の仕方の理解	64.1	70.0
（１５	叙述を根拠に文章の要旨をまとめる	49.2	60.0
（１６	交流会の活動の内容とその理由を区別して書く〔作文〕	84.4	75.0



※⊢⊣は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　国語

小問別反応率



通し番号	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16
1 (正答)	93.4	77.0	77.1	38.0	74.4	61.2	81.4	53.3	51.7	56.4	75.7	80.1	64.1	49.2	84.4
2 (誤答)	6.0	21.7	21.0	60.9	25.5	38.3	18.5	46.5	45.3	43.3	24.2	18.5	35.6	47.5	14.4
3 (無解答等)	0.6	1.3	1.9	1.2	0.2	0.5	0.1	0.2	3.0	0.3	0.1	1.4	0.3	3.3	1.2

小問別通過率度数分布表（197校）

は県平均通過率

通し番号	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	平均通過率
100%	55	15	13	2	14	4	21	7	3	3	7	16	1	4	39	
90%～100%	95	19	23	4	11	6	28	3	2	1	11	29	4	2	40	1
80%～90%	40	56	58	7	50	19	78	14	7	13	59	63	15	7	64	12
70%～80%	3	53	53	5	59	30	45	9	10	15	62	60	35	27	32	65
60%～70%	3	29	28	12	42	47	19	25	33	42	44	17	73	28	15	97
50%～60%		14	12	23	16	54	5	62	58	72	10	7	51	30	6	19
40%～50%		6	2	33	4	21	1	40	42	34	1		10	39	1	2
30%～40%		1	3	39	1	12		24	29	12		3	3	36		1
20%～30%		2	3	40		3		8	9	2	2		1	14		
10%～20%				22				2	2	2			1	5		
0%～10%		1	1	9		1		3	2	1	1	2	3	5		

小学校５年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
＋10%より高い	0	0	0	1	1
±10%の範囲内	2	1	3	5	１１
－10%より低い	0	0	1	2	3
計	2	1	4	8	１５

2　考察

(1) 全体について

15問中12問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①「書くこと」では、目的に応じて、事実と意見とを区別しながら自分の考えが伝わるようにまとめて書くことについて、指導の成果が見られる。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字を読んだり書いたりすることや修飾と被修飾との関係を理解することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字辞典の使い方の理解について、課題が見られる。

②「読むこと」では、文章の内容を的確に把握し、叙述を根拠に文章の要旨をまとめることについて、課題が見られる。

3　今後の指導

必要な情報を調べる習慣を身に付けるために、辞書や事典を活用する活動の充実を図る。

・辞書や事典の使い方を理解させるとともに、辞書や事典が手元にあり、必要なときにはいつでも使えるような環境を整えておく。

・児童の発達や学習の状況に応じて、辞書や事典を活用して調べる活動を計画的に取り入れる。その際、目的に応じて辞書や事典を選ばせたり、目次や索引を利用させたりすることで、情報を効率的に調べられることを実感させることが大切である。

事実と意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する指導の充実を図る。

・要旨を適切に把握するためには、文章全体の構成を捉える必要がある。文章の内容を表に整理するなどしながら、事実と感想、意見などとの関係に着目して文章全体の構成を正確に捉えた上で、目的に応じた分量や表現の仕方に合わせて要旨をまとめるなど、活動の工夫を図る。

・事実と意見などとの関係を捉えさせる際は、書き手がどのようにして考えを論証したり、読み手を説得しようとしたりしているかなど、書き手の意図や思考を想定しながら読むよう指導することが大切である。

［参考　通し番号 5)］

3　次は、漢字辞典の部首さくいんのページの一部です。この部分を参考にして「打」という漢字をさがすとき、何ページからさがし始めるとよいですか。**【部首さくいん】**からページ数をぬき出して、□の中に書きなさい。

［参考　通し番号 15)］

4　「マッスルスーツ」と「アクティブ歩行器」の共通点についてノートにまとめました。**【ノートの一部】**の□に入る内容を本文中の言葉を用いて**三十字以内**で書きなさい。

【ノートの一部】「マッスルスーツ」と「アクティブ歩行器」の共通点

・「着るロボット」という点

・人工筋肉を使っている点

・□

・心の面で人を助ける点

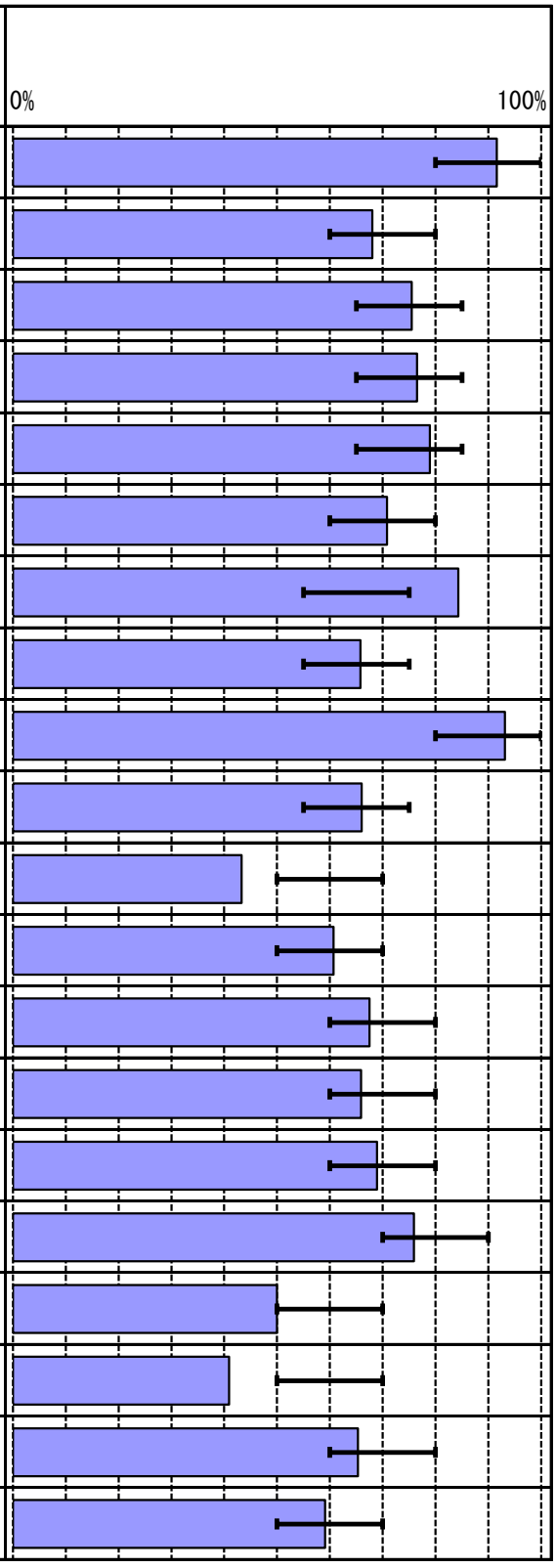
令和元年度秋田県学習状況調査　小学校第６学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点			
					話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
第６学年	話すこと・聞くこと	オ（5･6年）	・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合っている。	12)	○			
	書くこと	エ(5･6年)	・図表やグラフなどの情報を用いて，自分の考えとその理由が伝わるように書いている。	20)		○		
	読むこと	エ(5･6年)	・登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉え，優れた叙述について自分の考えをまとめている。	13)			○	
				14)			○	
				15)			○	
				16)			○	
				17)			○	
				18)			○	
		カ(5･6年)	・目的に応じて，複数の本や文章などを選んで比べて読んでいる。	19)			○	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)ウ(ｱ)（5･6年）	・第６学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく読んでいる。	1)				○
				2)				○
			・第５学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく書いている。	3)				○
				4)				○
		(1)ウ(ｱ)（5･6年）	・送り仮名に注意して漢字を正しく書いている。	5)				○
		(1)ウ(ｳ)（3･4年）	・漢字のへん，つくりなどの構成について理解している。	6)				○
		(1)イ(ｷ)（3･4年）	・修飾と被修飾との関係について理解している。	7)				○
		(1)ア(ｲ)（3･4年）	・慣用句の意味と使い方を理解している。	8)				○
		(1)イ(ｴ)（5･6年）	・漢語の意味の違いを理解している。	9)				○
		(1)イ(ｴ)（5･6年）	・熟語の構成について理解している。	10)				○
		(1)ア(ｲ)（5･6年）	・季節の言葉を通して，昔の人のものの見方や感じ方に興味・関心を深めている。	11)				○

小学校　６年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　68.4%

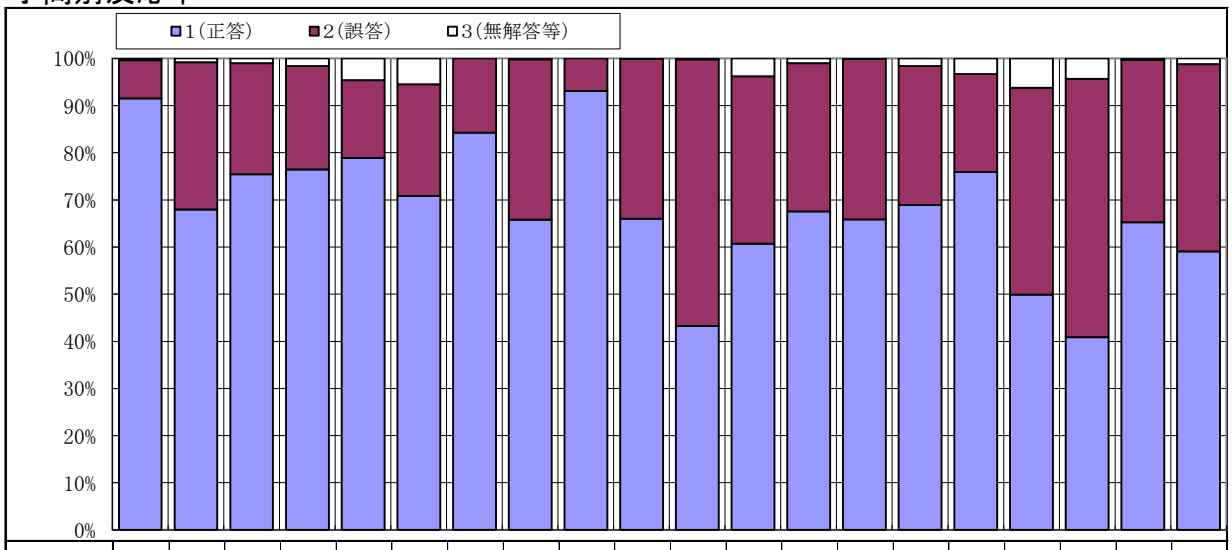
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	漢字を読む（かんけつ）	91.6	90.0
（2	漢字を読む（じゅうだん）	68.0	70.0
（3	漢字を書く（性格）	75.5	75.0
（4	漢字を書く（志す）	76.5	75.0
（5	正しい送り仮名で漢字を書く（任せる）	78.9	75.0
（6	漢字のへん，つくりの理解	70.8	70.0
（7	修飾と被修飾との関係の理解	84.3	65.0
（8	ことわざや慣用句の理解	65.8	65.0
（9	漢語の意味の違いの理解	93.1	90.0
（１０	熟語の構成の理解	66.0	65.0
（１１	季節の言葉の理解	43.3	60.0
（１２	計画的な話合いの進め方の理解	60.7	60.0
（１３	比喩表現の理解	67.5	70.0
（１４	登場人物の描写の工夫	65.9	70.0
（１５	文章の展開の理解	68.9	70.0
（１６	叙述を基に登場人物の人物像をまとめる	75.9	80.0
（１７	叙述を基に登場人物の人物像をまとめる	50.0	60.0
（１８	場面の展開に即して登場人物の心情をまとめる	40.9	60.0
（１９	目的に応じて複数の本などを比べて読む	65.3	70.0
（２０	図表の情報を用いて自分の考えとその理由を書く〔作文〕	59.1	60.0



※⊢⊣は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	91.6	68.0	75.5	76.5	78.9	70.8	84.3	65.8	93.1	66.0	43.3	60.7	67.5	65.9	68.9	75.9	50.0	40.9	65.3	59.1
2 (誤答)	8.1	31.2	23.6	21.9	16.5	23.7	15.7	34.0	6.9	33.9	56.6	35.5	31.4	34.0	29.5	20.8	43.9	54.8	34.5	39.7
3 (無解答等)	0.4	0.8	1.0	1.6	4.6	5.5	0.0	0.2	0.0	0.1	0.2	3.8	1.0	0.1	1.6	3.3	6.2	4.3	0.3	1.2

小問別通過率度数分布表（197校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	50	10	18	19	21	8	22	6	45	5	4	8	13	4	11	10		2	3	8	
90%～100%	75	17	25	29	37	11	54	5	108	7	2	7	7	5	4	19	2	4	4	12	1
80%～90%	59	35	40	43	53	40	60	22	38	16	4	17	25	25	28	44	7	10	11	24	17
70%～80%	8	38	52	48	40	55	48	39	3	46	7	37	36	42	56	71	7	9	48	30	66
60%～70%	4	37	37	28	29	56	10	60	3	67	9	36	56	72	56	39	34	24	69	33	96
50%～60%	1	39	18	23	11	22	1	46		46	30	42	35	32	30	11	53	32	42	49	14
40%～50%		12	6	5	2	4	1	16		7	50	31	15	13	8	2	49	32	17	13	3
30%～40%		9		2	4	1	1	2		1	49	9	4	3	2		31	21	2	11	
20%～30%			1					1			32	7	3		2	1	11	23	1	11	
10%～20%										1	8	2	1				2	26		4	
0%～10%										1	2	1	2	1			1	14		2	

小学校６年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
＋10%より高い	0	0	0	1	1
±10%の範囲内	1	1	6	9	１７
－10%より低い	0	0	1	1	2
計	1	1	7	１１	２０

2　考察

(1) 全体について

20問中18問が「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①「書くこと」では、全国学力・学習状況調査において課題であった、資料から必要な情報を得て、自分の考えとその理由を明確にして書くことについて、指導の改善が図られている。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、修飾と被修飾の関係を理解することや、漢語の意味の違いを理解し使い分けることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

「読むこと」では、次の二点について、課題が見られる。

①叙述を基に登場人物の人物像についてまとめること。

②場面の展開に即して人物の心情をまとめること。

3　今後の指導

人物の言動に関わる複数の叙述を比較したり、関係付けたりしながら、人物像や人物が果たしている役割を捉えることができるよう、指導の手立てを工夫する。

・登場人物の心情や行動、情景描写などを比較したり関係付けたりして、人物の行動や考え方に見られる一貫性や普遍性、特殊性、対称性などを捉える学習活動の充実を図る。

・人物像を捉える際には、心情などを表す直接的な描写だけでなく、行動や会話、情景などを通した暗示的な表現にも着目し、豊かに想像できるようにする。その際、叙述から想像したことを視覚化するなど、実感を伴って捉えることができるような学習活動の工夫を図ることが大切である。

場面の展開に沿って物語を読みながら、原因と結果などの関係を見いだし、人物の心情と結び付けて物語の全体像を捉える指導を重視する。

・人物が置かれた状況の発端となる出来事などに着目して物語の展開を捉え、出来事の意味を人物の心情や人物像と関係付けることにより、物語の全体像を具体的に思い描く学習活動の充実を図る。

・二つ以上の場面における人物の行動を比較し共通性を見いだしたり、人物像と場面設定を関係付けて考えたりする学習活動を取り入れることにより、叙述が生み出す感動やユーモアなどを感じ取らせたり、物語に込められたメッセージなどを考えさせたりすることが大切である。

［参考　通し番号 16)17)］

4　次は、本文のおもしろさについて説明した文です。［①］には、当てはまる言葉を本文中から**八字**で抜き出して書きなさい。また、［②］には、ふさわしい内容を考えて書きなさい。

「［①］」という三太郎のなさけないおどろき方と、たたみかけるような勢いとリズムのある「あわ立ち逆まき立ち上がり」というぬまの様子との差から、［②］けれども気が弱い三太郎の人物像が強調されるところが、おもしろさになっている。

［参考　通し番号 18)］

5　ぬまの底にいくまきもしている自分のきょだいな体をながめているばかり　とありますが、三太郎はどのような気持ちで自分の体をながめていたのですか。三太郎の身のまわりで起きている出来事と関連させながら書きなさい。

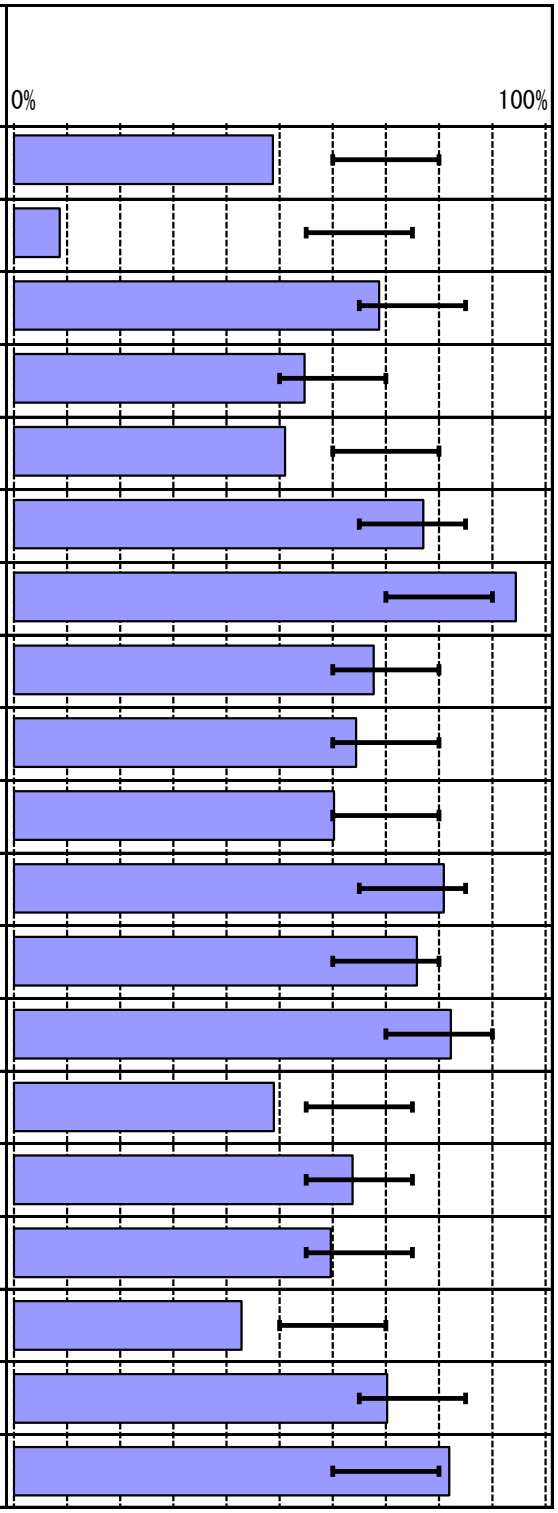
令和元年度秋田県学習状況調査　中学校第１学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点			
					話すこと・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
第１学年	話すこと・聞く	イ（中１）	・全体と部分の関係に注意し，相手の反応を踏まえながら話を構成している。	12)	○			
		エ（中１）	・必要に応じて質問し，足りない情報を聞き出している。	13)	○			
	書くこと	ウ（中１）	・標語を選んだ理由について，読書体験と関連付けて自分の考えや気持ちをまとめて書いている。	20)		○		
	読むこと	ア（中１）	・文脈の中における語句の意味を的確に捉え，理解している。	14)			○	
		イ（中１）	・文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分けている。	15)			○	
			・目的や必要に応じて情報を選択し，要約している。	16)			○	
		オ（中１）	・文章に表れている筆者のものの見方や考え方を捉えている。	17)			○	
				18)			○	
		エ（中１）	・文章の展開や表現の特徴について，自分の考えをもっている。	19)			○	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)ウ(ｱ)(中1)	・小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度の漢字を正しく読んでいる。	1)				○
		(1)ウ(ｱ)(小5・6)	・学年別配当表に示されている漢字を正しく書いている。	3)				○
				4)				○
		(1)ウ(ｲ)(中1)	・文脈に即して漢字を適切に使っている。	5)				○
		(1)ア(ｲ)(小3・4)	・慣用句の意味と使い方を理解している。	6)				○
		(1)イ(ｴ)(小5・6)	・熟語の構成について理解している	7)				○
		(1)イ(ｳ)(中1)	・四字熟語の意味と使い方を理解している。	8)				○
		(1)ア(ｱ)(中1)	・歴史的仮名遣いについて理解している。	9)				○
		(1)イ(ｴ)(中1)	・文節の区切り方について理解している。	10)				○
		(1)イ(ｷ)(小3・4)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	11)				○

中学校　１年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　63.2%

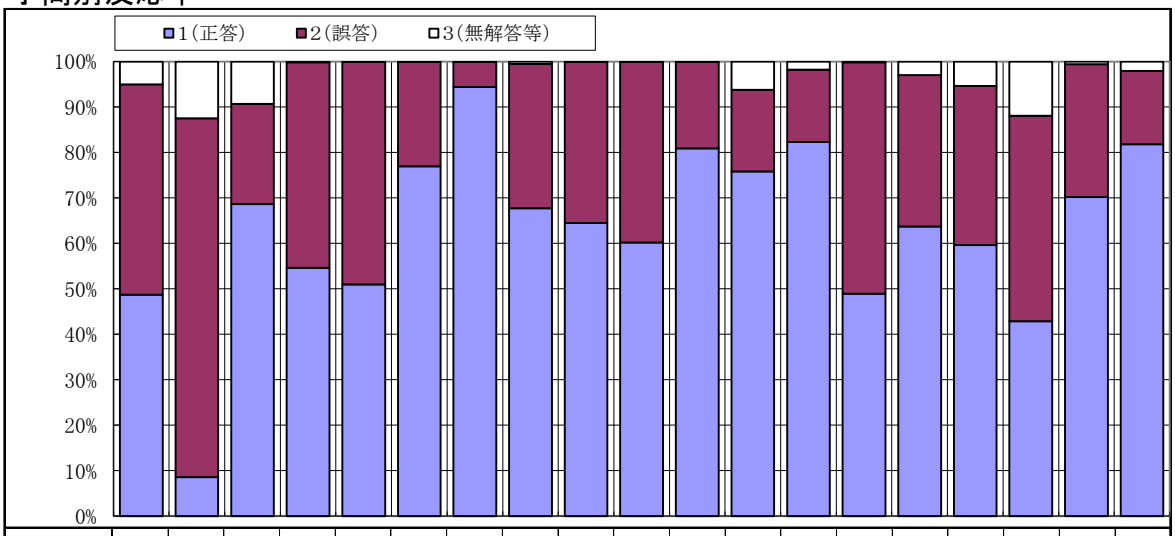
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	漢字を読む（かんまん）	48.7	70.0
（3	漢字を書く（採光）	8.6	65.0
（4	漢字を書く（垂れる）	68.7	75.0
（5	同音の漢字の理解	54.7	60.0
（6	ことわざや慣用句の理解	51.0	70.0
（7	熟語の構成の理解	77.0	75.0
（8	四字熟語の理解	94.4	80.0
（9	歴史的仮名遣いの理解	67.7	70.0
（１０	文節の理解	64.4	70.0
（１１	修飾と被修飾との関係の理解	60.2	70.0
（１２	スピーチの構成についての理解	80.9	75.0
（１３	スピーチの内容に対する質問	75.8	70.0
（１４	文脈における語句の意味の理解	82.2	80.0
（１５	文章の中心的な部分と付加的な部分との関係の理解	48.9	65.0
（１６	目的に応じて文章を要約する	63.7	65.0
（１７	筆者のものの見方や考え方の理解	59.6	65.0
（１８	筆者のものの見方や考え方の理解	42.8	60.0
（１９	文章の構成や展開，表現の特徴の理解	70.2	75.0
（２０	標語を選んだ理由について，読書体験と関連付けて書く〔作文〕	81.9	70.0



※⟷は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	48.7	8.6	68.7	54.7	51.0	77.0	94.4	67.7	64.4	60.2	80.9	75.8	82.2	48.9	63.7	59.6	42.8	70.2	81.9
2 (誤答)	46.3	78.9	22.1	45.2	48.9	23.0	5.5	31.8	35.4	39.7	19.0	18.0	15.9	50.9	33.3	35.0	45.2	29.2	16.1
3 (無解答等)	5.0	12.5	9.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.5	0.1	0.1	0.1	6.2	1.8	0.2	3.0	5.4	11.9	0.6	2.1

小問別通過率度数分布表（116校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	2		4	2	1	4	23	6		1	7	2	7	2	5			2	8	
90%～100%	2		4	1		4	73	13	3		11	7	12		5			1	30	
80%～90%			19	4	2	41	16	19	12	8	54	34	54		16	5	2	13	28	1
70%～80%	8	2	29	8	2	48	1	21	23	10	34	42	35	4	25	26	3	48	29	9
60%～70%	12		36	27	15	14	1	24	37	38	7	23	5	10	20	24	5	35	13	77
50%～60%	21	1	13	37	39	4	1	13	25	30	2	7	1	37	21	43	13	11	5	27
40%～50%	36	1	7	29	43			14	11	15	1		1	40	15	12	44	2	1	1
30%～40%	25			4	8			3	2	11				19	5	2	32	3		
20%～30%	7	4	2	2	3			2	1	1				2	2	2	14			
10%～20%	1	21	1		1									1	1		1			
0%～10%	2	87	1	2	2	1	1	1	2	2		1	1	1	1	2	2	1	2	1

中学校１年　国語　調査結果の考察

１　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
＋10％より高い	0	1	0	1	2
±10％の範囲内	2	0	4	6	１２
－10％より低い	0	0	2	3	5
計	2	1	6	１０	１９

２　考察

(1) 全体について

①19問中14問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②領域別では、「読むこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」にやや課題が見られる。

(2) 成果

①「書くこと」では、自分の体験と関連付けて考えや気持ちをまとめて書くことについて、指導の成果が見られる。

②「読むこと」では、目的に応じて文章を要約することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①「読むこと」では、文章の中心的な部分と付加的な部分との関係を理解することや、筆者のものの見方や考え方を理解することについて、課題が見られる。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、慣用句の意味や使い方を理解することについて、課題が見られる。

３　今後の指導

文章の内容を正確に理解するため、文章の構成や展開、各段落が文章全体の中で果たす役割等を捉える指導の充実を図る。

・中心となる文にサイドラインを引かせたり、各段落の要点をまとめさせたりして、叙述を基に文章の中心的な部分を捉えることができるようにする。

・文章中に示されている具体例が論の展開の中で果たしている役割や、書かれている事実と書き手の意見との関係、段落相互の関係を考えるなど、文章全体を俯瞰（ふかん）して読む活動を取り入れる。

［参考　通し番号15)］

2　3と4の段落の関係について正しく説明しているものを、次のア～エから一つ選んで、記号を書きなさい。

ア　3の問いを受けて、4で新たな問いを加えている。

イ　3の主張に対して、4で対立する考えを述べている。

ウ　3の説明に対して、4で問題点を指摘している。

エ　3の内容を受けて、4で補足してまとめている。

多様な言葉の意味を理解し、場面に応じて適切に使う指導の充実を図る。

・各教科等の学習や読書、生活する中で出会った言葉を記録させ、辞書で意味を確認させたり、具体的な使用例を考えさせたりするなど、日常生活との関連を図った活動を取り入れる。

・聞き手や読み手の立場に立った表現の工夫とその効果などを確かめる学習をする際に、別の言葉や表現で言い換える活動などを取り入れ、言葉の正誤・適否（いな）・美醜などについて吟味させることで、語感を磨き、語彙（ごい）の質を高めるようにすることも大切である。

［参考　通し番号6)］

3　次のア～エの｜部の慣用句のうち、正しい使い方をしているものを一つ選んで、記号を書きなさい。

ア　弟のめざましい成長に目を細める。

イ　今日の午後は忙しいので手があく。

ウ　念願の初優勝に胸がつぶれる。

エ　父の車に同乗して足が棒になる。

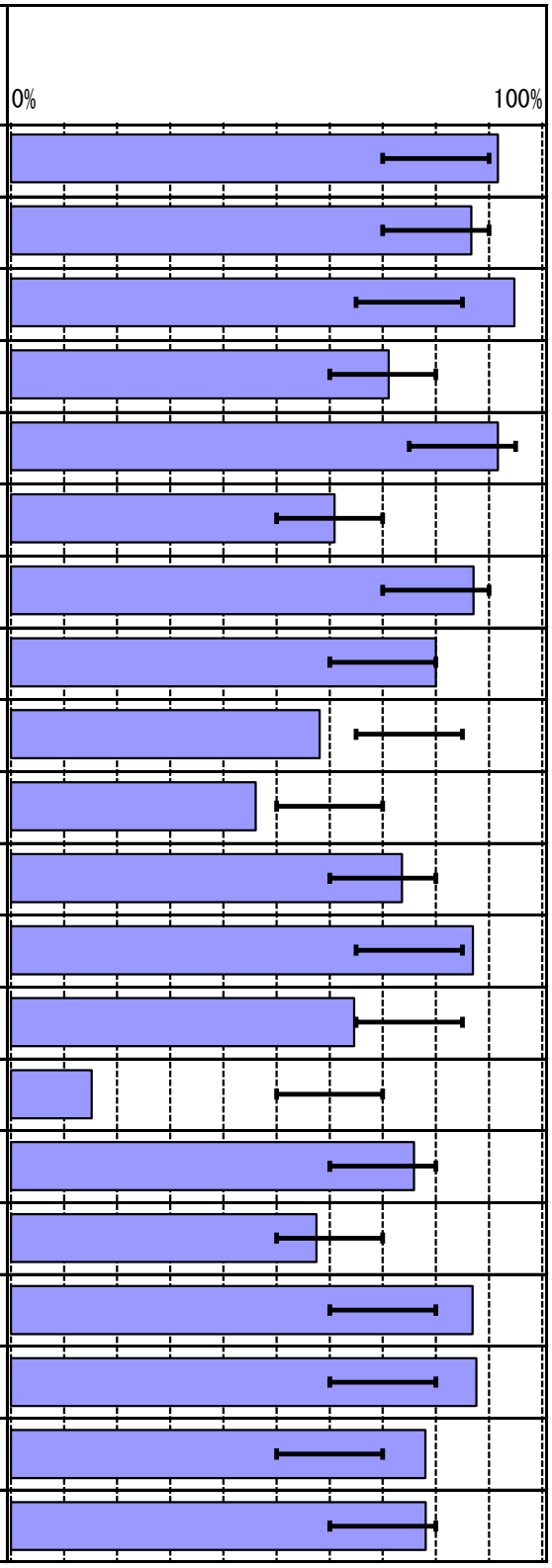
令和元年度秋田県学習状況調査　中学校第２学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点			
					話すこと・聞くこと能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
第２学年	話すこと・聞くこと	エ（中２）	・話の論理的な構成や展開などに注意して聞き，話している内容を捉えている。	1)	○			
				2)	○			
		オ（中２）	・論理的な展開などについて注意して聞き取り，目的に沿った話合いの進め方を理解している。	3)	○			
	書くこと	イ（中２）	・自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして，自分の考えをまとめている。	20)		○		
	読むこと	ウ（中１）	・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容を捉えている。	14)			○	
		エ（中２）	・文章に表れているものの見方や考え方について理解している。	15)			○	
		ウ（中２）	・文章の表現の仕方について,自分の考えをもっている。	16)			○	
		ア（中２）	・抽象的な概念を表す語句に注意して読んでいる。	17)			○	
		イ（中２）	・登場人物の言動の意味などを考え，内容を理解している。	18)			○	
				19)			○	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)ウ(ｱ)(中2)	・第１学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を正しく読んでいる。	4)				○
				5)				○
		(1)ウ(ｲ)(中1)	・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	6)				○
				7)				○
		(1)イ(ｳ)(中1)	・四字熟語の意味と使い方を理解している。	8)				○
		(1)ア(ｲ)(小3・4)	・ことわざの意味と使い方を理解している。	9)				○
		(1)イ(ｴ)(中1)	・単語の類別について理解している。	10)				○
		(1)イ(ｱ)(中2)	・敬語の使い方について理解している。	11)				○
		(1)イ(ｷ)(小3・4)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	12)				○
		(1)ア(ｱ)(中1)	・歴史的仮名遣いについて理解している。	13)				○

中学校２年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　73.6%

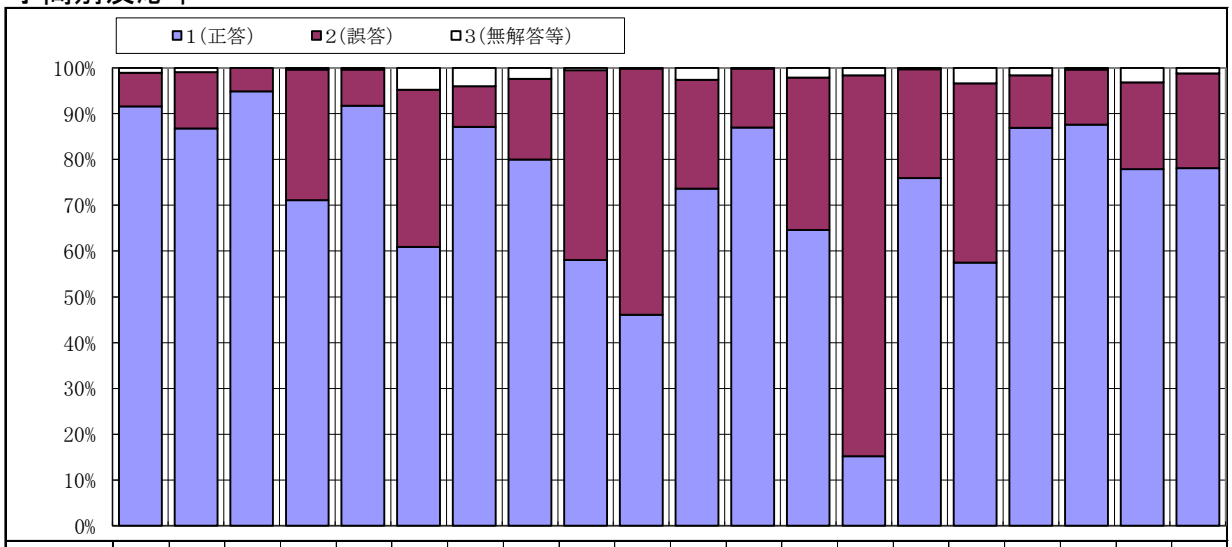
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	発言の内容を聞き取る	91.7	80.0
（2	発言の内容を聞き取る	86.7	80.0
（3	話合いの進め方の理解	94.8	75.0
（4	漢字を読む（さげた）	71.1	70.0
（5	漢字を読む（たくわえて）	91.7	85.0
（6	漢字を書く（参拝）	60.9	60.0
（7	漢字を書く（刻んで）	87.1	80.0
（8	四字熟語の理解	80.0	70.0
（9	ことわざや慣用句の理解	58.1	75.0
（１０	単語の類別の理解	46.1	60.0
（１１	敬語の使い方の理解	73.6	70.0
（１２	修飾と被修飾との関係の理解	87.0	75.0
（１３	歴史的仮名遣いの理解	64.6	75.0
（１４	登場人物の言動の理解	15.2	60.0
（１５	筆者のものの見方や考え方の理解	75.9	70.0
（１６	比喩表現や擬人法について考えをまとめる	57.5	60.0
（１７	抽象的な概念を表す語句の理解	86.9	70.0
（１８	登場人物の言動の意味の理解	87.6	70.0
（１９	叙述に基づいて登場人物の心情をまとめる	78.0	60.0
（２０	有意義な読書について，立場を明確にして考えをまとめて書く〔作文〕	78.1	70.0



※ ⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	91.7	86.7	94.8	71.1	91.7	60.9	87.1	80.0	58.1	46.1	73.6	87.0	64.6	15.2	75.9	57.5	86.9	87.6	78.0	78.1
2 (誤答)	7.3	12.3	5.1	28.5	7.9	34.3	8.9	17.6	41.5	53.7	23.8	12.8	33.3	83.2	23.8	39.1	11.5	12.0	18.9	20.7
3 (無解答等)	1.1	0.9	0.0	0.4	0.4	4.8	4.0	2.4	0.5	0.2	2.6	0.2	2.1	1.6	0.3	3.4	1.6	0.4	3.2	1.2

小問別通過率度数分布表（116校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	22	12	27	1	18	8	11	5	3		5	7	5		7	4	9	12	13	24	
90%～100%	55	31	78	7	52	1	40	17	3	1	6	41	7		11	1	31	35	11	24	1
80%～90%	34	59	9	21	43	4	47	37	4	1	34	50	15		24	6	62	59	47	16	13
70%～80%	3	10	1	33	2	21	14	39	9	9	34	13	21		44	14	8	9	22	21	83
60%～70%		3		34		33	2	13	26	7	19	4	30	1	22	29	4		19	18	17
50%～60%	1			12	1	25	1	3	42	22	14		27	1	5	35	1		1	8	1
40%～50%				4		15		1	19	36	2		6	7	1	16			1	2	
30%～40%				2		5		1	9	22			3	2		8			1	2	
20%～30%						1			1	12			1	15		1					
10%～20%						2				3	1			38	1						1
0%～10%	1	1	1	2		1	1			3	1	1	1	52	1	2	1	1	1	1	

中学校２年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
＋10%より高い	2	0	3	1	6
±10%の範囲内	1	1	2	6	１０
－10%より低い	0	0	1	3	4
計	3	1	6	１０	２０

2　考察

(1) 全体について

20問中16問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①「話すこと・聞くこと」では、目的に沿った話合いの進め方の理解について、指導の成果が見られる。

②「読むこと」では、抽象的な概念を表す語句を理解することや、登場人物の言動の意味を理解することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①「読むこと」では、文学的文章において、文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめることに課題が見られる。

②古典における読み取りでは、場面の展開や登場人物の言動などを整理し、文章の内容を理解することについて、課題が見られる。

3　今後の指導

文章の表現の仕方について、根拠を明確にしながら書き手の目的や意図、表現の効果などを考える指導の充実を図る。

・複数の場面の叙述について、観点を明確にして比較したり、表現の技法の有無によって受ける印象の違いを検討したりするなど、具体的な叙述を根拠にして考えることができるような活動を取り入れる。
・表現について解釈したことを議論させる活動などを通して、自分の考えの妥当性を吟味するとともに、他者の多様な考えに触れ、自分の考えを広げたり深めたりできるようにすることが大切である。

古典に描かれた情景や登場人物の言動などを場面の展開に沿って整理し、内容の理解を深める指導の充実を図る。

・現代語訳や語注などを主体的に活用させ、情景や登場人物の言動、作者の思いなどを、場面の展開に沿って整理して捉えさせるようにする。
・登場人物の心情や情景などを、叙述に基づき具体的に想像することができるよう、登場人物や場面の様子を動作や図で表現させたり、朗読の工夫を考えさせたりするなどの活動を取り入れる。
・古典に関連する図書を、学校図書館から教室に移設し、いつでも手に取って読めるようにするなど、授業以外の時間にも古典に親しむことができる環境を整えるようにする。

［参考　通し番号　16)　］

1　こずえが芽吹き、（中略）大気の中で小鳥たちも春をかなでている　とありますが、この部分の表現について次のようにまとめました。（　　）に入る言葉を考えて書きなさい。

比喩や擬人法を用いて動植物が春の訪れを（　　）かのように表現することで、明るく華やかな様子が読者に印象的に伝わるよう工夫されている。

［参考　通し番号　14)　］

2　この文章には、高名の木登りが言ったこととして、「　」を付けられる部分があります。その「　」の部分の始めと終わりを三字ずつ抜き書きしなさい。

4　結果と考察　(2)社会

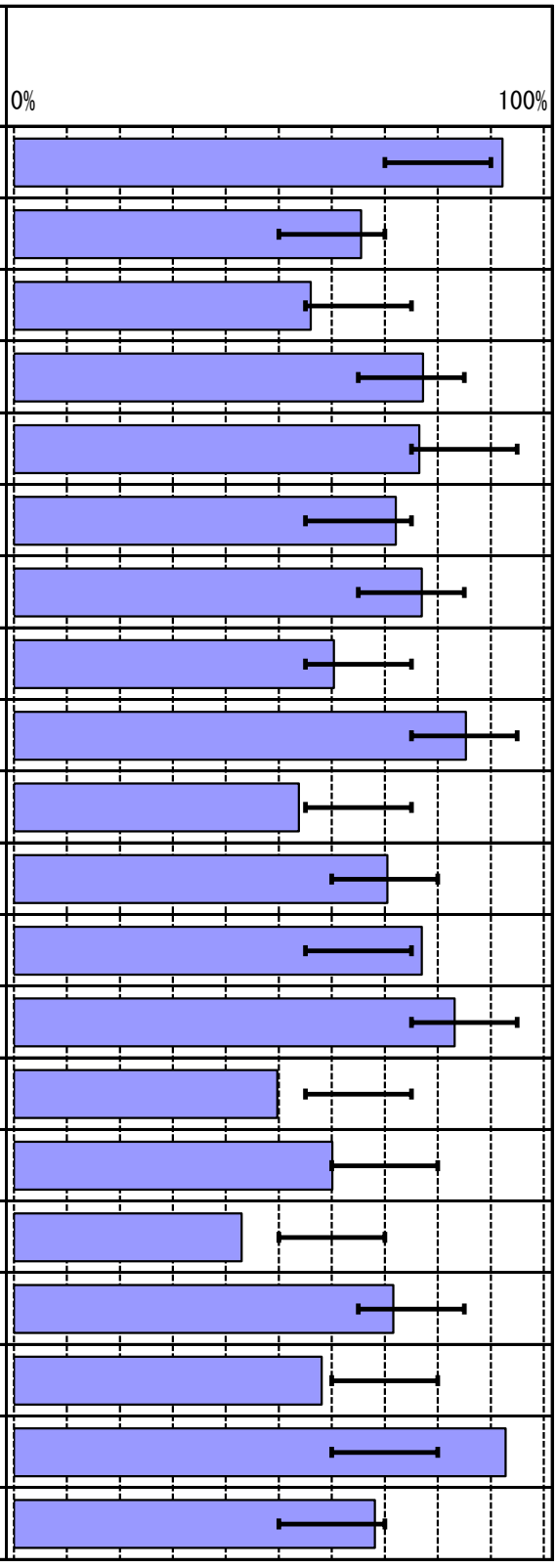
令和元年度秋田県学習状況調査　小学校第５学年　社会　評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観点		
				思考判断表現	技能	知識理解
第３・４学年	(6)ア	・地図帳を活用して，都道府県についての情報を集め，適切に読み取っている。	(1		○	
	(6)ア	・地図帳から必要な情報を集め，適切に読み取っている。	(2		○	
	(1)ア	・地図記号に関する基礎的な知識を活用して，適切に地図を読み取っている。	(3		○	
	(1)ア	・地図記号や地図上の距離の求め方に関する知識・技能を活用して，適切に地図を読み取っている。	(4		○	
	(1)ア	・方位に関する基礎的な知識を活用して，適切に地図を読み取っている。	(5		○	
	(6)ア	・自分の住む市町村の位置について，地図を活用して適切に表現している。	(6	○		
	(6)イ	・秋田県の地形や自然の概要を理解している。	(7			○
	(3)イ	・廃棄物の処理について，複数の資料を関連付けて適切に表現している。	(8	○		
	(5)ウ	・地域の発展に尽くした先人の働きを理解している。	(9			○
	(4)アイ	・消防団の役割について理解している。	(10			○
	(4)アイ	・生活の安全を守るための仕組みについて，資料を関連付けて考え，適切に判断している。	(11	○		
	(4)アイ	・施設・設備などの位置や分布，働きなどに着目して，生活の安全を守るための仕組みについて考え，表現している。	(12	○		
第５学年	(1)イ	・気温や生産時期を示す資料を適切に読み取っている。	(13		○	
	(1)イ	・農業が自然環境と深い関わりをもって営まれていることについて考え，適切に表現している。	(14	○		
	(2)ウ	・米づくりの機械化と大規模化に関わる資料を読み取り，米づくりの変化に関わる内容を適切に判断している。	(15	○		
	(2)ウ	・日本の農業の課題に対する取組について考え，適切に表現している。	(16	○		
	(2)ウ	・水産物の流通の工夫について，資料を基に考え，適切に表現している。	(17	○		
	(2)ウ	・育てる漁業の目的について，資料を基に考え，適切に表現している。	(18	○		
	(1)ア	・主な国の国旗について理解している。	(19			○
	(1)ア	・我が国の領土について理解している。	(20			○

小学校　５年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　69.5%

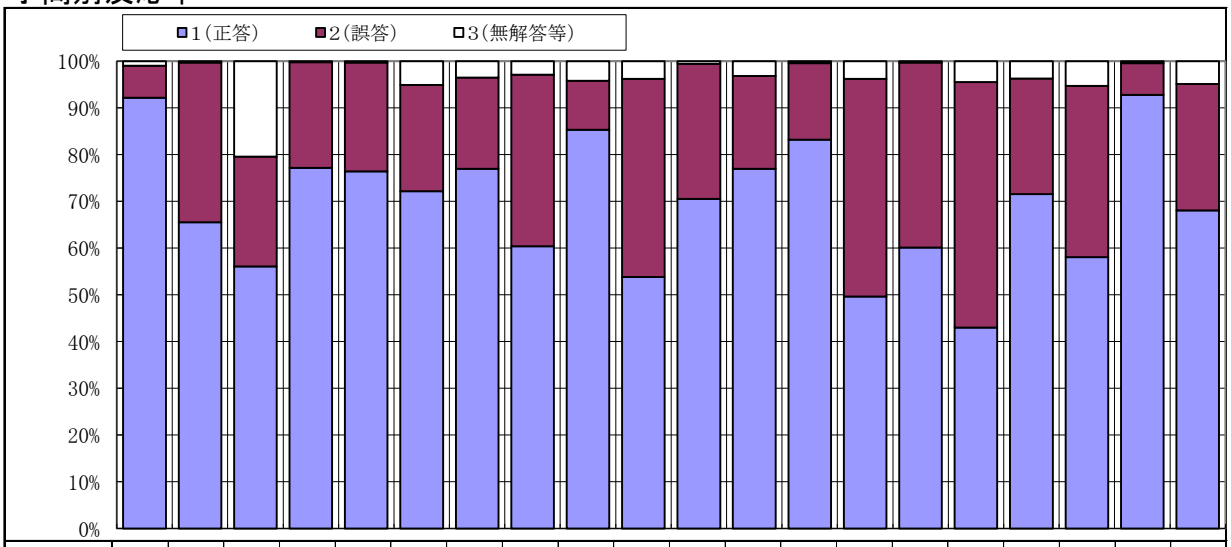
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	地図帳の活用	92.2	80.0
（2	地図帳の総合的な活用	65.5	60.0
（3	地図の読み取りと地図記号	56.0	65.0
（4	地図記号や地図上の距離	77.2	75.0
（5	地図上での方位	76.5	85.0
（6	自分の住む市町村の位置	72.1	65.0
（7	秋田県の地形や自然の概要	77.0	75.0
（8	廃棄物の処理と自分の生活とのかかわり	60.4	65.0
（9	地域の発展に尽くした先人の働き	85.3	85.0
（１０	火災から人々の安全を守る関係機関の連携	53.8	65.0
（１１	火災から人々の安全を守る関係機関の連携	70.5	70.0
（１２	交通安全に備えた施設・設備	77.0	65.0
（１３	気候の特色を生かした野菜づくり	83.2	85.0
（１４	気候の特色を生かした野菜づくり	49.7	65.0
（１５	米づくりの生産性の向上とその影響	60.1	70.0
（１６	米づくりに従事している人々の工夫や努力	43.0	60.0
（１７	水産物の流通の工夫	71.6	75.0
（１８	水産資源の保護、育成	58.1	70.0
（１９	我が国の周辺にある国の国旗	92.8	70.0
（２０	我が国の領土	68.1	60.0



※ ⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	92.2	65.5	56.0	77.2	76.5	72.1	77.0	60.4	85.3	53.8	70.5	77.0	83.2	49.7	60.1	43.0	71.6	58.1	92.8	68.1
2 (誤答)	6.8	34.2	23.5	22.6	23.3	22.7	19.5	36.7	10.5	42.4	28.9	19.8	16.4	46.6	39.6	52.5	24.8	36.7	6.8	27.0
3 (無解答等)	1.0	0.3	20.4	0.2	0.3	5.1	3.5	2.9	4.2	3.8	0.6	3.2	0.4	3.8	0.3	4.5	3.7	5.3	0.4	4.9

小問別通過率度数分布表（196校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	62	10	16	21	15	20	24	6	63	6	4	16	22	4	4	4	9	4	54	19	
90%～100%	78	4	5	15	19	35	27	3	57	4	4	32	38		1	5	8	7	94	22	3
80%～90%	47	26	25	68	52	43	49	16	34	17	31	58	77	6	8	14	41	14	43	35	30
70%～80%	8	40	29	45	60	30	40	42	18	20	64	44	39	12	30	13	65	33	5	34	79
60%～70%	1	64	35	30	32	21	28	46	12	30	54	23	12	32	58	24	30	38		34	55
50%～60%		24	14	12	13	21	13	32	4	48	30	12	7	50	63	24	27	46		20	28
40%～50%		16	18	2	3	11	7	26	4	33	7	5	1	34	18	24	8	31		20	1
30%～40%		6	16	2	1	8	7	14	1	21	1	1		25	11	37	6	14		5	
20%～30%		5	19		1	4		7	2	13		1		23	2	25	1	3		5	
10%～20%			12			2		3		2		2		5		18		4		2	
0%～10%		1	7	1		1	1	1	1	2	1	2		5	1	8	1	2			

小学校５年　社会　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			内容別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	共通問題	地理的内容	３・４年	
＋10％ より高い	1	1	1	2	0	1	3
±10％ の範囲内	5	5	3	2	3	8	１３
－10％ より低い	3	0	1	0	3	1	4
計	9	6	5	4	6	１０	２０

2　考察

(1) 全体について

全体の通過率は69.5であり、昨年度を1.0ポイント下回った。20問中16問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①地域の安全を守る働きの学習において、写真など具体的な資料を基に、その目的や従事する人々の工夫を考えることについての指導の成果が見られる。

②地図帳を活用して、必要な情報を調べ、まとめる技能についての指導の成果が見られる。

(3) 課題

①食料の生産性や品質を高める工夫や努力について、消費者や生産者の立場に立って多角的に考え、表現することに課題が見られる。

②複数の資料を比較し、関連付けながら選択・判断したり、社会的事象の特色を考え、表現したりすることに課題が見られる。

3　今後の指導

社会的事象の背景や目的、特色などを捉えるために、複数の資料を比較し、関連付けながら多角的に考え、表現する活動の充実を図る。

○ポイント［通し番号（16 を例として］

生産者は、消費者の思いや願いに応えながら、どのような工夫や努力をして食料生産に携わっているかを多角的に考えさせ、今後の農業の発展に向けた自分の考えを再構成してまとめさせる。

○具体例

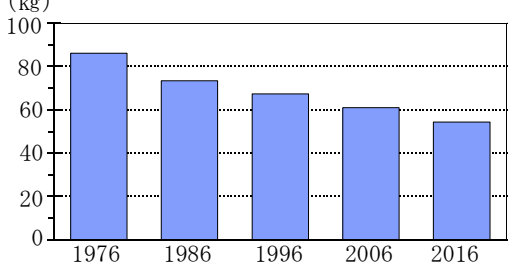
①　米の消費量が減少しているという事実に着目して資料を読み取らせ、「生産者は消費者の思いに応えるために、どのようなことをしているのだろうか」という学習問題を設定する。

②　消費者がどのような米を求めているのかを話し合わせ、消費者の思いや願いを捉えさせる。

③　写真を基に、生産者が行っている工夫や努力が、消費者のどのような思いや願いに応えようとして行われているのかを、多角的に考えさせる。

④　これまでの学びを総合して、「これからの農業の発展に向けて期待すること」や、「様々な工夫や努力をしている生産者の方へ」などの視点を設けて、自分の言葉でまとめさせる。

資料　一人あたり１年間に食べる米の量（日本）



（「食料自給表」平成30年度版などから作成）

写真

生産者の顔や産地がわかるパッケージ

合鴨農法など、農薬にたよらない米作り

令和元年度秋田県学習状況調査　小学校第６学年　社会　評価規準と評価の観点

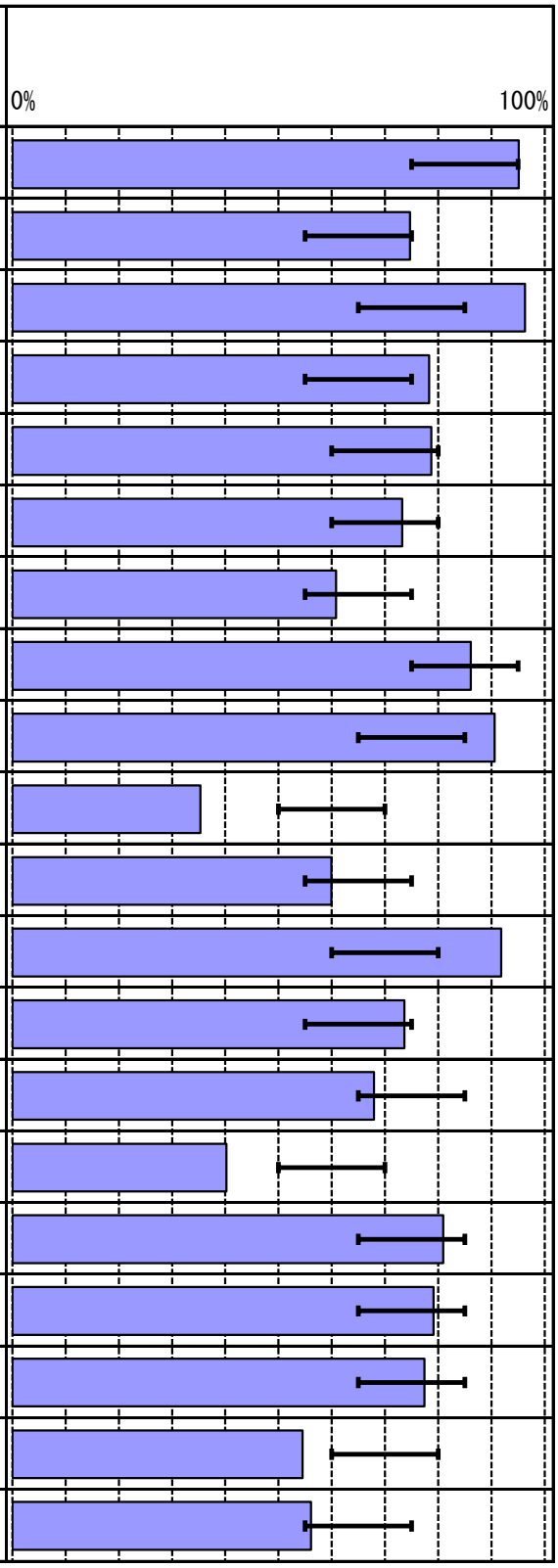
学年	内容	評価規準	通し番号	観点		
				思考判断表現	技能	知識理解
第５学年（第３・４学年の内容を含む）	(6)※	・地図帳を活用して，都道府県についての情報を集め，適切に読み取っている。	(1		○	
	(6)※	・地図帳から必要な情報を集め，適切に読み取っている。	(2		○	
	(1)ア	・主な国の国旗について理解している。	(3			○
	(1)ア	・我が国の領土について理解している。	(4			○
	(3)ウ	・我が国の工業の課題について，資料から読み取ったことを適切に表現している。	(5	○		
	(1)エ	・我が国の森林資源の量の変化について，資料から適切に読み取っている。	(6		○	
	(1)エ	・森林資源の役割について，適切に判断し，表現している。	(7	○		
	(4)ア	・放送や新聞などのメディアの特徴について，適切に判断し，表現している。	(8	○		
	(4)ア	・放送や新聞などの産業と国民生活との関わりについて，複数の資料から適切に読み取っている。	(9		○	
	(4)ア	・情報を有効に活用することについて，資料と関連付けて適切に表現している。	(10	○		
第６学年	(1)イ	・聖武天皇の業績について，年表や地図から適切に読み取っている。	(11		○	
	(1)イ	・奈良時代に活躍した人物について，その主な業績と結び付けて理解している。	(12			○
	(1)イ	・仏教の力を借りた国づくりについて，資料から読み取ったことを関連付けて，適切に表現している。	(13	○		
	(1)ウ	・鎌倉時代，室町時代に活躍した人物について，その主な業績と結び付けて理解している。	(14			○
	(1)ウ	・源頼朝の業績について，資料から読み取ったことを関連付けて，適切に表現している。	(15	○		
	(1)オ	・歴史上の人物が活躍した時代について，おおよその流れを理解している。	(16			○
	(1)オ	・徳川家康の業績について理解している。	(17			○
	(1)オ	・参勤交代について資料を読み取り，考えたことを適切に表現している。	(18	○		
	(1)イエ	・各時代の文化の特色について，資料から適切に読み取っている。	(19		○	
	(1)カ	・江戸時代の町人文化について，資料から適切に読み取っている。	(20		○	

※は〔第３学年及び第４学年〕の範囲である。

小学校　６年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　72.5%

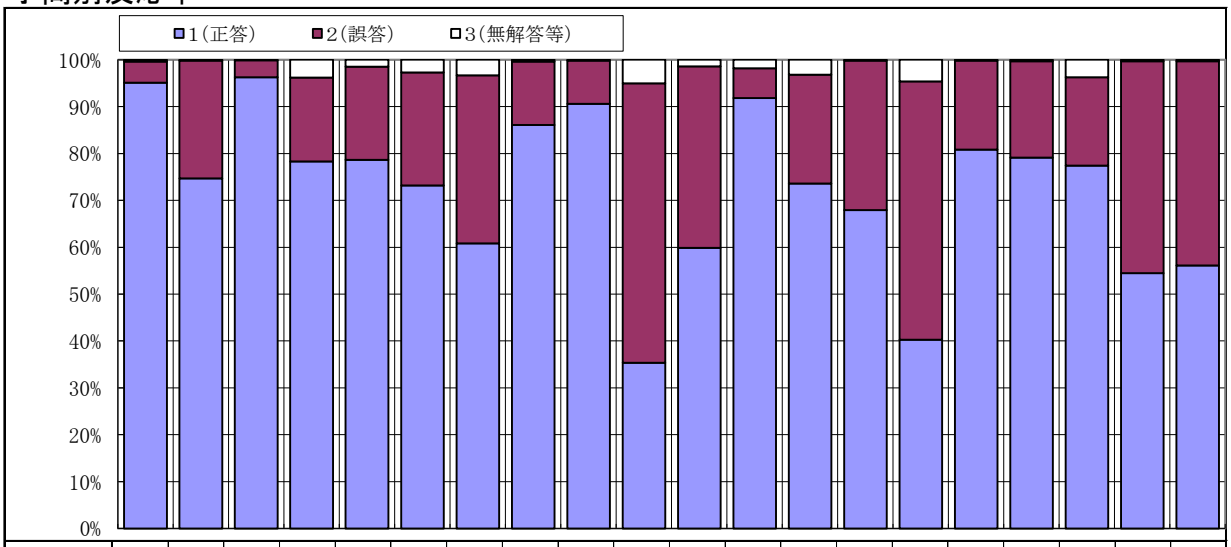
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	地図帳の活用	95.1	85.0
（2	地図帳の総合的な活用	74.7	65.0
（3	我が国の周辺にある国の国旗	96.3	75.0
（4	我が国の領土	78.3	65.0
（5	我が国の工業の課題	78.7	70.0
（6	我が国の森林資源の量の変化	73.2	70.0
（7	森林資源の役割	60.8	65.0
（8	メディアの特徴	86.1	85.0
（9	情報産業と国民生活とのかかわり	90.6	75.0
（１０	情報活用の傾向	35.3	60.0
（１１	聖武天皇の業績	59.9	65.0
（１２	奈良時代に活躍した人物の業績	91.8	70.0
（１３	大仏造営のねらい	73.6	65.0
（１４	鎌倉時代、室町時代に活躍した人物	67.9	75.0
（１５	源頼朝の業績	40.2	60.0
（１６	天下が統一された頃に活躍した人物	80.9	75.0
（１７	徳川家康の業績	79.1	75.0
（１８	参勤交代の影響	77.4	75.0
（１９	各時代の文化の特色	54.5	70.0
（２０	江戸時代の町人文化	56.1	65.0



※⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	95.1	74.7	96.3	78.3	78.7	73.2	60.8	86.1	90.6	35.3	59.9	91.8	73.6	67.9	40.2	80.9	79.1	77.4	54.5	56.1
2 (誤答)	4.5	25.1	3.6	17.9	19.9	24.1	35.9	13.5	9.2	59.6	38.7	6.4	23.2	31.9	55.1	19.0	20.6	18.9	45.2	43.6
3 (無解答等)	0.4	0.2	0.1	3.8	1.5	2.7	3.3	0.4	0.2	5.0	1.4	1.8	3.2	0.2	4.6	0.2	0.3	3.7	0.3	0.3

小問別通過率度数分布表（197校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	73	10	93	24	24	10	8	25	33	3	11	66	10	10	2	24	11	21	2	4	
90%～100%	103	16	94	32	38	5	8	50	90	1	4	77	32	10	2	36	22	38		2	7
80%～90%	19	51	9	58	53	48	29	87	58	7	18	40	51	36	5	74	73	52	10	22	34
70%～80%	2	64		42	42	72	29	27	14	6	29	5	37	50	10	34	58	41	21	21	103
60%～70%		38		24	22	33	49	6	1	10	53	5	38	48	20	20	21	22	37	39	43
50%～60%		12	1	9	11	19	28	1	1	19	45		19	20	35	4	10	12	59	41	8
40%～50%		3		3	5	8	27			27	26	1	5	16	32	3	1	2	39	37	
30%～40%		1		1		1	14			39	10	2	3	4	42			5	20	21	2
20%～30%		2			1		4			43	1			1	37	1		4	6	9	
10%～20%				1						33				1	11				2	1	
0%～10%				3	1	1	1	1		9		1	2	1	1	1	1		1		

小学校６年　社会　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			内容別			計
	思考･判断･表現	技能	知識・理解	共通問題	地理的内容	歴史的内容	
＋10％ より高い	0	2	3	3	1	1	5
±10％ の範囲内	5	4	3	1	4	7	１２
－10％ より低い	2	1	0	0	1	2	3
計	7	7	6	4	6	１０	２０

2　考察

(1) 全体について

全体の通過率は72.5であり、昨年度を3.4ポイント上回った。20問中17問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①地図帳を活用して、地名や地形、経度等の必要な情報を得たり、メディアに関する基礎的な資料から読み取れることを適切に選択したりすることについて、指導の成果が見られる。

②聖武天皇の政治を支えた歴史上の人物と主な業績について、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①複数の資料から読み取れることを関連付けて、どのようなことが分かるかを、適切に記述することに課題が見られる。

②我が国の文化における時代ごとの大まかな特色について、具体的な生活の様子や建造物、作品、作者等の情報と共に理解することに課題が見られる。

3　今後の指導

協働的な追究を通して得た情報を、効果的にまとめる活動の充実を図る。

○ポイント［通し番号（19 を例として］

協働的に課題を解決するプロセスを大切にし、学習のまとめの場面では、各時代の文化の特色を比較したり、人物が果たした役割などの情報を整理して視覚化を図ったりするなど、目的を明確にした、効果的なまとめ方をさせる。

○具体例

◇学習問題の例

江戸時代には、どのような新しい文化や学問が生まれたのだろう。

◇学習活動の例

① 歌舞伎や浮世絵を楽しむ人々の様子から、それらが町人の間に広がったことを読み取る。

② 室町時代の文化と比較した、江戸の文化の特色を話し合う。

③ 本居宣長、杉田玄白、伊能忠敬の業績などを個人やグループで調べ、それらを伝え合う。

これらの学習活動を関連付けたり総合したりして、この頃に栄えた町人の文化や新しい学問について、大きな歴史の流れの中で捉え、文章で記述したり、図表などにまとめたことを基に説明したりする。

時期	平城京に都があったころ	平安京に都があったころ	京都の室町に幕府があったころ	江戸に幕府があったころ	江戸に幕府があったころ
特色	**中国から学んだ仏教中心の文化** 朝廷は進んだ大陸の文化を取り入れるために，使者や留学生，僧を中国に送りました。このころもたらされた宝物が，東大寺正倉院におさめられています。…	**風土や生活に合った日本風の文化** かな文字が生まれ，朝廷に仕える女性たちが多くの作品を作りました。紫式部の源氏物語や清少納言の枕草子などは，今でも多くの人に読まれています。…	**今の生活文化につながる文化** 書院造の床の間をかざる生け花や，中国から伝わった茶の湯がさかんになりました。これらはのちに一般の民衆の間でも広まっていきました。…		**活気あふれる町人中心の文化** 大都市では人々が歌舞伎や人形芝居を楽しむようになりました。また歌川広重のえがいた東海道五十三次など，浮世絵が大量につくられるようになりました。…

令和元年度秋田県学習状況調査　中学校第１学年　社会　評価規準と評価の観点

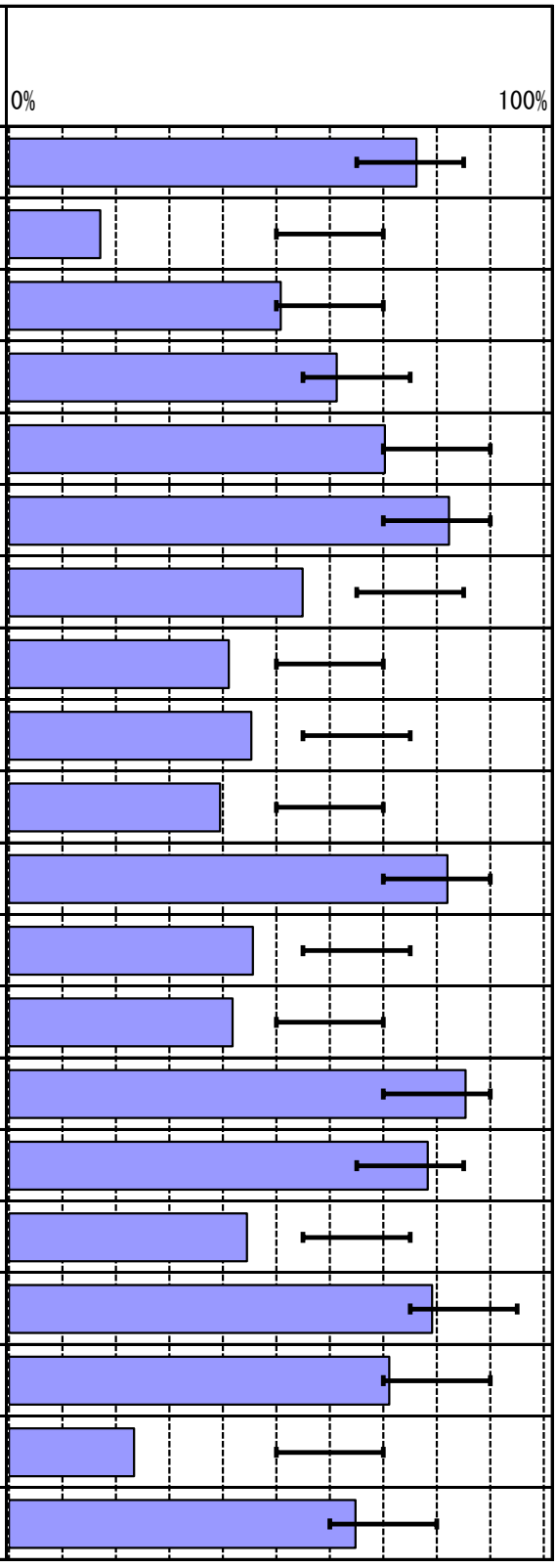
学年・分野	内容	評価規準	通し番号	観点		
				思考判断表現	技能	知識理解
小学校第６学年	(1)ク	・我が国の国力の充実や国際的地位の向上について資料を基に考察し，適切に表現している。	(1	○		
	(1)ク	・我が国の国力の充実や国際的地位の向上に貢献した先人の働きを理解し，その知識を身に付けている。	(2			○
	(1)ケ※	・原子爆弾が投下された都市や都道府県を理解している。	(3			○
	(1)ケ	・高速道路の開通など，国民生活向上の意味について適切に表現している。	(4	○		
	(2)ア	・国民生活には，地方公共団体や国の政治の働きが反映していることについて，資料から的確に読み取っている。	(5		○	
	(2)イ	・日本国憲法の基本原則について，適切に表現している。	(6	○		
	(2)イ	・三権分立や選挙の意味について考察し，適切に表現している。	(7	○		
	(3)イ	・我が国の国際協力の現状について，資料から的確に読み取っている。	(8		○	
中学校地理的分野	(1)ア	・地球儀から有用な情報を選択して，経度を的確に読み取っている。	(9		○	
	(1)ア	・地球儀から有用な情報を選択して，オーストラリア大陸の位置を的確に読み取っている。	(10		○	
	(1)イ	・熱帯に暮らす人々の生活の工夫について，自然条件と関連付けて考察し，適切に表現している。	(11	○		
	(1)ウ	・アジア諸国の特色について,統計資料を的確に読み取り，必要な情報を収集している。	(12		○	
	(1)ウ	・アジア諸国の経済協力組織について理解している。	(13			○
	(1)ウ	・アジア諸国の貿易の変化について，統計資料を的確に読み取り，必要な情報を収集している。	(14		○	
中学校歴史的分野	(2)ア	・世界の古代文明の特色について理解し，その知識を身に付けている。	(15			○
	(2)ア	・世界の古代文明がおこった背景を，地図を基に考察し，その理由を適切に表現している。	(16	○		
	(1)ウ	・歴史の大きな流れと各時代の特色を理解し，その知識を身に付けている。	(17			○
	(2)ア	・各時代の特色を比較することにより，歴史の大きな流れを考察し，その結果を表している。	(18	○		
	(2)イ	・古代の政治の特色について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(19	○		
	(2)イ※	・政治の中心地について理解し，その知識を身に付けている。	(20			○

※は〔第３，４学年〕２内容（６）アの４７都道府県の名称と位置に関する内容も含まれる。

中学校　１年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　57.7%

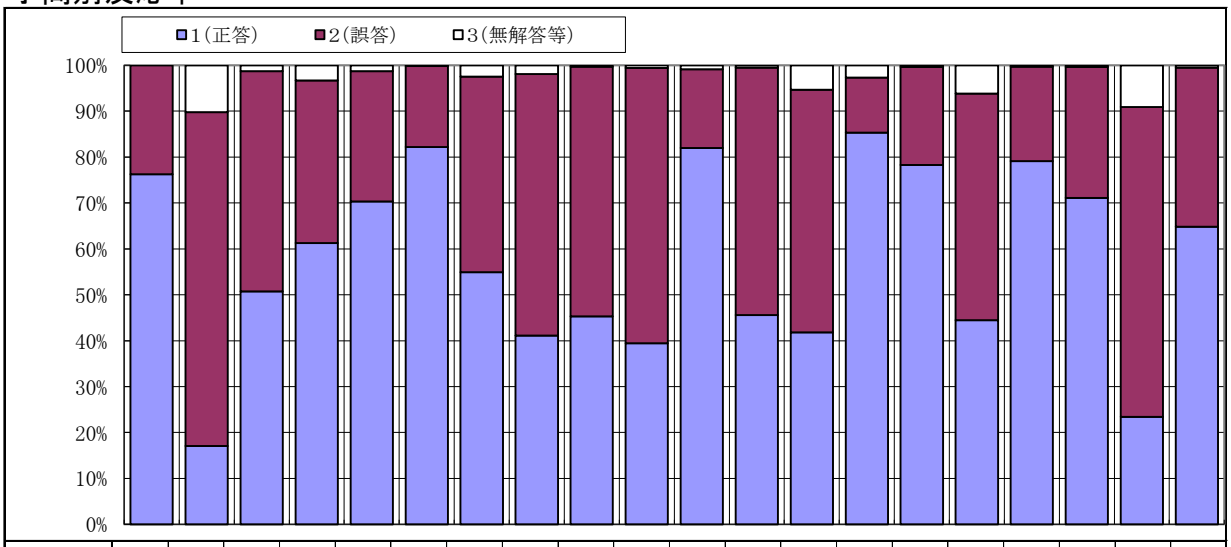
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	明治後期の国際情勢	76.2	75.0
（2	条約改正と国際的地位の向上に貢献した人物	17.1	60.0
（3	原子爆弾が投下された都市と都道府県	50.8	60.0
（4	第二次世界大戦後の国民生活の向上	61.3	65.0
（5	地方公共団体と政治の動き	70.3	80.0
（6	日本国憲法の基本原則	82.3	80.0
（7	三権分立の仕組み	54.9	75.0
（8	我が国の国際協力に関する資料の読み取り	41.1	60.0
（9	経度の表し方	45.3	65.0
（１０	地球上のオーストラリア大陸の位置	39.5	60.0
（１１	熱帯に暮らす人々の生活の工夫	82.0	80.0
（１２	アジア諸国の特色	45.6	65.0
（１３	東南アジア諸国の経済協力	41.8	60.0
（１４	アジア諸国の貿易品の変化	85.4	80.0
（１５	古代文明の特色	78.3	75.0
（１６	古代文明のおこり	44.5	65.0
（１７	歴史の大きな流れと各時代の遺物	79.1	85.0
（１８	歴史の大きな流れと各時代の様子	71.1	80.0
（１９	古代の政治の特色	23.4	60.0
（２０	古代の政治の中心地	64.8	70.0



※ ⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	76.2	17.1	50.8	61.3	70.3	82.3	54.9	41.1	45.3	39.5	82.0	45.6	41.8	85.4	78.3	44.5	79.1	71.1	23.4	64.8
2 (誤答)	23.7	72.7	48.0	35.4	28.4	17.6	42.6	57.0	54.4	60.0	17.1	53.9	52.9	12.0	21.3	49.3	20.6	28.5	67.5	34.7
3 (無解答等)	0.0	10.2	1.3	3.3	1.3	0.2	2.5	1.9	0.3	0.6	0.9	0.5	5.3	2.7	0.4	6.2	0.3	0.4	9.1	0.5

小問別通過率度数分布表（116校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	3	1			1	4		1			12	1		8	7	1	12	5		4	
90%～100%	5		1	1	2	21	1				24			33	13	1	18	8		2	
80%～90%	41		9	20	13	43	6	5			46	2	4	52	37	3	38	21		19	
70%～80%	37		7	19	44	37	11	7	5	2	19	1	2	15	39	7	29	32		21	5
60%～70%	22		19	20	35	7	15	7	8	2	8	6	3	4	14	13	10	32	2	30	36
50%～60%	5	4	27	20	17	2	48	16	30	15	2	26	25	1	4	20	7	14	1	27	60
40%～50%	2	5	26	18	2		20	17	30	38	2	52	30	1		26		2	8	12	13
30%～40%		8	17	12		1	11	19	34	39	1	20	27	1	1	22	1	1	17		1
20%～30%		22	6	2			1	19	5	15		6	13			13			32		
10%～20%		29	2	2	1			19	2	2		1	7			4			33		
0%～10%	1	47	2	2	1	1	3	6	2	3	2	1	5	1	1	6	1	1	23	1	1

中学校１年　社会　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			内容別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	小学校	地理的分野	歴史的分野	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	5	2	4	5	2	4	１１
－10％ より低い	3	4	2	3	4	2	9
計	8	6	6	8	6	6	２０

2　考察

(1) 全体について

全体の通過率は57.7であり、昨年度を2.7ポイント下回った。20問中９問が設定通過率の「－10％より低い」結果であり、学習内容の定着状況に課題が見られる。

(2) 成果

①熱帯に暮らす人々の生活の学習において、自然条件と関連付けてその特色を考察し、適切に表現することについて、指導の改善が図られている。

②世界の古代文明では、中国の文明等の特色を取り扱い、類似性などの観点を定めて生産技術の発達や文字の使用など、共通する特色に気付かせることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①地図帳や地球儀、グラフや写真などの資料から、社会的事象についての有用な情報を選択して読み取り、自分の考えを再構成することに課題が見られる。

②古代の政治の特色について、基礎的・基本的な知識を活用し、歴史の流れを踏まえて考察し表現することに課題が見られる。

3　今後の指導

地図帳や地球儀、統計や年表などの資料から、社会的事象についての有用な情報を選択して読み取り、比較・関連付け・総合しながらまとめる活動の充実を図る。

○ポイント［通し番号(9（10を例として］

地球儀と模式図を用いて、世界の主な国が、日本とどのような位置関係にあるかを考察する活動を通して、地球上の位置関係や形状などを正しく捉えさせる。

○具体例

①**模式図１**に表されている大陸名を全て答えさせ、表されていない大陸の略地図をかかせる。

②**模式図１**の**Ｘ地点**と**Ｙ地点**を例として２つの地点の時差に着目させ、等時帯や日付変更線を示す地図と地球儀を見比べて時差の意味を理解したり、時差を調べたりする活動を取り入れる。

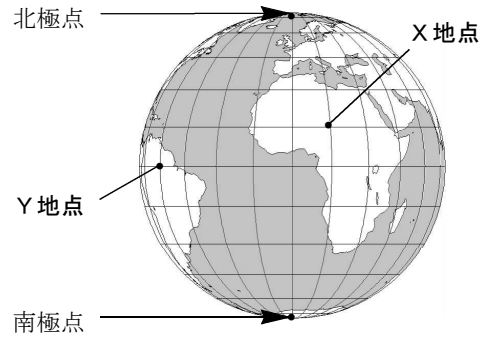
③**模式図２**に示した**０度の経線**を、**模式図１**に表現させる。

④日本が位置する範囲や日本の対蹠(せき)点が含まれる範囲を地図帳で調べさせた後、**模式図２**の**ア～エ**から一つ選ばせるなどの活動を通して、緯度や経度の仕組みや性質について考察させる。

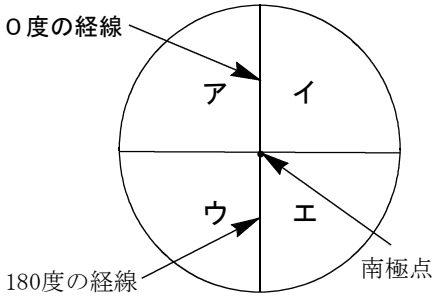
⑤大陸と海洋の分布を地球儀と世界地図上で比較することで、形状や大きさの違いを考察させる。

⑥地球儀の日本の位置に、十字に貼ったテープをあて、東西方向へ進むとどこの国に到達するかを調べさせるなどの活動を通して、世界の主な国と日本の位置関係を捉えさせる。

模式図１　経線と緯線をそれぞれ15度ごとに示した地球儀



模式図２　**模式図１**を南極点の真上から見たもの



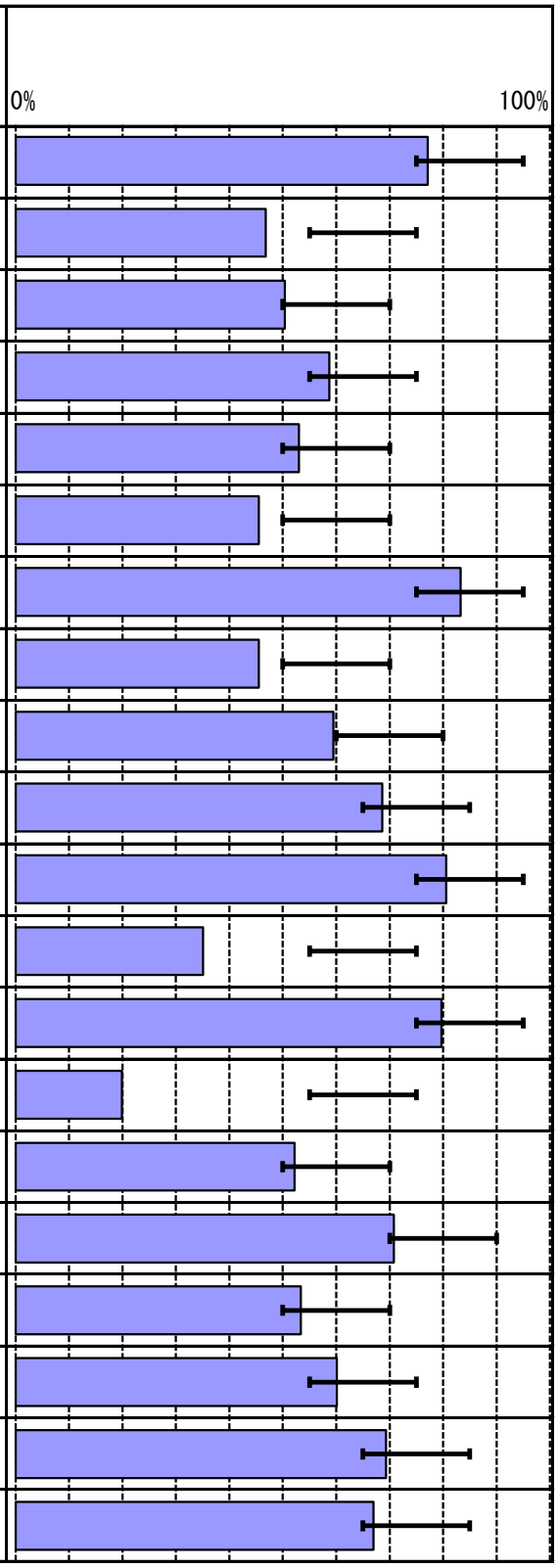
令和元年度秋田県学習状況調査　中学校第２学年　社会　評価規準と評価の観点

分野	内容	評価規準	通し番号	観点		
				思考判断表現	技能	知識理解
地理的分野	(1)ア	・本初子午線の意味を理解し，その知識を身に付けている。	(1			○
	(1)ア	・地球儀から有用な情報を選択して，オーストラリア大陸の位置を的確に読み取っている。	(2		○	
	(1)ア	・地球儀上での緯度や経度，正反対の地点を，的確に読み取っている。	(3		○	
	(1)イ	・資料から，気候や宗教などの特色を的確に読み取っている。	(4		○	
	(1)ウ	・世界の各州の人口の特色を理解し，その知識を身に付けている。	(5			○
	(1)ウ	・世界の各州の地域的特色を，諸条件と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。	(6			○
	(1)ウ	・オーストラリアの移民の資料や年表から的確に情報を読み取っている。	(7		○	
	(1)ウ	・オーストラリアとアジア州の結び付きについて，資料を基に考察し，適切に表現している。	(8	○		
	(2)ア	・都道府県の名称と県庁所在地名を理解し，その知識を身に付けている。	(9			○
	(2)ア	・日本の領域の特色について，複数の資料を関連付けて考察し，適切に表現している。	(10	○		
	(2)イ	・日本の工業の特色を,複数の資料を関連付けて考察し,適切に表現している。	(11	○		
	(2)イ	・日本の農業の特色を,複数の資料を関連付けて考察し,適切に表現している。	(12	○		
歴史的分野	(2)イ	・古代の政治に関する資料を，的確に読み取っている。	(13		○	
	(2)イ	・古代の政治の特色について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(14	○		
	(3)ア	・鎌倉幕府の支配が全国に広まる過程を，資料から読み取れることを関連付けて考察し,適切に表現している。	(15	○		
	(3)ア	・元寇が与えた影響について，資料から読み取れることを関連付けて考察し，適切に表現している。	(16	○		
	(3)イ	・中世の文化を示す資料を，適切に選択している。	(17		○	
	(4)イ	・江戸幕府による大名を統制する法律について理解し，その知識を身に付けている。	(18			○
	(4)イ	・キリスト教徒の増加と鎖国政策との関連について理解し，その知識を身に付けている。	(19			○
	(4)ウ	・江戸時代の教育の普及と文化の広がりに関する資料から，有用な情報を的確に読み取っている。	(20		○	

中学校　２年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　58.8%

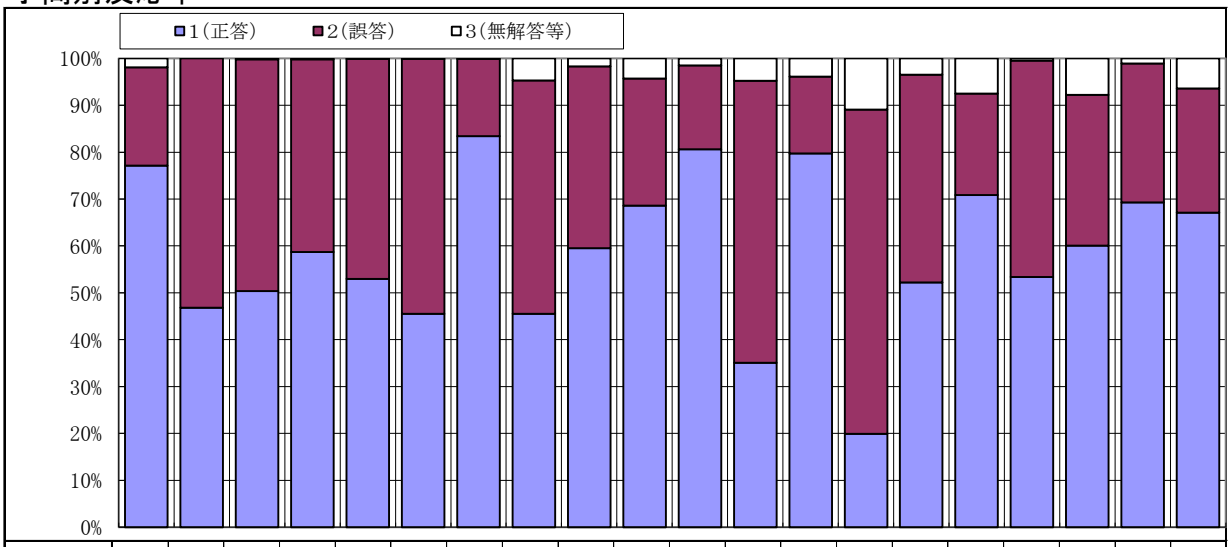
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	本初子午線の位置	77.1	85.0
（2	地球上のオーストラリア大陸の位置	46.8	65.0
（3	地球上の正反対の地点	50.4	60.0
（4	世界の人々の生活	58.7	65.0
（5	各州の人口の特色	53.0	60.0
（6	各州の小麦の生産量と原油の消費量	45.5	60.0
（7	オセアニア州の移民の出身州別割合の変化	83.3	85.0
（8	オセアニア州とアジア州の結び付き	45.5	60.0
（9	日本の地方区分，県庁所在地	59.5	70.0
（１０	我が国の領域の特色	68.6	75.0
（１１	我が国の工業の特色	80.6	85.0
（１２	我が国の農業の特色	35.1	65.0
（１３	古代の政治の様子	79.7	85.0
（１４	古代の政治の特色	19.9	65.0
（１５	鎌倉幕府の支配の様子	52.2	60.0
（１６	元寇が与えた影響	70.8	80.0
（１７	中世の文化の特色	53.4	60.0
（１８	江戸幕府による大名の統制	60.1	65.0
（１９	キリスト教徒の増加と鎖国政策との関連	69.3	75.0
（２０	江戸時代の教育の普及と文化の広がり	67.0	75.0



※ ⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	77.1	46.8	50.4	58.7	53.0	45.5	83.3	45.5	59.5	68.6	80.6	35.1	79.7	19.9	52.2	70.8	53.4	60.1	69.3	67.0
2 (誤答)	21.0	53.2	49.4	41.1	46.9	54.4	16.5	49.7	38.8	27.1	17.9	60.1	16.4	69.1	44.3	21.6	46.1	32.1	29.6	26.5
3 (無解答等)	1.9	0.0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	4.7	1.7	4.3	1.5	4.8	3.9	10.9	3.5	7.5	0.5	7.8	1.1	6.4

小問別通過率度数分布表（116校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	7	2	2	2		3	7	1	2	6	12	1	8		2	6	3	3	2	5	
90%～100%	18			1	2		23	2	4	10	24	1	12		2	7	1	1	12	12	
80%～90%	42			6	2	1	55	3	12	19	38	2	45		9	19	2	7	21	27	1
70%～80%	30	4	11	12	10	2	24	12	19	32	21	5	36	1	16	40	5	19	26	21	12
60%～70%	6	10	13	34	15	10	4	13	22	24	14	16	9		17	26	22	25	24	15	47
50%～60%	9	29	37	43	36	29	1	12	32	8	2	11	4	2	27	13	40	34	19	17	42
40%～50%	3	52	32	12	34	35	1	25	11	9	4	12		6	17	3	30	15	7	7	11
30%～40%		17	18	3	12	23		20	11	4		16		14	9	1	9	7	2	10	2
20%～30%		1	2		2	10		21		2		10		28	10		2	4	1		1
10%～20%					1	1		3	1			26		39	4					1	
0%～10%	1	1	1	3	2	2	1	4	2	2	1	16	2	26	3	1	2	1	2	1	

中学校２年　社会　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			内容別		計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	地理的分野	歴史的分野	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	4	6	4	7	7	１４
－10％ より低い	3	1	2	5	1	6
計	7	7	6	１２	8	２０

2　考察

(1) 全体について

全体の通過率は58.8であり、昨年度を1.1ポイント上回った。20問中６問が設定通過率の「－10％より低い」結果であり、特に地理的分野の学習内容の定着状況に課題が見られる。

(2) 成果

①我が国の領域や工業の特色について、地図や統計等の資料を関連付けて考察した結果を適切に表現することに関して、指導の改善が図られている。

②年表や図版などの資料を活用しながら、元寇や鎖国政策など、時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な内容の定着が図られている。

(3) 課題

①オセアニア州とアジア州との結び付きや日本の農業の特色などについて、地理的な見方・考え方を働かせて資料を読み取り、地理的事象の背景や自然環境などを多面的・多角的に考察し、表現することに課題が見られる。

②歴史的分野の学習において、文献や絵図、地図、統計などの諸資料を活用して、情報を読み取ってまとめたり、様々な角度から捉えたりする活動の充実を図る必要がある。

3　今後の指導

歴史に関わる事象について、年表や図版、地図などの資料を活用した読み取りやまとめを行うとともに、社会の変化等を多面的・多角的に考察し表現する活動の充実を図る。

○ポイント［通し番号(15を例として］

武家政治の成立の背景と推移について、歴史地図や鎌倉幕府の仕組みを示した図などを活用し、社会的な見方・考え方を働かせて必要な情報を読み取らせたり、多面的・多角的に考察させたりして、鎌倉幕府の支配が広がる過程を理解させる。

○具体例

①年表を活用して、鎌倉幕府が平氏の政権より長く続いたことに気付かせ、学習課題を設定する。

鎌倉幕府はなぜ148年も続いたのだろうか。

②資料１を基に、守護・地頭の設置や「御恩と奉公」の関係などについて調べさせる。

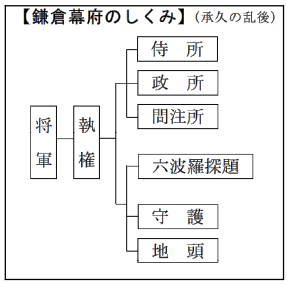
③資料１と資料２を基に、承久の乱が鎌倉幕府に与えた影響について情報を読み取らせる。その際、社会的な見方・考え方を働かせられるよう、発問を工夫する。

例・承久の乱が起きた頃、鎌倉幕府の支配はどこまで広がっていたか。
・承久の乱後に守護が交代したり、新たに地頭が置かれたりした場所はどんなところか。
・鎌倉幕府の支配は、承久の乱によりどう変化したか。
・乱を起こした朝廷側に対して、どんな対応をしたか。

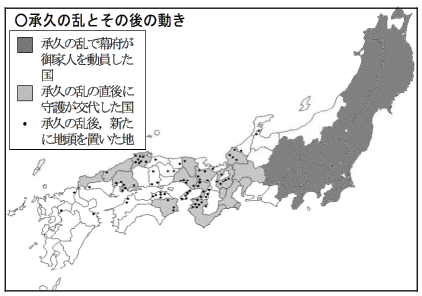
④読み取ったことを基に、本時のまとめをする。

鎌倉幕府は、御恩と奉公の関係で御家人と将軍の結び付きを強め、承久の乱をきっかけに西国まで支配を広げることができたから。

資料１



資料２



4　結果と考察　(3)算数・数学

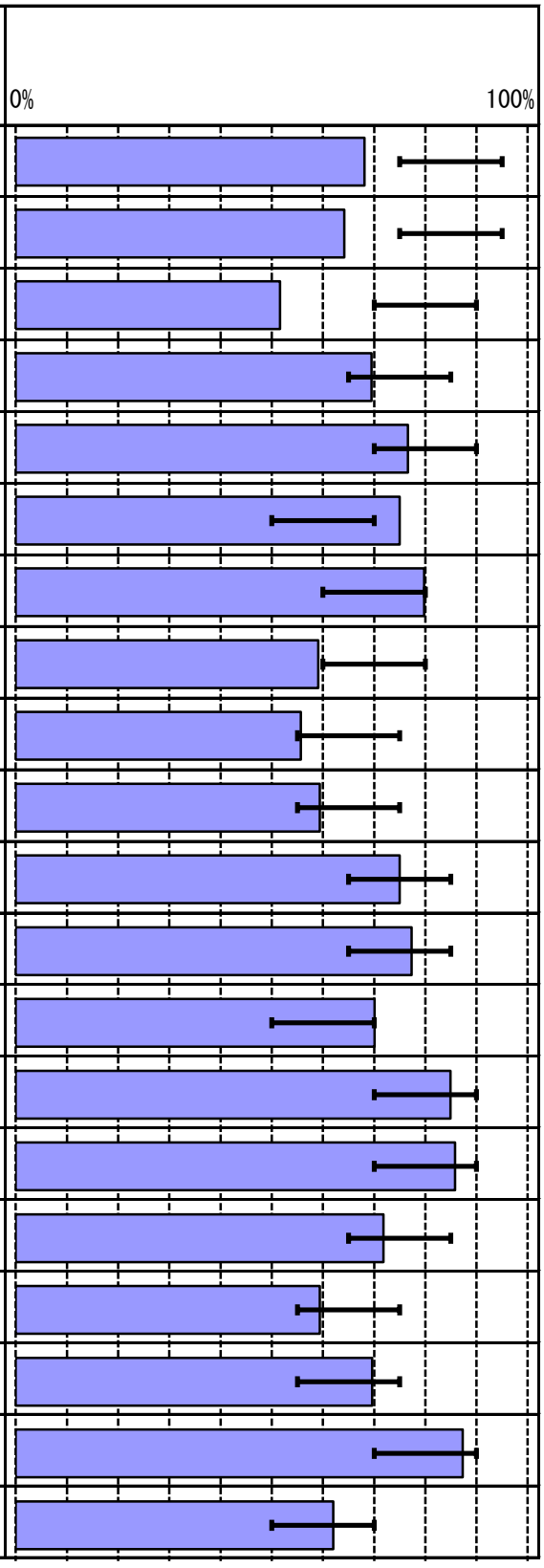
令和元年度秋田県学習状況調査　小学校第４学年　算数　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点		
					考え方	技能	知識・理解
第３学年	A数と計算	(3)アイウ 乗法	・乗法に関して成り立つ性質を基にして，計算の仕方を考えることができる。	(16	○		
		(5)アイ 小数の意味や表し方	・１／１０の位までの小数の減法で，(整数)－(小数)の場合の計算ができる。	(2		○	
			・小数の構成について理解している。	(14			○
		(6)アイ 分数の意味や表し方	・分数の意味や分数の表し方を理解している。	(10			○
	B量と測定	(1)アイ 長さ，重さの単位と測定	・長さや重さ，かさの単位について理解している。	(9			○
			・測定する対象の重さに応じて，適切な単位で表すことができる。	(5		○	
	C図形	(1)アウ 二等辺三角形，正三角形などの図形	・二等辺三角形の意味や性質を基にして考え，説明することができる。	(6	○		
			・箱の横の長さと，並べた球の関係から箱の縦の長さを求めることができる。	(11		○	
	D数量関係	(2)イ 数量の関係を表す式	・未知の数量を用いて数量の関係を式で表せることや，当てはまる数の求め方を理解している。	(12			○
		(3)ア 表と棒グラフ	・示された情報とグラフを関連付けて考え，判断することができる。	(13	○		
第４学年	A数と計算	(1)ア 整数の表し方	・十進位取り記数法の意味を理解している。	(4			○
			・億や兆などの数の大小を比べることができる。	(19		○	
		(2)アイウ 概数と四捨五入	・目的に応じて，和を見積もる方法を考え，判断することができる。	(15	○		
			・「以上」「未満」を用いて表す数の範囲を理解している。	(7			○
		(3)アイウエ 整数の除法	・３位数を１位数で割る計算について，正しく筆算をすることができる。	(1		○	
			・除法に関して成り立つ性質を用いて，計算の工夫を考えることができる。	(18	○		
			・数量の関係を捉え，基準量を求めるために除法を用いることができる。	(3		○	
			・問題場面に合わせて除法の余りを処理することができる。	(17		○	
	D数量関係	(4)アイ 資料の分類整理	・資料を二つの観点で分類整理した表から，必要な情報を読み取ることができる。	(8		○	
			・二つの折れ線グラフから読み取った情報について，説明することができる。	(20	○		

小学校　４年　算数　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　70.1%

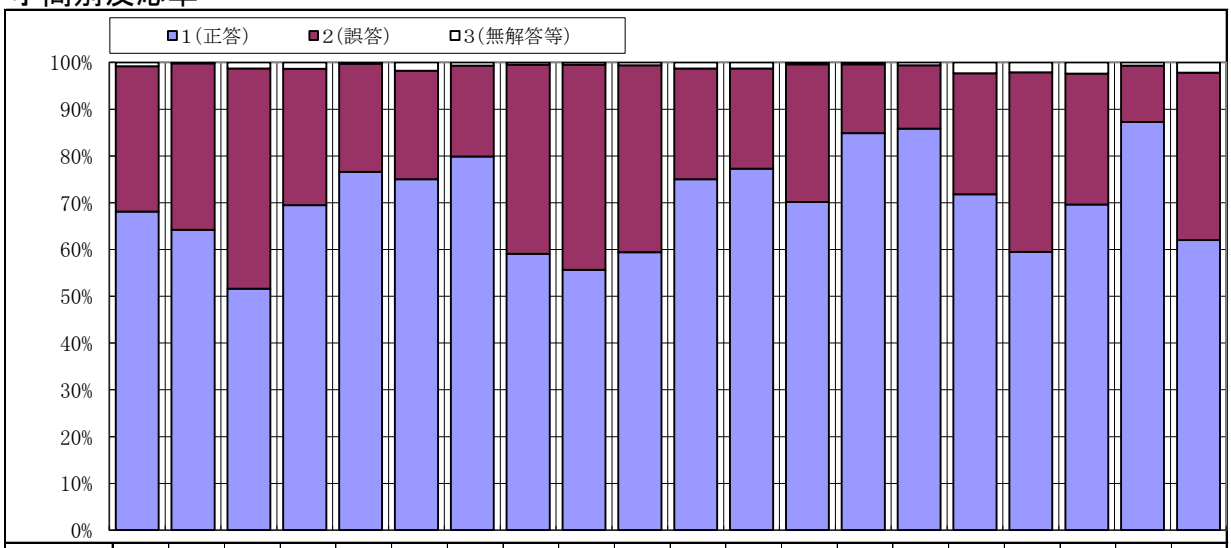
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（３位数）÷（１位数）の計算	68.1	85.0
（2	小数の減法	64.2	85.0
（3	基準量に当たる大きさの計算	51.6	80.0
（4	十進位取り記数法の意味理解	69.5	75.0
（5	重さの単位	76.6	80.0
（6	二等辺三角形の性質	75.0	60.0
（7	四捨五入する数の範囲	79.8	70.0
（8	二次元表の読み取り	59.1	70.0
（9	量の単位換算	55.7	65.0
（１０	分数の意味理解と表現	59.4	65.0
（１１	球の性質	75.0	75.0
（１２	△を用いた式	77.3	75.0
（１３	目的に応じたグラフの読み取り	70.1	60.0
（１４	小数の構成	84.9	80.0
（１５	目的に応じた概数での見積もり	85.8	80.0
（１６	乗数の性質	71.8	75.0
（１７	除法の余りの処理	59.4	65.0
（１８	除法の性質	69.6	65.0
（１９	億や兆などの数の大小	87.3	80.0
（２０	二つのグラフの読み取り	62.0	60.0



※⊢⊣は設定通過率±10%を示している。

小学校　４年　算数

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	68.1	64.2	51.6	69.5	76.6	75.0	79.8	59.1	55.7	59.4	75.0	77.3	70.1	84.9	85.8	71.8	59.4	69.6	87.3	62.0
2 (誤答)	31.1	35.6	47.1	29.1	23.1	23.2	19.4	40.4	43.9	40.0	23.7	21.4	29.4	14.7	13.6	25.9	38.4	28.0	12.0	35.8
3 (無解答等)	0.8	0.2	1.3	1.4	0.3	1.8	0.7	0.5	0.5	0.6	1.3	1.3	0.4	0.4	0.6	2.3	2.1	2.4	0.7	2.2

小問別通過率度数分布表（196校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	12	9	1	16	14	18	29	6	2	10	8	18	13	21	25	10	2	11	28	6	
90%～100%	10	9	2	13	14	21	35	3		13	10	16	3	41	39	8	3	14	52	8	6
80%～90%	33	20	13	40	61	50	58	9	10	29	59	65	27	92	93	34	14	28	89	23	27
70%～80%	46	45	16	35	61	56	31	32	20	26	65	60	60	26	28	68	23	50	22	28	77
60%～70%	41	41	34	31	33	25	23	35	38	36	42	24	56	13	5	48	49	53	4	47	66
50%～60%	31	38	50	31	10	18	12	54	77	33	9	8	25	2	4	24	66	28	1	51	16
40%～50%	15	22	35	14	1	6	1	40	27	20	2	1	7			3	24	6		22	4
30%～40%	4	10	24	11	2	1	4	13	17	16		1	3	1	1		11	3		5	
20%～30%	2		15	3				2	3	4			2				1	2		2	
10%～20%		1	1							5		1					1			1	
0%～10%	2	1	5	2		1	3	2	2	4	1	2			1	1	2	1		3	

小学校４年　算数　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			領域別				計
	考え方	技能	知識･理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
＋10％ より高い	2	0	0	0	0	1	1	2
±10％ の範囲内	4	4	6	9	2	1	2	１４
－10％ より低い	0	4	0	3	0	0	1	4
計	6	8	6	１２	2	2	4	２０

2　考察

(1) 全体について

①20問中16問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②観点別に見ると「考え方」「知識・理解」は良好であるが、「技能」に課題が見られる。

(2) 成果

①示された情報とグラフを関連付けて考え、判断することについて、改善が図られている。

②除法に関して成り立つ性質を用いて、計算の工夫を考えることについて、改善が図られている。

(3) 課題

①数量の関係を捉え、基準量を求めるために除法を用いることについて課題が見られる。

②資料を二つの観点で分類整理した表から、必要な情報を読み取ることについて課題が見られる。

3　今後の指導

数直線などを用いて問題場面を表現し、数量の関係を整理して捉える学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(3 ］

だいすけさんの家から駅までの道のりは７２０ｍで，だいすけさんの家から公園までの道のりの６倍です。だいすけさんの家から公園までの道のりは何ｍですか。答えを □ の中に書きましょう。

□ ｍ

・問題場面から基準量、比較量、倍を求める際には、数量の関係を数直線などを基に捉えられるようにする。数量の関係を視覚的に捉えさせることは、整数だけでなく、小数や分数で考える場面でも有効であり、児童の実態に応じて繰り返し指導することが大切である。
・数直線などを基に、「720 ÷ ６ ＝□」という除法を用いた式だけではなく、「□× ６ ＝ 720 」という乗法を用いた式に表す活動を取り入れることも有効である。

目的に応じて集めたデータを二つの観点から分類整理し、データの特徴や傾向を捉えて考察する学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(8 ］

あいかさんの学級で，運動会のポスターに色をぬるときに絵の具や色えんぴつを使うかどうかについて調べました。次の表は，その結果をまとめたものです。

絵の具や色えんぴつの使用　（人）

		色えんぴつ		合計
		使う	使わない	
絵の具	使う	１１	１３	２４
	使わない	4	3	7
合計		１５	１６	３１

あいかさんの学級で，運動会のポスターに色をぬるときに色えんぴつを使わない人は何人ですか。答えを □ の中に書きましょう。

・児童にとって身近な興味や気付きなどから、目的をもってデータを収集できるような問題場面を設定し、二つの観点から表にまとめることで新たな結論が見いだせることに気付かせることが大切である。
・二つの観点でまとめた表の数値がそれぞれ何を表しているのかを説明させるだけでなく、解決すべき問題や調べてみたい事柄に関してどのようなことがいえるのかを話し合わせることも大切である。

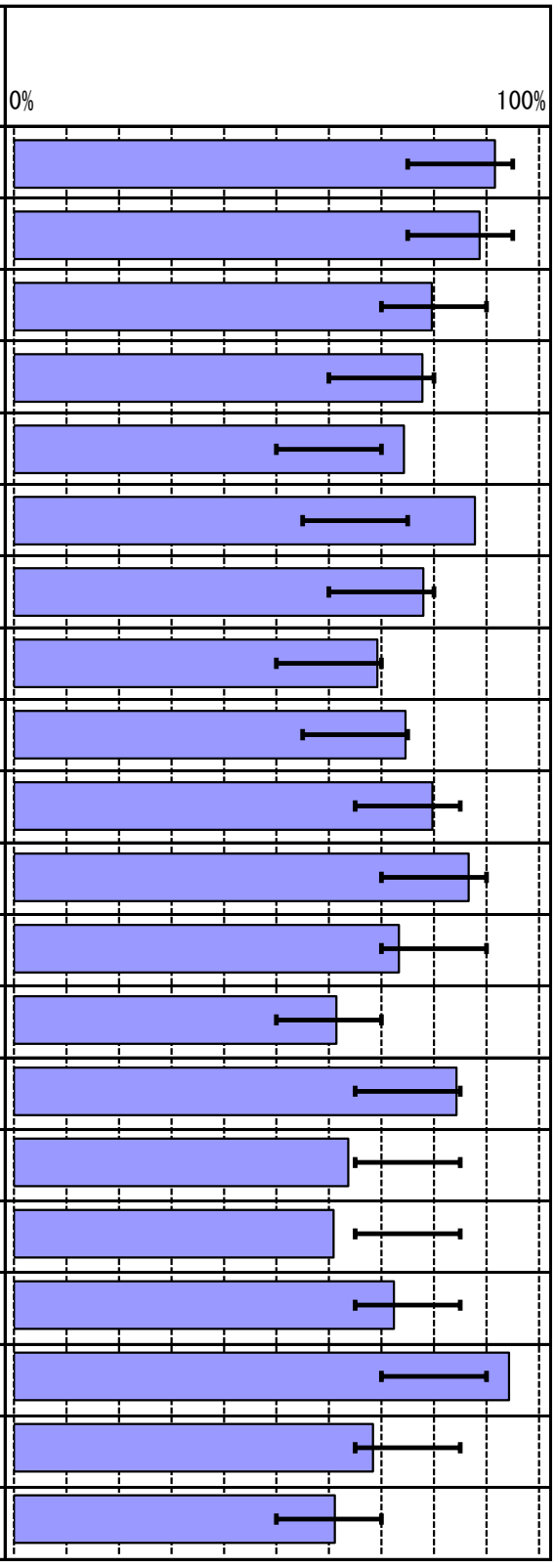
令和元年度秋田県学習状況調査　小学校第５学年　算数　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点		
					考え方	技能	知識・理解
第４学年	A数と計算	(2)イ 概数と四捨五入	・「以上」「未満」を用いて表す数の範囲を理解している。	(17			○
		(6)ア 同分母の分数の加法，減法	・帯分数と仮分数の大きさの比べ方を言葉や数，式を用いて説明することができる。	(5	○		
	B量と測定	(1)ア 面積の単位と測定	・面積の単位について理解している。	(4			○
		(2)イ 角の大きさ	・三角定規の角を組み合わせてできた角の大きさを求めることができる。	(10		○	
	C図形	(1)イ 平行四辺形，ひし形，台形	・ひし形の特徴を理解している。	(14			○
		(2)アイ 立方体，直方体などの立体図形	・立方体の展開図を完成させるために，必要な面の位置を考えることができる。	(11	○		
			・直方体の面と辺の垂直の関係を理解している。	(16			○
	D数量関係	(2)ウ 数量の関係を表す式	・具体的な事象について，伴って変わる二つの数量の変化を表から見いだし，長さを求めることができる。	(18		○	
			・表や図を基に，伴って変わる二つの数量の関係を表す式を考えることができる。	(19	○		
		(3)ア 四則に関して成り立つ性質	・分配法則を用いて計算を簡単に行う工夫を考えることができる。	(7	○		
第５学年	A数と計算	(1)イ 整数の性質	・最小公倍数を用いて，具体的な場面の時刻を求めることができる。	(9		○	
		(2)ア 整数，小数の記数法	・小数の表し方を十進位取り記数法を基に考えることができる。	(13	○		
		(3)アイ 小数の乗法，除法	・１／100の位までの小数の乗法の計算ができる。	(2		○	
			・小数の除法について，商を一の位まで求め，余りを求めることができる。	(3		○	
			・基準量を求めるために除法を用いることを理解している。	(8			○
			・小数の除法における除数と商の大きさの関係を理解している。	(15			○
		(4)オ 分数	・異分母の分数の減法の計算ができる。	(1		○	
	B量と測定	(2)イ 体積の単位と測定	・示された立体の体積の求め方を解釈し，求め方を言葉や数を用いて説明することができる。	(20	○		
	C図形	(1)イ 平面図形の性質	・２つの合同な直角三角形を組み合わせることで，ほかの図形を構成できるかどうかを考えることができる。	(12	○		
	D数量関係	(1)ア 伴って変わる二つの数量の関係	・表を基に，簡単な場合の比例の関係を理解している。	(6			○

小学校　５年　算数　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　76.4%

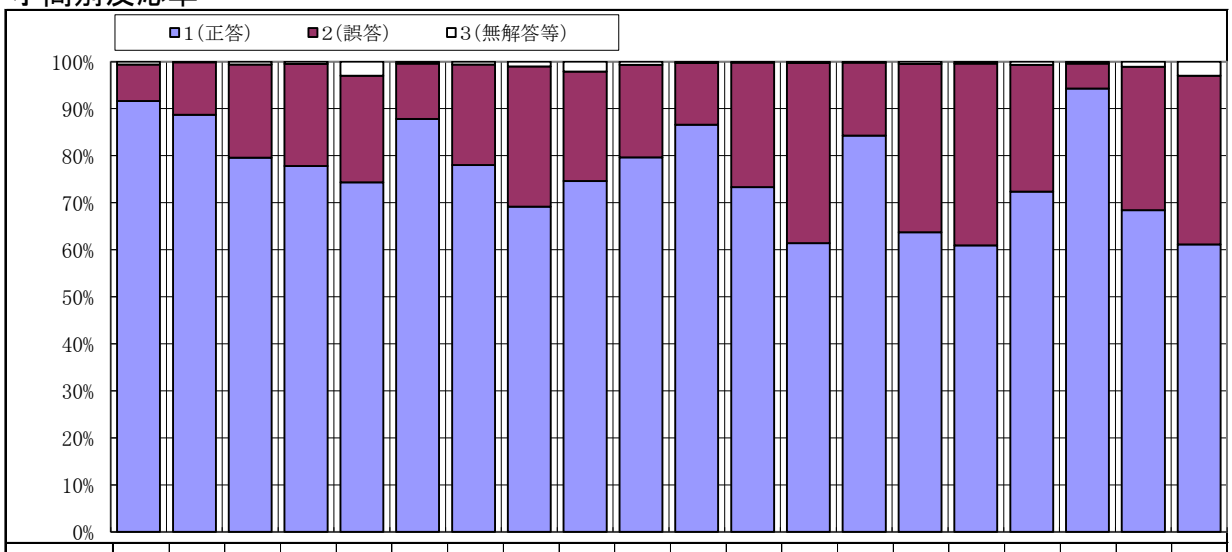
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	異分母分数の減法	91.6	85.0
（2	(小数)×（小数）の計算	88.7	85.0
（3	(小数)÷（小数）の計算	79.6	80.0
（4	面積の単位	77.8	70.0
（5	帯分数と仮分数の大小	74.3	60.0
（6	比例の関係	87.8	65.0
（7	計算の工夫	78.0	70.0
（8	基準量の求め方	69.2	60.0
（9	公倍数の利用	74.6	65.0
（１０	二枚の三角定規でつくる角の大きさ	79.7	75.0
（１１	立方体の展開図	86.6	80.0
（１２	直角三角形を基にした図形の構成	73.3	80.0
（１３	小数の仕組み	61.4	60.0
（１４	四角形の定義	84.3	75.0
（１５	除数と商の大きさの関係	63.7	75.0
（１６	直方体の面と辺の位置関係	60.9	75.0
（１７	四捨五入する数の範囲	72.4	75.0
（１８	伴って変わる数量の捉え	94.3	80.0
（１９	伴って変わる数量の関係の読み取り	68.4	75.0
（２０	直方体を組み合わせた立体の体積の求め方	61.1	60.0



※⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　算数

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	91.6	88.7	79.6	77.8	74.3	87.8	78.0	69.2	74.6	79.7	86.6	73.3	61.4	84.3	63.7	60.9	72.4	94.3	68.4	61.1
2 (誤答)	7.8	11.2	19.8	21.7	22.6	11.8	21.4	29.8	23.3	19.7	13.1	26.5	38.3	15.5	35.8	38.7	26.9	5.3	30.5	35.8
3 (無解答等)	0.6	0.1	0.6	0.5	3.0	0.4	0.6	1.0	2.1	0.7	0.3	0.2	0.3	0.2	0.5	0.4	0.7	0.4	1.1	3.0

小問別通過率度数分布表（197校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	61	41	31	18	8	55	17	9	13	14	27	9	6	29	9	8	11	66	15	7	1
90%～100%	81	63	54	37	16	55	24	10	11	33	38	8	11	42	3	4	27	100	18	5	12
80%～90%	44	72	48	60	44	59	56	34	53	58	96	46	28	65	22	23	45	28	32	18	65
70%～80%	8	11	34	35	52	17	55	54	58	62	28	65	31	43	36	40	38	2	39	37	78
60%～70%	1	7	11	21	49	5	29	50	38	19	3	47	35	11	52	37	25		37	46	34
50%～60%		1	8	14	19	5	10	25	16	8	3	13	37	6	48	42	22		27	42	5
40%～50%			9	7	4		3	10	6	1		6	18		14	29	10		11	23	1
30%～40%		1	1	4	1			2					14		7	9	9		6	12	
20%～30%					1		1						11		1	3	3		7	4	
10%～20%								2					3		3		2		2		
0%～10%	2	1	1	1	3	1	2	1	2	2	2	3	3	1	2	2	5	1	3	3	1

小学校５年　算数　調査結果の考察

１　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			領域別				計
	考え方	技能	知識･理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
＋10％ より高い	1	1	1	1	0	0	2	3
±10％ の範囲内	6	5	4	7	3	3	2	１５
－10％ より低い	0	0	2	1	0	1	0	2
計	7	6	7	9	3	4	4	２０

２　考察

(1) 全体について

①20問中18問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②全体の40%近くの児童が９割以上正答しており、正答数分布については正答数の多い層が厚い傾向が見られる。

(2) 成果

①表を基に、簡単な場合の比例の関係を理解することについて、改善が図られている。

②小数の表し方を十進位取り記数法を基に考えることについて、改善が図られている。

(3) 課題

①小数の除法における除数と商の大きさの関係の理解について、課題が見られる。

②図形の面と辺の垂直の関係の理解について、課題が見られる。

３　今後の指導

具体的な問題場面や状況に応じて、商の大きさを見積もったり、数直線などを用いて除数と商の大きさの関係を捉えたりする学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(15 ］

□ ÷０．７の商の大きさについて説明した次の**ア**～**ウ**から正しいものを１つ選んで，その**記号**を［　　］の中に書きましょう。ただし，□には０でない同じ数が入ります。

ア　□ ÷０．７の商は，□より大きくなる。

イ　□ ÷０．７の商は，□より小さくなる。

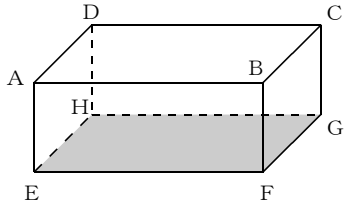
ウ　□ ÷０．７の商は，□と同じになる。

・実際に計算をする前に、問題場面や状況に応じて、商の大きさを見積もる活動を取り入れる。また、計算した後に、その結果を問題場面に当てはめて吟味することも大切である。
・数直線やテープ図を用いて、除数と商の大きさの関係を捉え、説明し合う活動を取り入れる。
・本設問を用いて、式の□の中に、様々な数を当てはめ、除数と商の大きさの関係について実際に計算をして確かめる場を設けることも有効である。

具体物の観察や操作を通して、立方体や直方体の辺や面の位置関係について理解を深めるとともに、立体と見取図を関連付けて考える学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(16 ］

次の直方体には，［　　］の面に垂直（すいちょく）な辺がいくつかあります。［　　］の面に垂直な辺を，次の**ア**～**エ**から１つ選んで，その**記号**を［　　］の中に書きましょう。



ア　辺ＡＤ
イ　辺ＡＥ
ウ　辺ＥＨ
エ　辺ＡＢ

・直方体の箱に定規を当て、辺と辺、面と面、辺と面の平行や垂直の関係について具体的に調べる活動を取り入れる。大きさや形の違う複数の立方体や直方体で調べ、辺や面の位置関係に着目して共通点を見いだす活動を取り入れることも有効である。
・本設問のように直方体の箱で基準になる面を１つ決め、その面に対して平行や垂直な辺、面を調べる活動を取り入れることも有効である。その際、見付けた平行や垂直な辺、面が見取図のどこに当たるかを確認することが大切である。
・立方体や直方体を見取図に表す活動を行った上で、見取図から平行や垂直になっている辺と辺、面と面、辺と面を見付け、その後に具体物で平行や垂直を確認する活動を取り入れることも有効である。

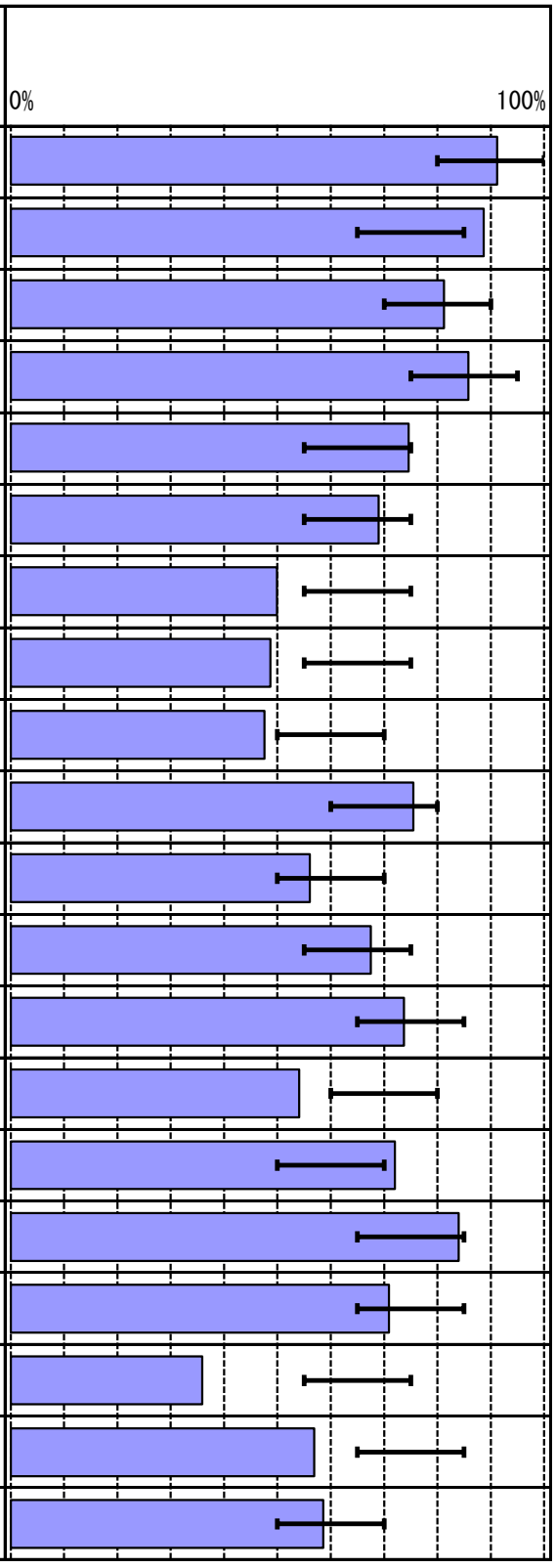
令和元年度秋田県学習状況調査　小学校第６学年　算数　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点		
					考え方	技能	知識・理解
第５学年	A数と計算	(3)ア 小数の乗法，除法	・基準量を求めるために除法を用いることを理解している。	(10			○
		(4)イ 分数	・整数の除法の結果は，分数を用いると常に一つの数として表されることを理解している。	(4			○
	B量と測定	(1)ア 図形の面積	・必要な部分の長さを判断して，三角形の面積を求めることができる。	(13		○	
			・２つの平行四辺形の面積が等しくなる理由を，底辺や高さに着目して説明することができる。	(15	○		
		(3)ア 量の大きさの測定値	・平均の考えを基に，集団全体の平均を求めることができる。	(7		○	
		(4)ア 異種の二つの量の割合	・単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を考え，混み具合の比べ方を説明することができる。	(9	○		
	C図形	(1)アウエ 平面図形の性質	・円に内接している正五角形を基にして，角の大きさを求めることができる。	(18		○	
			・直径の長さと円周の長さの関係を理解している。	(12			○
		(2)ア 立体図形の性質	・三角柱を構成する面のつながりや位置関係について考え，三角柱の展開図を判断することができる。	(16	○		
	D数量関係	(3) 百分率	・比較量と割合から基準量を求めることができる。	(8		○	
		(4) 円グラフや帯グラフ	・複数の帯グラフから必要な情報を読み取り，読み取ったことが正しいか，正しくないかの理由を説明することができる。	(20	○		
第６学年	A数と計算	(1)アイウ 分数の乗法，除法	・分数÷小数の計算ができる。	(1		○	
			・分数の計算における除数と商の大きさの関係について理解している。	(3			○
			・分数の乗法の計算の仕方を解釈し，示された数の場合の計算の仕方を，言葉や式を用いて説明することができる。	(5	○		
			・示された場面における数量の関係を理解している。	(19			○
	B量と測定	(2)ア 円の面積	・円を含む複合図形の面積を，既習の形を基にして求めることができる。	(14		○	
		(4) 速さ	・速さの意味を理解している。	(6			○
	C図形	(1)イ 縮図や拡大図，対称な図形	・基本的な平面図形の対称性や性質を関連付けて考えることができる。	(17	○		
	D数量関係	(3)ア 文字を用いた式	・x に数を当てはめて，式の値を求めることができる。	(2		○	
			・具体的な場面で，数量の関係に着目して文字を使った式を考えることができる。	(11	○		

小学校　６年　算数　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　67.1%

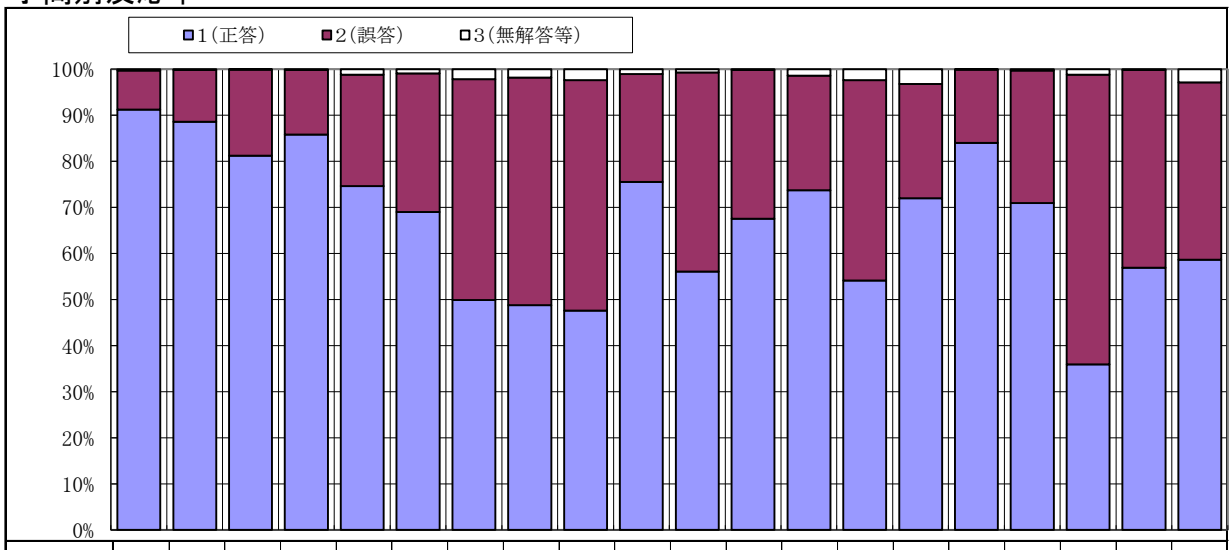
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（分数）÷（小数）の計算	91.2	90.0
（2	代入した式の値	88.7	75.0
（3	除数と商の関係	81.2	80.0
（4	分数の意味	85.8	85.0
（5	分数の乗法の計算の仕方	74.6	65.0
（6	速さの意味	69.0	65.0
（7	母集団の平均	49.9	65.0
（8	割合を含む数量の関係	48.7	65.0
（9	単位量当たりの大きさ	47.6	60.0
（１０	基準量の求め方	75.5	70.0
（１１	文字を用いた式	56.1	60.0
（１２	直径と円周の関係	67.5	65.0
（１３	三角形の面積	73.7	75.0
（１４	円を含む複合図形の面積	54.1	70.0
（１５	平行四辺形の面積	72.0	60.0
（１６	三角柱の展開図	84.0	75.0
（１７	基本的な平面図形の対称性と性質	70.9	75.0
（１８	正多角形の角の大きさ	35.9	65.0
（１９	基準量と比較量の関係	56.9	75.0
（２０	必要な情報の読み取りと，数学的な説明	58.6	60.0



※⊢⊣は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　算数

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	91.2	88.7	81.2	85.8	74.6	69.0	49.9	48.7	47.6	75.5	56.1	67.5	73.7	54.1	72.0	84.0	70.9	35.9	56.9	58.6
2 (誤答)	8.5	11.2	18.7	14.0	24.2	30.1	48.0	49.4	50.0	23.4	43.2	32.3	24.9	43.5	24.8	15.9	28.8	62.8	42.9	38.4
3 (無解答等)	0.3	0.2	0.1	0.2	1.2	0.9	2.2	1.8	2.4	1.1	0.7	0.2	1.4	2.4	3.2	0.1	0.3	1.2	0.2	2.9

小問別通過率度数分布表（197校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	53	51	22	44	16	10	4	4	1	11	9	4	12	3	13	19	7	5	4	4	
90%～100%	89	71	34	66	20	17	4	2	1	28	8	9	24	3	11	34	12	1	2	5	2
80%～90%	41	44	68	48	49	39	7	4	7	53	26	21	45	8	40	88	37	5	12	20	18
70%～80%	11	22	50	15	47	42	9	10	11	52	28	54	36	18	65	41	62	6	18	33	68
60%～70%	1	6	18	12	41	42	32	27	18	33	31	67	55	41	37	13	53	17	55	49	76
50%～60%	1	1	3	6	21	31	41	55	52	17	24	26	16	64	16	1	21	22	52	36	27
40%～50%	1	2	2	1		10	60	47	52	3	26	13	6	37	6	1	3	25	39	27	4
30%～40%				1	1	4	32	28	35		20	2	1	16	5			41	8	13	2
20%～30%				1	1	2	5	18	17		15	1	1	6	1			36	5	7	
10%～20%				1			1	1	2		6				1			28	1	2	
0%～10%				2	1		2	1	1		4		1	1	2		2	11	1	1	

小学校６年　算数　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			領域別				計
	考え方	技能	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
＋10％ より高い	1	1	0	0	1	0	1	2
±10％ の範囲内	5	2	5	5	2	3	2	１２
－10％ より低い	1	4	1	1	3	1	1	6
計	7	7	6	6	6	4	4	２０

2　考察

(1) 全体について

①20問中14問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②観点別では「技能」に、領域別では「量と測定」にやや課題が見られる。

(2) 成果

①昨年度の本調査で課題が見られた速さの意味を理解することについて、改善が図られている。

②全国学力・学習状況調査において課題が見られた、直径の長さと円周の関係を理解することについて、改善が図られている。

(3) 課題

①単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を考え、混み具合の比べ方を説明することについて、課題が見られる。

②示された場面における数量の関係を理解することについて、課題が見られる。

3　今後の指導

単位量当たりの大きさの学習においては、異なる考え方に基づいた式を比較し、それぞれの式の意味を関連付けて捉える学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(9 ］

ゆかさんたちは町内会で旅行に行きました。宿泊した旅館の部屋は，「部屋Ａ」と「部屋Ｂ」の２つです。次の表は，それぞれの部屋に宿泊した人数と，その部屋にしいてあるたたみの枚数を表したものです。

	人数(人)	たたみの枚数(枚)
部屋Ａ	8	１４
部屋Ｂ	１０	１６

どちらの部屋がこんでいるかを調べるために，ゆかさんは次の計算をしました。

［ゆかさんの計算］

部屋Ａ　１４÷８＝１.７５　，　部屋Ｂ　１６÷１０＝１.６

「部屋Ａ」と「部屋Ｂ」のうち，こんでいる部屋を○で囲みましょう。また，そのわけを［ゆかさんの計算］からわかることをもとに言葉や数を使って□の中に書きましょう。

・混み具合を調べる際には、単位面積当たりの人数を比べる場合と、単位人数当たりの面積を比べる場合がある。どちらを単位量として設定しているかについて判断することができるように、それぞれの場合の式の意味を図や数直線などを用いながら、関連付けて捉えることができるようにすることが大切である。

・二つの量の割合で捉えられる数量を比べるとき、三つ以上のもの比べたり、いつでも比べられるようにしたりするためには、単位量当たりの大きさを用いて比べると、より能率的に比べられることを実感できるようにすることも大切である。

図や数直線などを用いて問題場面を表現し、数量の関係を整理して捉える学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(19 ］

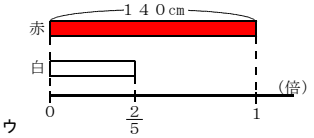
赤色のテープと白色のテープの長さについて，次のことがわかっています。

赤色のテープの長さは，１４０cmです。

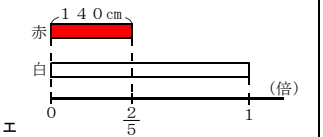
赤色のテープの長さは，白色のテープの長さの $\frac{2}{5}$ 倍です。

赤色のテープと白色のテープの長さの関係を正しく表している図を，次のア～エから１つ選んでその記号を□の中に書きましょう。

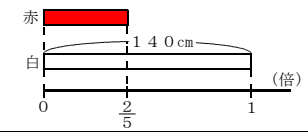
ア



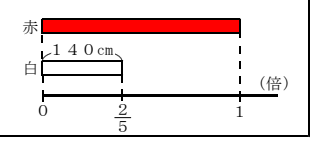
イ



ウ



エ



・問題場面から基準量と比較量を正しく捉えることができるようにすることが大切である。何が基準量に当たるのかを意識させるためには、問題場面がどのようなことを表しているのかを整理し、テープ図や数直線などを用いて表現する活動が有効である。

・整数、小数及び分数の計算においては問題を解決する過程で、「①問題場面の数量の関係を理解する」「②数量の関係を図や数直線などに表す」「③図や数直線などを基に立式したり、計算の意味を確認したりする」という一連の活動を繰り返し設定することが大切である。

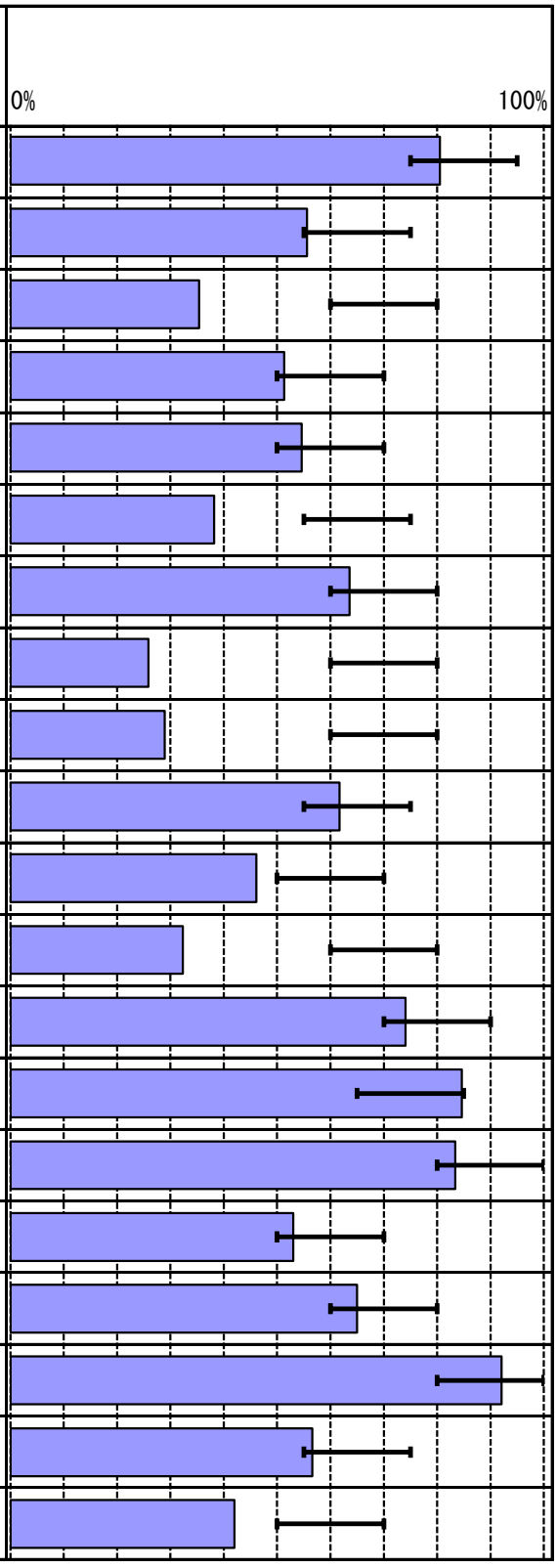
令和元年度秋田県学習状況調査　中学校第１学年　数学　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点		
					考え方	技能	知識・理解
小学校第６学年	B量と測定	(3)ア 角柱及び円柱の体積	・円柱の体積を求める式を表すことができる。	(7		○	
		(5) メートル法の単位の仕組み	・面積の単位とメートル法の仕組みを理解している。	(9			○
	C図形	(1)ア 縮図や拡大図	・縮図の意味を理解している。	(15			○
	D数量関係	(2)ウ 比例	・具体的な場面で，比例のグラフを用いて考えることができる。	(18	○		
		(3)ア 文字を用いた式	・具体的な場面で，数量の関係に着目して文字を使った式を考えることができる。	(6	○		
		(4)イ 資料の考察	・柱状グラフから必要な情報を読み取って割合を求め，根拠を明らかにして説明することができる。	(16	○		
		(5) 起こり得る場合	・起こり得る場合について，落ちや重なりがないように調べる方法を説明することができる。	(14	○		
中学校第１学年	A数と式	(1)アイウエ 正の数・負の数	・小数÷分数の計算ができる。	(1		○	
			・正負の数の累乗や乗法の計算ができる。	(2		○	
			・実際の値と基準との差を表した正負の数から，実際の値の平均を求めることができる。	(10		○	
			・四則計算の結果の特徴を的確に捉え，数の集合と四則計算の可能性を理解している。	(17			○
		(2)アイウエ 文字を用いた式	・数の範囲に基づいた式の値を理解している。	(3			○
			・事象の中にある数量の関係を，不等式で表すことができる。	(4		○	
			・項が二つの一次式の約分をすることができる。	(12		○	
			・四則計算における数量の関係を理解している。	(8			○
			・式と図を関連付けて，文字を用いて説明することができる。	(20	○		
		(3)アイウ 一元一次方程式	・係数が分数の一次方程式を解くことができる。	(5		○	
			・一次方程式の解の意味を理解している。	(13			○
			・具体的な場面で，一次方程式をつくることができる。	(11		○	
			・具体的な場面で，比の相等関係を捉え，比例式を成り立たせる数値を考えることができる。	(19	○		

中学校　１年　数学　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　56.2%

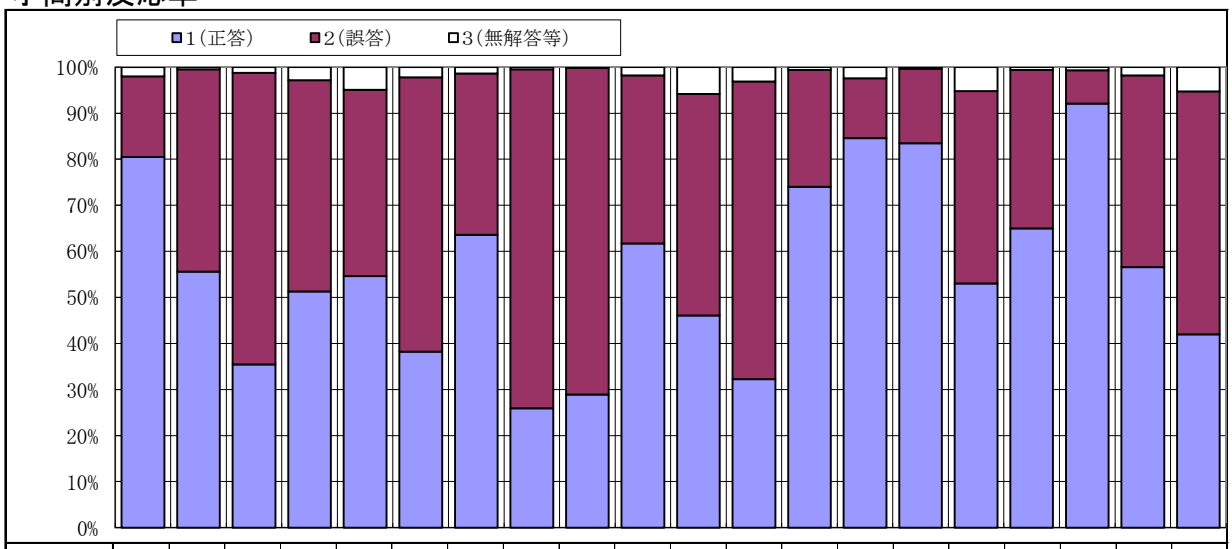
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（小数）÷（分数）の計算	80.5	85.0
（2	累乗を含む正の数，負の数の計算	55.6	65.0
（3	数の範囲に基づいた式の値	35.4	70.0
（4	不等式を用いた表現	51.3	60.0
（5	分数係数の一次方程式	54.6	60.0
（6	文字を用いた式	38.2	65.0
（7	円柱の体積	63.6	70.0
（8	数量の関係	25.9	70.0
（9	面積の単位とメートル法	28.9	70.0
（１０	仮平均を用いた平均の求め方	61.7	65.0
（１１	一次方程式の立式	46.1	60.0
（１２	項が二つの一次式の約分	32.3	70.0
（１３	一次方程式の解の意味	74.1	80.0
（１４	起こり得る場合の数	84.6	75.0
（１５	縮図の意味	83.4	90.0
（１６	柱状グラフの読み取り	53.0	60.0
（１７	四則計算の結果の特徴	65.0	70.0
（１８	比例のグラフの解釈	92.1	90.0
（１９	比例式の立式	56.6	65.0
（２０	文字式の利用	42.0	60.0



※⊢⊣は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　数学

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	80.5	55.6	35.4	51.3	54.6	38.2	63.6	25.9	28.9	61.7	46.1	32.3	74.1	84.6	83.4	53.0	65.0	92.1	56.6	42.0
2 (誤答)	17.5	43.9	63.3	45.9	40.5	59.6	35.0	73.6	70.9	36.5	48.1	64.7	25.4	13.0	16.1	41.8	34.4	7.2	41.6	52.7
3 (無解答等)	2.0	0.5	1.2	2.8	4.9	2.2	1.4	0.5	0.2	1.8	5.8	3.1	0.6	2.4	0.4	5.2	0.6	0.7	1.8	5.3

小問別通過率度数分布表（116校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	6		1	2	2	1	3	1	1	1		1	5	8	3	1	1	10	4		
90%～100%	19					1	4				2		21	31	22	1	2	67	7		
80%～90%	49	8		6	4	1	13			11	3	1	29	47	61	2	7	34	12	4	2
70%～80%	25	10	2	8	17		25	2	1	17	6	2	28	22	21	13	29	2	17	5	4
60%～70%	13	26	4	19	22	2	27		1	38	7	1	17	5	8	22	40	1	18	6	26
50%～60%	2	34	4	25	33	11	24	2	2	30	24	7	6	2		29	25		23	21	66
40%～50%	1	23	20	33	24	25	17	3	11	12	35	15	4			30	10		6	28	14
30%～40%		10	42	14	7	44	2	20	27	2	19	29	2			14			15	25	2
20%～30%		2	33	6	3	27		49	49	1	14	46	1			2			9	20	1
10%～20%		1	8		1	2		30	19	1	3	11							1	3	
0%～10%	1	2	2	3	3	2	1	9	5	3	3	3	3	1	1	2	2	2	4	4	1

中学校１年　数学　調査結果の考察

1　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			領域別				計
	見方･考え方	技能	知識･理解	数と式	量と測定	図形	数量関係	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	4	6	3	8	1	1	3	１３
－10％ より低い	2	2	3	5	1	0	1	7
計	6	8	6	１３	2	1	4	２０

2　考察

(1) 全体について

①小学校の内容に関する問題における通過率は、７問中５問が設定通過率の「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②設定通過率の「－10％より低い」設問が、小学校の内容に関しては20問中２問（全体の10％）、中学校の内容に関しては20問中５問（全体の25％）あり、小学校に比べて中学校の学習内容の定着状況は十分とは言えない。

(2) 成果

①正負の数の累乗や乗法の計算については、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

②具体的な場面において一次方程式をつくることについては、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

①四則計算における数量の関係を理解し、文字を用いた式に表すことについて、課題が見られる。

②面積の単位とメートル法の仕組みを理解することについて、課題が見られる。

3　今後の指導

数量の関係や法則などを文字式で表したり、文字を用いた等式が成り立つかどうかを振り返る活動の充実を図る。

［参考　通し番号(8 ］

正の整数 a を３で割ったときの商を b，余りを c とするとき，a，b，c の関係は，どのような等式で表されますか。a，b，c の関係を表す等式として正しいものを，次の**ア**～**エ**から１つ選んで，その記号を書きなさい。

ア $\frac{a}{3}=b+c$　　**イ** $3a=b+c$

ウ $3b=a+c$　　**エ** $a=3b+c$

・除法について、「被除数、除数、商、余り」の間に成り立つ関係を、具体的な数で確認する機会を設定する。
・様々な数に置き換えて調べた数量の関係を捉え、それらの関係を文字を用いて表す活動を繰り返し設定することが大切である。
・文字を用いた等式については、具体的な数を代入し、等式が成り立つかどうかを振り返る活動が有効である。

身の回りで使われている量の単位を見付けたり、これまでに学習した単位とどのような関係にあるかを調べたりする活動の充実を図る。

［参考　通し番号(9 ］

次の文のＡにあてはまる数を下の**ア**～**エ**から１つ選んでその記号を書きなさい。

１km^{2}は、１m^{2}の $\boxed{\text{A}}$ 倍です。

ア　１０００
イ　１００００
ウ　１０００００
エ　１０００００００

・１km^2、１m^2、１cm^2 の正方形を図で表し、１km^2 の正方形の１辺の長さは何ｍかなど、長さの単位を基にして面積の単位を考察する活動が大切である。
・メートル法の単位の仕組みについての理解が深まるよう、身の回りにある重さやかさの単位の仕組みについて、類推して考える活動を取り入れる。
・方程式の利用や、関数の利用などの問題場面で、問題の中に示された単位を確認するなどして、学び直しの機会を設定する。

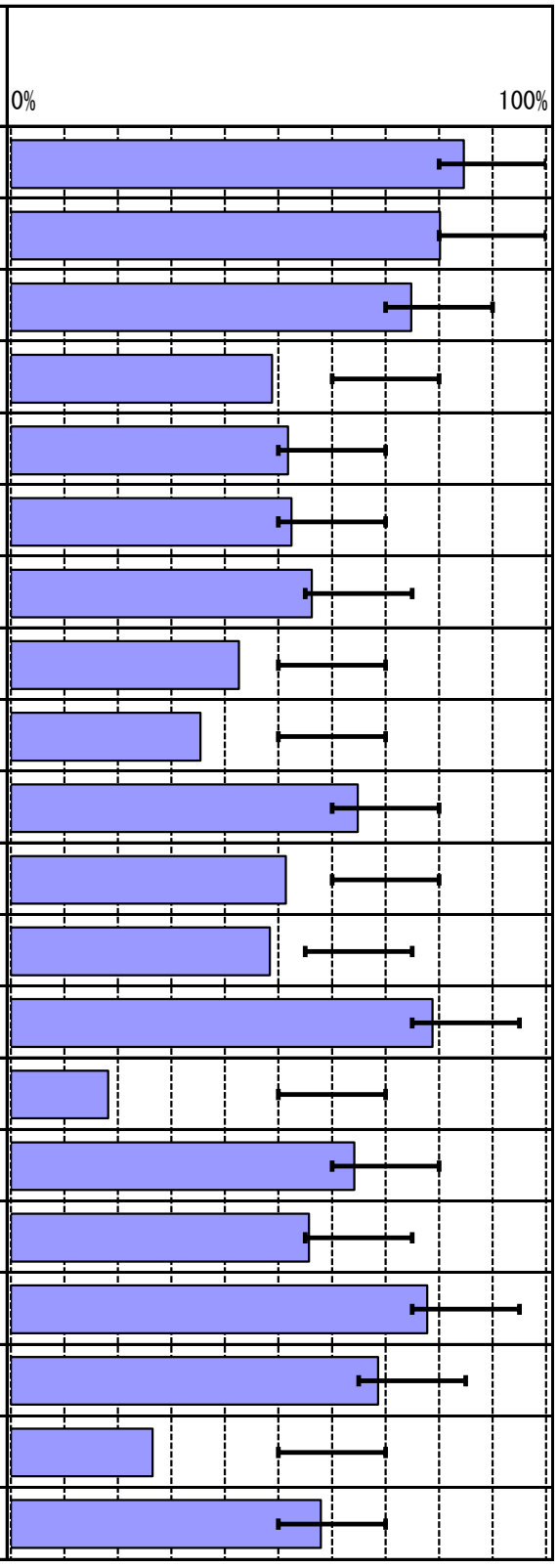
令和元年度秋田県学習状況調査　中学校第２学年　数学　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点		
					考え方	技能	知識・理解
小学校第６学年	D数量関係	(3)ア 文字を用いた式	・具体的な場面で，数量の関係に着目して文字を使った式を考えることができる。	(4	○		
中学校第１学年	A数と式	(1)ウ 正負の数	・小数÷分数の計算ができる。	(1		○	
		(3)ア 一元一次方程式	・一次方程式の解の意味を理解している。	(2			○
	B図形	(1)アイ 平面図形	・対称移動について理解している。	(12			○
			・条件を満たす点を作図することができる。	(14		○	
		(2)アイウ 空間図形	・円錐と円柱の体積の関係を理解している。	(11			○
			・ねじれの位置について理解している。	(13			○
	C関数	(1)アイエ 比例・反比例	・反比例の表から，x と y の関係を式で表すことができる。	(5		○	
	D資料の活用	(1)アイ 代表値	・最頻値の意味を理解している。	(16			○
			・相対度数を基にして，資料の傾向を読み取ることができる。	(17	○		
中学校第２学年	A数と式	(1)アイウ 式の計算	・式の値を求めることができる。	(3		○	
			・等式を目的に応じて変形することができる。	(6		○	
			・分数を含む多項式について，正しい方法で計算することができる。	(9		○	
			・整数の性質について，文字を使った式を用いて説明することができる。	(20	○		
		(2)ウ 連立方程式	・具体的な事象において，数量の関係に着目して式を考えることができる。	(7	○		
	C関数	(1)イエ 一次関数	・一次関数の意味を，表と関連付けて理解している。	(15			○
			・一次関数の変域を求めることができる。	(8		○	
			・連立方程式を利用してグラフの交点の座標を求めることができる。	(10		○	
			・一次関数のグラフと関連付けて，具体的な事象を考えることができる。	(18	○		
			・点の移動に着目して，x と y の関係を表す式を考えることができる。	(19	○		

中学校　２年　数学　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　56.9%

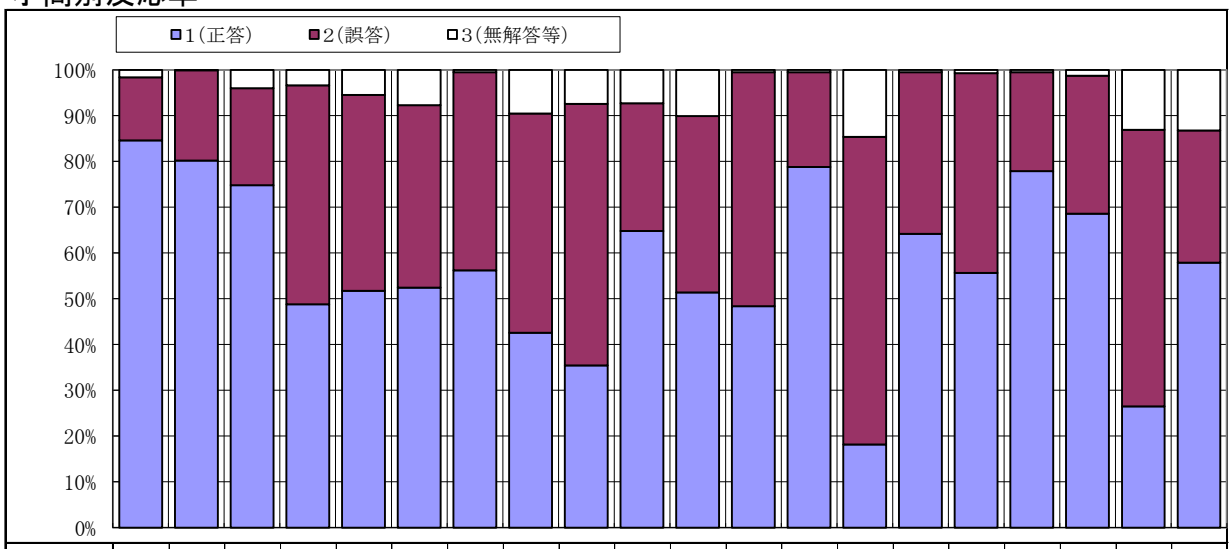
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（小数）÷（分数）の計算	84.6	90.0
（2	一次方程式の解の意味	80.2	90.0
（3	式の値	74.8	80.0
（4	文字を用いた式	48.8	70.0
（5	反比例の式	51.8	60.0
（6	等式の変形	52.4	60.0
（7	連立方程式の立式	56.2	65.0
（8	一次関数の変域	42.6	60.0
（9	分数を含む文字式の計算	35.4	60.0
（１０	一次関数の交点	64.8	70.0
（１１	円錐と円柱の体積の関係	51.4	70.0
（１２	図形の対称移動	48.4	65.0
（１３	空間図形のねじれの位置	78.8	85.0
（１４	作図の利用	18.2	60.0
（１５	一次関数の判別	64.2	70.0
（１６	最頻値の意味	55.7	65.0
（１７	資料の傾向の読み取り	77.8	85.0
（１８	一次関数の変化	68.6	75.0
（１９	一次関数の利用	26.5	60.0
（２０	文字式を用いた説明	57.9	60.0



※⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　数学

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	84.6	80.2	74.8	48.8	51.8	52.4	56.2	42.6	35.4	64.8	51.4	48.4	78.8	18.2	64.2	55.7	77.8	68.6	26.5	57.9
2 (誤答)	13.8	19.7	21.2	47.8	42.8	39.9	43.3	47.9	57.1	27.9	38.5	51.1	20.7	67.2	35.3	43.7	21.6	30.1	60.4	28.9
3 (無解答等)	1.6	0.1	4.0	3.4	5.5	7.7	0.5	9.5	7.4	7.3	10.1	0.5	0.5	14.6	0.5	0.7	0.5	1.3	13.1	13.2

小問別通過率度数分布表（116校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	8	12	5	3	2	1	2	1		5	3		6		2	2	3	4		1	
90%～100%	33	31	9	1	2	3				4		3	13		4	1	9	7	1	3	
80%～90%	51	35	27	2	6	3	6	3	1	8	3	3	47		15	5	43	14		7	3
70%～80%	20	17	47	2	6	10	10	2	5	22	6	4	33	2	29	6	44	35	1	10	4
60%～70%	2	10	17	14	18	24	17	1	8	40	19	18	13	1	25	21	12	25	2	24	32
50%～60%	1	4	9	29	31	22	52	17	13	25	37	27	1	3	29	40	2	21	3	37	58
40%～50%		3	1	40	37	28	22	31	21	10	36	27	2	1	10	25	2	7	10	19	17
30%～40%		1		16	7	13	6	40	16	1	9	27		5	1	11		3	17	6	1
20%～30%				7	4	8		14	25		2	5		20		3			37	6	
10%～20%		1		1	1	2		4	19					46					28	1	
0%～10%	1	2	1	1	2	2	1	3	8	1	1	2	1	38	1	2	1		17	2	1

中学校２年　数学　調査結果の考察

1　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			領域別				計
	見方・考え方	技能	知識・理解	数と式	図　形	数量関係 関数	資料の活用	
＋10％　より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10％　の範囲内	4	5	4	6	1	4	2	１３
－10％　より低い	2	3	2	1	3	3	0	7
計	6	8	6	7	4	7	2	２０

2　考察

(1) 全体について

①設定通過率の「－10％より低い」設問が20問中７問あり、基礎的・基本的な学習内容の定着状況は十分とは言えない。

②昨年度の本調査で課題が見られた「円柱と円錐の体積の関係」「反比例の式」「一次関数の判別」について、課題の改善が十分進んでいるとはいえない状況である。

③観点別では「技能」にやや課題が見られる。領域別では「図形」において、設定通過率の「－10％より低い」設問が４問中３問あり、課題が見られる。

(2) 成果

①一次方程式の解の意味を理解することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

②文字を用いて整数の性質を説明することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

①条件を満たす点を作図することについて、課題が見られる。なお、本設問は平成31年度秋田県公立高等学校入学者選抜一般選抜学力検査の大問１で課題が見られた作図の類似問題である。

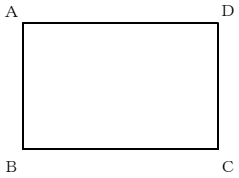
②点の移動に着目して x と y の関係を表す式を考えることについて、課題が見られる。

3　今後の指導

図形の対称性や図形を決定する構成要素に着目し、基本的な作図方法を活用して条件を満たす図形等をつくる学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(14 ］

次の図のような長方形ＡＢＣＤがあります。辺ＡＤ上に，∠ＰＢＡ＝30°となるような点Ｐを，定規とコンパスを用いて作図しなさい。ただし，作図に用いた線は消さないこと。



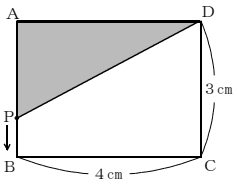
・ある角度を作図する方法を複数通り考え、説明し伝え合う活動など、図形の構成要素に着目して作図の方法を見いだし、その方法を図形の性質や関係に基づいて考え表現する活動を取り入れる。

・条件を満たす図形等をつくるために、二等分線、垂直二等分線、垂線などの基本的な作図方法をどのように活用すればよいか、また、どうしてそのように考えたかについて、数学的な表現を用いて筋道立てて説明し合う活動も大切である。

図形の辺の長さや角の大きさ、面積等に着目し、変化の特徴を読み取ったり、式に表したりする学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(19 ］

次の図のように，ＢＣ＝４cm，ＣＤ＝３cmの長方形があります。点Ｐは毎秒１cmの速さで，点Ａから点Ｄまで，Ａ→Ｂ→Ｃ→Ｄの順に，辺ＡＢ，ＢＣ，ＣＤ上を移動します。点Ｐが点Ａを出発してから x 秒後の△ＡＰＤの面積を y cm^2 とします。



点Ｐが，点Ｃから点Ｄまで移動するときの x と y の関係を表す式を，次のように求めました。□ にあてはまる式を書きなさい。

$y = (\square) \times 4 \times \frac{1}{2}$

・本設問を扱う際に、図形の底辺や高さに着目し、面積の公式を基に考える方法、表と関連付けて考える方法、２組の x、y の値を基に式で考える方法など、複数の解決方法を説明し伝え合う活動を取り入れる。その際、自分の考えた方法で解決するだけではなく、他の生徒が考えた方法でも解決する機会を設定することが大切である。

・本調査では、「数と式」「図形」「関数」の３つの領域で、「全体から部分をひく」という考えを用いる問題を出題した。様々な領域でこのような考えを取り上げ、生徒一人一人が理解できるように丁寧に指導する必要がある。

4　結果と考察　(4)理科

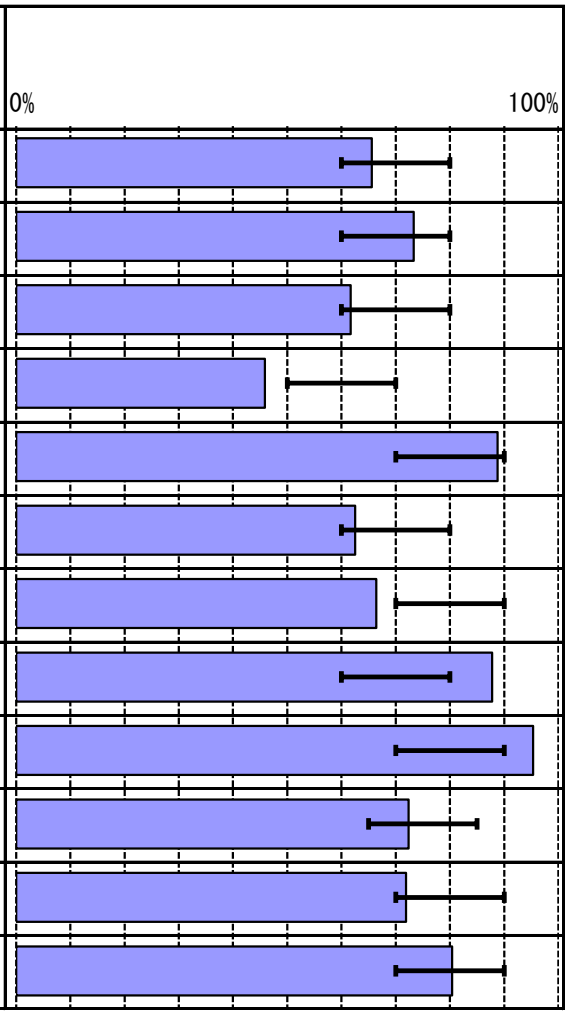
令和元年度秋田県学習状況調査　小学校第４学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	区分	内容	評価規準	通し番号	観点		
					思考表現	技能	知識理解
第３学年	A 物質・エネルギー	(2)イ	・ゴムを伸ばす長さと車の移動距離を関係付けて考え，表現している。	(3	○		
		(4)ア イ	・磁石に付けた鉄の釘には，磁石の性質があることを考察し，表現している。	(6	○		
	B 生命・地球	(1)イ	・植物の育ち方に一定の順序があることを理解している。	(1			○
		(1)ア	・変態の仕方の違う昆虫について，知識を身に付けている。	(2			○
		(3)ア	・太陽の位置の変化に伴う影の位置の変化について考え，表現している。	(4	○		
第４学年	A 物質・エネルギー	(3)ア	・乾電池の向きによって電流の向きやモーターの回転する向きが変化することを理解している。	(7			○
		(3)ア	・乾電池のつなぎ方による電気の働きの違いについて考察している。	(8	○		
	B 生命・地球	(4)ア	・方位磁針を適切に操作する技能を身に付けている。	(5		○	
		(1)イ	・人体の関節について理解している。	(9			○
		(3)ア	・天気と１日の気温の変化の様子を関係付けて考え，表現している。	(10	○		
		(4)ア	・天体を適切に観察する技能を身に付けている。	(11		○	
		(4)ア ウ	・星座と月の見え方の共通点について考え，表現している。	(12	○		

小学校　４年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　72.7%

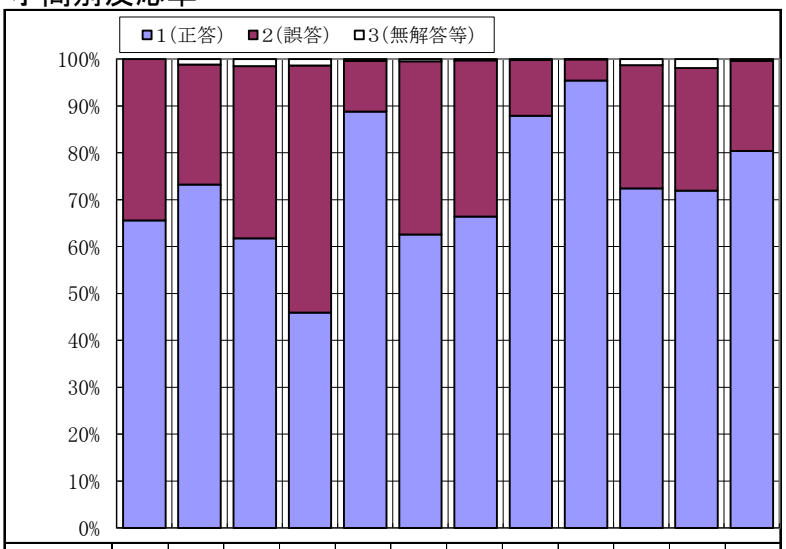
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	ホウセンカの成長	65.6	70.0
（2	昆虫の変態	73.3	70.0
（3	ゴムの力の調整	61.7	70.0
（4	太陽と影の動き	45.9	60.0
（5	方位磁針の使い方	88.8	80.0
（6	磁石の性質	62.5	70.0
（7	乾電池の向きと電流の向きの関係	66.4	80.0
（8	乾電池のつなぎ方と電気の働きの関係	87.8	70.0
（9	関節の働き	95.3	80.0
（１０	天気による気温の変化の違い	72.4	75.0
（１１	天体を観察するときの留意点	71.9	80.0
（１２	一日の中での星や月の見え方	80.4	80.0



※⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

小学校　４年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12
1 (正答)	65.6	73.3	61.7	45.9	88.8	62.5	66.4	87.8	95.3	72.4	71.9	80.4
2 (誤答)	34.4	25.6	36.7	52.7	10.8	36.9	33.3	11.9	4.5	26.3	26.2	19.2
3 (無解答等)	0.0	1.2	1.5	1.4	0.4	0.5	0.3	0.2	0.1	1.3	1.9	0.4

小問別通過率度数分布表（196校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	平均通過率
100%	8	18	11	5	59	7	8	30	79	13	28	22	
90%～100%	7	20	6	4	57	1	3	67	93	29	38	32	6
80%～90%	19	44	28	21	55	11	24	67	22	46	38	64	51
70%～80%	47	56	28	18	13	42	51	23	2	39	23	49	77
60%～70%	50	35	47	18	9	58	59	3		33	28	15	51
50%～60%	41	18	42	26	3	44	42	4		16	15	8	10
40%～50%	16	4	21	31		26	6			14	9	4	
30%～40%	5		8	32		3	1			4	7	1	1
20%～30%	1		3	28		3	1				6		
10%～20%				7							1		
0%～10%	2	1	2	6		1	1	2		2	3	1	

小学校４年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			内容区分別		計
	科学的な思考・表現	技　能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
＋10％ より高い	1	0	1	1	1	2
±10％ の範囲内	4	2	2	2	6	8
－10％ より低い	1	0	1	1	1	2
計	6	2	4	4	8	１２

2　考察

(1) 全体について

12問中10問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①観点が「技能」の設問は、通過率の平均が80.4であり、良好な状況である。

②観点が「知識・理解」の設問のうち、通し番号(9「関節の働き」の通過率は95.3で最も高く、定着が図られている。

(3) 課題

①類似問題の通過率は、昨年度のものと比べ、全て下回った。特に、通し番号(7「乾電池の向きと電流の向きの関係」に関する設問は18.0ポイント下降した66.4であった。実験の結果を考察させる場面では、理科の見方・考え方（量的・関係的な視点など）を働かせて結論を見いだすことができるようにする必要がある。

②通し番号(4「太陽と影の動き」の通過率は45.9であった。学習したことを日常生活との関わりの中で捉え直し、自分の考えを再構築して表現する場面の意図的な設定が必要である。

3　今後の指導

問題解決のそれぞれの活動のつながりを重視した上で、観察、実験の結果を基にした考察では、着目する視点を明確にし、考えたことを説明する活動を充実させる。

・学習問題の設定について、日常生活における体験や既習の内容を活用させるように働き掛け、問題意識を高めさせる。その上で、観察、実験の結果についての見通しをもたせることで、主体的に問題解決が行われるようにする。

・考察する場面では、着目する視点を明確にして働き掛ける。例えば、乾電池の数やつなぎ方を変えたときのモーターの動作の様子に着目して、モーターの回り方の変化と電流の大きさや向きとの関係について考えたことを、ペアやグループ同士で説明する活動が考えられる。

習得した知識を自然の事物・現象や日常生活に当てはめて考えたり説明したりする活動を充実させる。

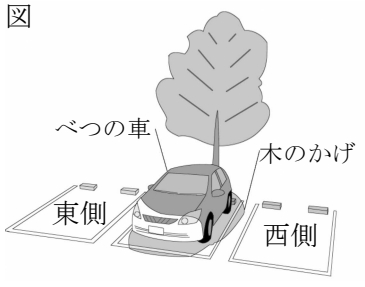
[参考 通し番号 (4]

夏の暑い日の正午に，広さんの家族は，公園のちゅう車場にある木のかげになっているところに車を止めようとしました。ところが，図のように木のかげにはべつの車が止まっていました。このとき，広さんは，時間がたつと木のかげが動くことから，車を止める方位について，下のように考えました。〔広さんの考え〕が正しくなるように，㋐に当てはまる内容を，太陽が動く方位と木のかげが動く方位をしめして，［　　］の中に書きなさい。

〔広さんの考え〕

うちの車をとめる場所は，今止まっているべつの車の東側にしよう。なぜなら，時間がたつと，［㋐］からです。

図



・自然の事物・現象に関わる問いを基に学習問題を設定するとともに、観察、実験を通して得られた結果を整理し考察した上で、導入での問いに立ち返って説明させたり対話させたりする活動を取り入れる。

・授業の終末の段階では、導入で取り上げた事物・現象や設定等の異なる事物・現象について、新たに獲得した知識を用いて説明することができるようにする。

令和元年度秋田県学習状況調査　小学校第５学年　理科　評価規準と評価の観点

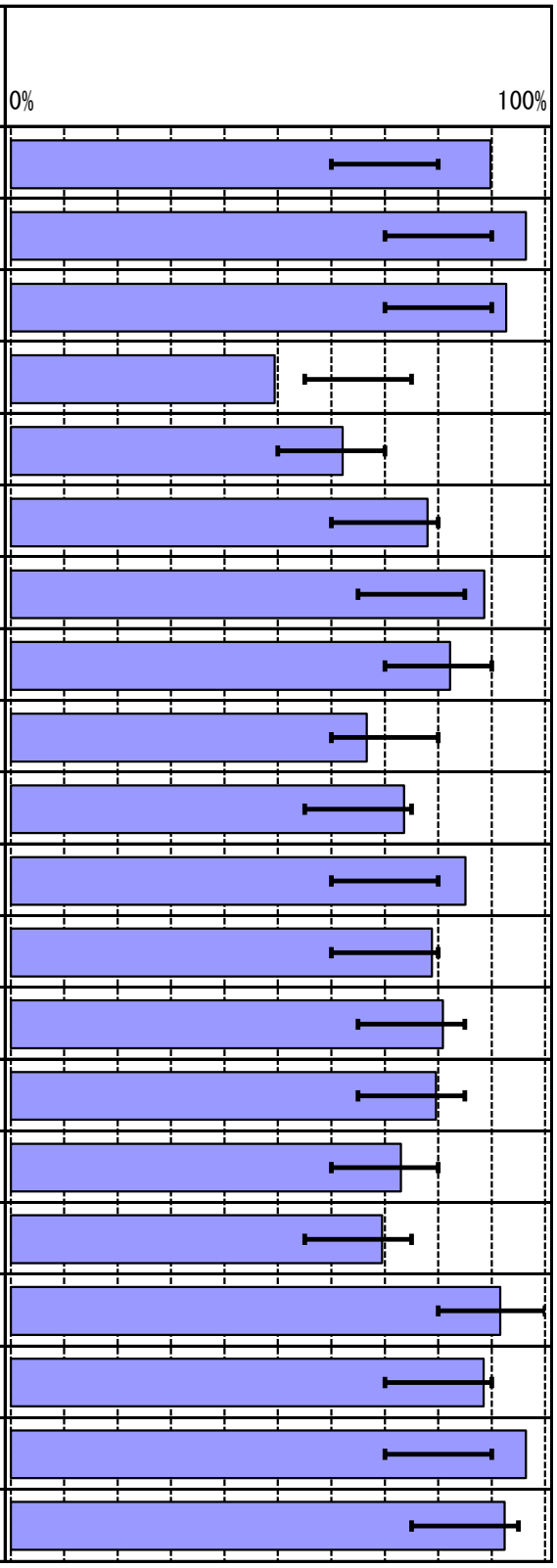
学年	区分	内容	評価規準	通し番号	観点		
					思考表現	技能	知識理解
第４学年	Ｂ	(2)イ	・季節によってサクラの成長の仕方に違いがあることを理解している。	(1			○
		(2)イ	・ヘチマの越冬の仕方を理解している。	(2			○
	Ａ物質・エネルギー	(2)ア	・金属の温度による体積の変化について実験の結果を基に考察し，表現している。	(3	○		
		(2)ア	・金属，水及び空気の温度による体積の変化の違いを理解している。	(4			○
		(2)ウ	・沸騰した水の中から出てきた泡は水が変化したものであることを考察し，表現している。	(5	○		
		(2)ウ	・水蒸気の存在について，理解している。	(6			○
		(2)イ	・水を安全に熱するための技能を身に付けている。	(7		○	
		(2)イ	・水の温まり方について，実験の結果を基に考察し，表現している。	(8	○		
		(1)ア	・閉じ込めた空気を圧したときの体積の変化や手ごたえの大きさについて考え，表現している。	(9	○		
		(1)ア	・閉じ込めた空気の性質を，日常生活に関連させて考え，表現している。	(10	○		
第５学年	Ｂ生命・地球	(4)ア	・気象情報と雲の動きを関連させて考え，表現している。	(11	○		
		(4)イ	・数日間の気象情報を基に，日本の天気の変化について考え，表現している。	(12	○		
		(1)エ	・顕微鏡を適切に操作する技能を身に付けている。	(13		○	
		(2)ア	・メダカの雌雄には体の形状の違いがあることを理解している。	(14			○
		(2)ア	・メダカの受精卵について，理解している。	(15			○
		(1)ア (2)ア	・メダカとインゲンマメの成長に関する共通点を見いだし，表現している。	(16	○		
		(4)ア	・方位磁針を適切に操作する技能を身に付けている。	(17		○	
		(1)ウ	・植物の成長の条件を捉えるための観察や実験を計画し，表現している。	(18	○		
		(4)イ	・台風の特徴について理解している。	(19			○
		(4)イ	・気象情報を活用して，天気の変化について理解している。	(20			○

・第４学年の区分欄のＢは「生命・地球」を示している。

小学校　５年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　80.8%

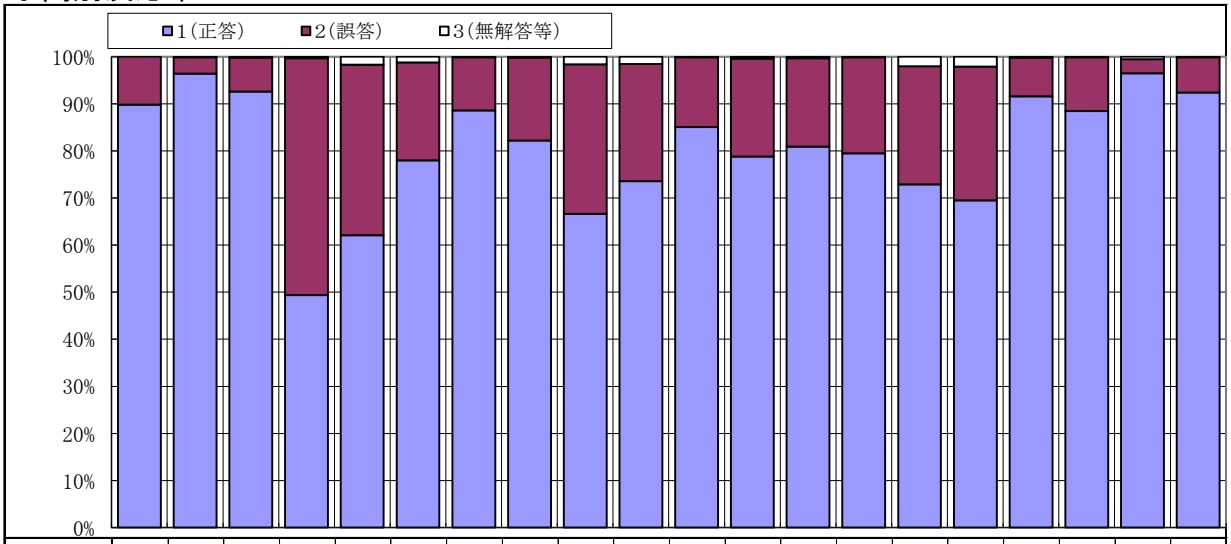
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	季節ごとのサクラの成長の違い	89.8	70.0
（2	ヘチマの越冬の仕方	96.4	80.0
（3	温度による金属の体積変化	92.7	80.0
（4	温度による金属，水及び空気の体積変化の違い	49.4	65.0
（5	沸騰による水の変化	62.1	60.0
（6	見えない水蒸気の存在	78.0	70.0
（7	水を加熱するときの留意点	88.6	75.0
（8	水の温まり方	82.2	80.0
（9	閉じ込めた空気の体積と圧し返す力	66.6	70.0
（１０	閉じ込めた空気の性質の利用	73.6	65.0
（１１	気象情報を基にした天気の変化	85.1	70.0
（１２	雲の動きと天気の変化	78.8	70.0
（１３	顕微鏡の使い方	80.9	75.0
（１４	メダカの雌雄の見分け方	79.6	75.0
（１５	メダカの受精	73.0	70.0
（１６	メダカとインゲンマメの成長	69.5	65.0
（１７	方位磁針の使い方	91.6	90.0
（１８	インゲンマメの成長に必要な条件を調べる実験計画	88.5	80.0
（１９	気象情報と台風	96.4	80.0
（２０	台風による天気の変化	92.4	85.0



※⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	89.8	96.4	92.7	49.4	62.1	78.0	88.6	82.2	66.6	73.6	85.1	78.8	80.9	79.6	73.0	69.5	91.6	88.5	96.4	92.4
2 (誤答)	10.2	3.5	7.2	50.3	36.2	20.8	11.3	17.6	31.7	24.9	14.8	20.8	18.8	20.4	25.1	28.4	8.2	11.4	3.0	7.5
3 (無解答等)	0.0	0.1	0.2	0.3	1.7	1.2	0.1	0.2	1.6	1.5	0.1	0.4	0.3	0.1	2.0	2.1	0.2	0.1	0.5	0.1

小問別通過率度数分布表（197校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	36	102	59	5	12	19	29	21	10	14	20	26	17	15	20	15	67	30	89	53	
90%～100%	77	83	77	3	3	25	68	51	11	19	40	29	38	23	25	35	80	64	91	89	17
80%～90%	64	11	53	10	26	59	78	70	36	48	95	54	57	68	39	39	35	75	14	51	102
70%～80%	15	1	4	17	44	41	15	33	37	49	31	46	49	51	38	27	14	19	3	3	68
60%～70%	1		4	32	48	32	4	15	45	42	9	25	22	28	33	20		5		1	10
50%～60%	3			29	33	16	3	5	29	17	1	9	6	8	27	34		2			
40%～50%				37	6	4			14	4		4	5	2	7	10		1			
30%～40%				35	7	1		1	13	3		1		1	3	11					
20%～30%				18	10							2			2	6					
10%～20%				9	7								1		1						
0%～10%	1			2	1				2	1		1	1	1	2			1			

小学校５年　理科　調査結果の考察

１　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			内容区分別		計
	科学的な思考・表現	技　能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
＋10％ より高い	2	1	3	2	4	6
±10％ の範囲内	7	2	4	5	8	１３
－10％ より低い	0	0	1	1	0	1
計	9	3	8	8	１２	２０

２　考察

(1) 全体について

20問中19問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①類似問題は、11問中６問で通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。特に、通し番号(1「季節ごとのサクラの成長の違い」、(2「ヘチマの越冬の仕方」、(11「気象情報を基にした天気の変化」に関する設問の通過率は、昨年度と比較し大きく上昇した。

②観点が「知識・理解」の設問は、通過率の平均が昨年度よりも 6.9 ポイント上昇した81.9であり、指導の改善が図られている。

(3) 課題

①通し番号(4「温度による金属、水及び空気の体積変化の違い」については、他の設問に比べて通過率が低く、観察、実験から得られた結果を基にした事象の理解に課題が見られる。

②通し番号(9「閉じ込めた空気の体積と圧し返す力」については、設定通過率を下回っており、実験の結果からどのようなことが考えられるかを表現できるようにするための指導の充実を図る必要がある。

３　今後の指導

複数の観察、実験から得た結果や既習の内容等を基に考察することができるよう、指導の手立てを工夫をする。

・観察、実験の結果を既習の内容や生活経験と関連付けて、多面的に考える場を位置付けるなど、単元計画の工夫改善を図る。
・通し番号(4については、例えば、金属、水及び空気の性質について比較する場を設定し、状態の変化による体積の変化について、図や絵を用いて表現させるなど、比較して考えさせたり、説明させたりする活動の充実を図ることが考えられる。

[参考　通し番号(4]

みささきさんは，温度による金ぞくの体積の変わり方について，温度による空気や水の体積の変わり方と比べてまとめました。金ぞく，空気，水の温度による体積の変わり方について正しくまとめたものを，次の**ア**～**エ**から１つ選んで，［　　］の中に記号を書きなさい。

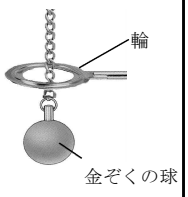
ア　温度による金ぞくの体積の変わり方は，水よりも大きく，空気よりも小さい。

イ　温度による金ぞくの体積の変わり方は，空気や水と比べて最も大きい。

ウ　温度による金ぞくの体積の変わり方は，空気や水と比べてもっとも小さい。

エ　温度による金ぞくの体積の変わり方は，空気や水と同じ。

図1



児童の多様な考えを生かした学習の充実を図る。

・単元の計画を立てる際には、必要に応じて複数時間で学習過程を構成するなど、時間の配分を工夫し、自ら問題を見いだし、追究させる時間を十分に確保する。
・子どもの多様な考えを見取り、子ども同士の学び合いを通して問題解決していく学びを展開する。
・通し番号(9「閉じ込めた空気の体積と圧し返す力」については、予想や仮説に照らし合わせて、発想した解決の方法の妥当性を検討させたり、実験の結果を予想させたりする場を設定し、見通しをもって学習活動に取り組めるようにする。
・通し番号 (15「メダカの受精」、(16「メダカとインゲンマメの成長」 については、着目するポイントを明確にした観察の計画を立て、継続的に観察が行われるようにする。また、卵と植物の成長を関係付けて考えさせるなど、理科の見方・考え方を働かせる場面を意図的・計画的に設定することが必要である。

令和元年度秋田県学習状況調査　小学校第６学年　理科　評価規準と評価の観点

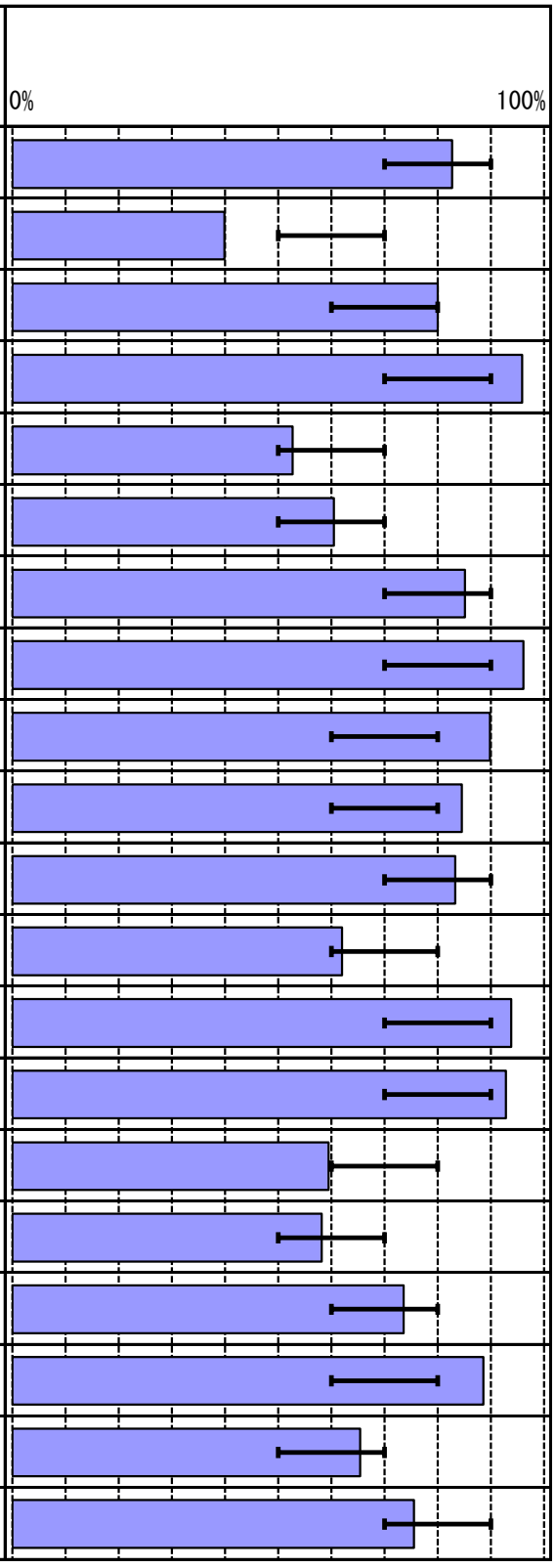
学年	区分	内容	評価規準	通し番号	観点		
					思考表現	技能	知識理解
第５学年	A 物質・エネルギー	(3)ア	・電流の流れる向きと電磁石の極の関係について理解している。	(1			○
		(3)イ	・電磁石の強さを調べる実験方法について，変えない条件を基に考え，表現している。	(2	○		
		(1)イ	・実験の結果から，一定量の物を溶かすための水の温度や水の量について考え，表現している。	(5	○		
		(1)イ	・水溶液に溶けている物を取り出す方法を理解している。	(6			○
		(2)ア	・ふりこの１往復する時間について，変える条件を制御した実験の方法を理解している。	(9			○
		(2)ア	・実験の結果から，ふりこが１往復する時間とその条件を関係付けて考察し，表現している。	(10	○		
	B 生命・地球	(3)ア	・流れる水の量と地面の様子の変化の関係について考察し，表現している。	(3	○		
		(2)ウ	・子宮内の羊水について理解している。	(7			○
		(2)ウ	・へその緒の働きについて理解している。	(8			○
		(1)エ	・顕微鏡を適切に操作する技能を身に付けている。	(11		○	
第６学年	A	(1)ア	・気体検知管を適切に使う技能を身に付けている。	(12		○	
		(1)ア	・物が燃えるときの空気の変化について，グラフを基に考え，表現している。	(13	○		
	B 生命・地球	(3)イ	・食物連鎖の観点から，身近な生物どうしの関わりを考え，表現している。	(4	○		
		(1)イ	・消化液について理解している。	(14			○
		(1)イ エ	・小腸の働きと体内における位置を理解している。	(15			○
		(1)ウ	・血液が心臓の働きにより体内を巡り，酸素を運んでいることを理解している。	(16			○
		(2)ア	・葉の働きを調べる実験において，適切に条件を設定する技能を身に付けている。	(17		○	
		(2)ア	・実験の結果から，植物がでんぷんをつくるためには日光が必要であることを考察し，表現している。	(18	○		
		(5)ア	・月の見える形について考え，表現している。	(19	○		
		(5)ア	・月の見える形について，月と太陽の位置関係のモデル実験を基に考え，表現している。	(20	○		

・第６学年の区分欄のＡは「物質・エネルギー」を示している。

小学校　６年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　76.0%

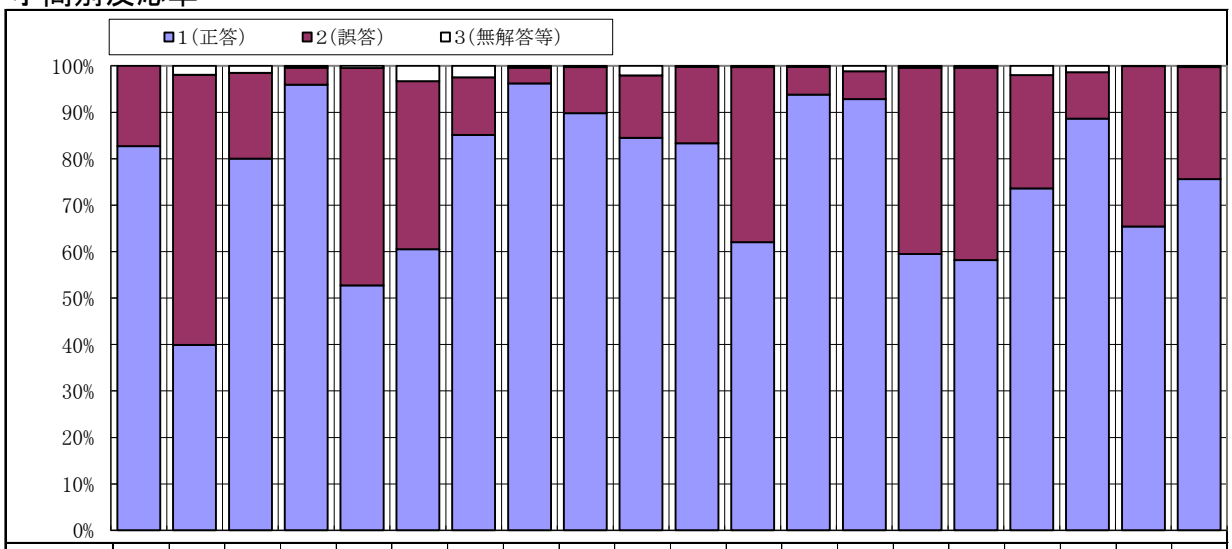
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	電流の向きと電磁石の極の関係	82.7	80.0
（2	電磁石の強さを調べる実験の条件制御	39.9	60.0
（3	流れる水の量と水の働きの関係	80.0	70.0
（4	食物連鎖の仕組み	95.9	80.0
（5	一定量の物を溶かすための水の温度，水の量	52.7	60.0
（6	水溶液に溶けている物を取り出す方法	60.5	60.0
（7	子宮内の羊水の働き	85.1	80.0
（8	へその緒の働き	96.1	80.0
（9	予想を確かめるための，振り子の実験方法	89.8	70.0
（１０	振り子の１往復する時間と関係する条件	84.5	70.0
（１１	顕微鏡の使い方	83.3	80.0
（１２	気体検知管の使い方	62.0	70.0
（１３	物が燃えるときの空気の変化	93.8	80.0
（１４	消化液の働き	92.8	80.0
（１５	小腸の働きと体内の位置	59.5	70.0
（１６	酸素を多く含む血液	58.2	60.0
（１７	でんぷんの有無を調べる実験の条件制御	73.6	70.0
（１８	葉ででんぷんをつくるために必要なもの	88.6	70.0
（１９	月の見える位置の移り変わり	65.4	60.0
（２０	月の形の見え方	75.5	80.0



※⊢⊣は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	82.7	39.9	80.0	95.9	52.7	60.5	85.1	96.1	89.8	84.5	83.3	62.0	93.8	92.8	59.5	58.2	73.6	88.6	65.4	75.5
2 (誤答)	17.3	58.2	18.5	3.7	46.8	36.2	12.4	3.4	9.9	13.4	16.5	37.7	6.0	6.0	40.1	41.4	24.4	10.0	34.5	24.1
3 (無解答等)	0.0	1.9	1.5	0.4	0.5	3.3	2.5	0.4	0.3	2.1	0.2	0.3	0.2	1.2	0.4	0.4	2.0	1.4	0.1	0.3

小問別通過率度数分布表（197校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	20	3	16	81	2	7	34	94	25	30	16	6	58	65	7	3	14	49	1	12	
90%～100%	43	5	41	94		12	59	86	88	55	44	10	102	86	3	5	23	63	6	25	4
80%～90%	71	11	69	21	4	25	63	12	66	62	72	29	33	32	38	16	38	61	28	43	62
70%～80%	35	9	38		17	37	22	2	15	37	42	34	3	10	23	26	48	14	40	57	95
60%～70%	19	14	19		41	34	10		3	8	13	38	1	2	40	35	40	5	51	38	33
50%～60%	6	27	9		61	39	4	1		1	4	38		1	44	49	24	2	47	17	1
40%～50%	2	20	4	1	34	10	4	2		1	5	20		1	18	41	5	2	18	4	2
30%～40%		41			31	18	1			1		14			18	16	4		3		
20%～30%		44			6	9				1	1	4			3	5	1	1	2	1	
10%～20%		19	1		1	5						3			2						
0%～10%	1	4				1				1		1			1	1			1		

小学校６年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ／ 設定通過率の	観点別			内容区分別		計
	科学的な思考・表現	技能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
＋10％ より高い	5	0	3	3	5	8
±10％ の範囲内	3	3	4	4	6	１０
－10％ より低い	1	0	1	1	1	2
計	9	3	8	8	１２	２０

2　考察

(1) 全体について

20問中18問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①類似問題については、９問中７問で通過率が上昇し、指導の改善が図られている。特に、前年度の課題であった「酸素を多く含む血液」に関する設問の通過率は39.5ポイント上昇し、58.2であった。また、「顕微鏡の使い方」は小学校５年時の通過率より 7.2 ポイント上昇し、83.3であった。

②「生命・地球」の内容に関する設問は、通過率の平均が79.5であり、「食物連鎖の仕組み」「子宮内の羊水の働き」「へその緒の働き」「葉でできでんぷんをつくるために必要なもの」について、学習内容の定着が図られている。

(3) 課題

①通し番号(2「電磁石の強さを調べる実験の条件制御」の通過率が設定通過率を大きく下回った。解決の方法を発想する際に、変化させる要因と変化させない要因を区別し、計画的に観察、実験を行うことについて、指導の改善を図る必要がある。

②通し番号（15「小腸の働きと体内の位置」のように、観察、実験が難しい内容の設問について通過率が低い。身に付けた知識を活用して説明させるなどの場面を設定し、実感を伴った理解を図る必要がある。

3　今後の指導

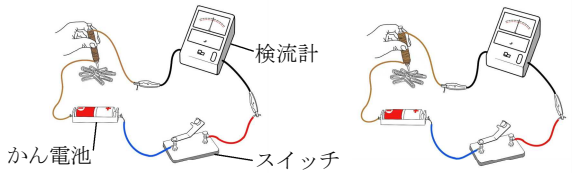
解決したい問題について、解決の方法を発想する際に、変化させる要因と変化させない要因を区別しながら計画的に観察、実験を行う活動の充実を図る。

・予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、検証計画を立案させる。
・何について観察、実験するのかを明確に提示し、変化させる要因と変化させない要因について、根拠を明らかにして説明させる。
・通し番号(2については、電流の大きさや導線の長さ、コイルの巻数などの条件を制御しながら、電磁石の強さを変化させる要因を調べさせる。

［参考 通し番号（2］

良子さんは，導線のまき数が100回のコイルと200回のコイルを，それぞれに必要な長さの導線を使ってつくり，図３のA，Bのように，同じかん電池を使ってまき数のちがいによる電磁石の強さを調べようとしました。すると，先生が「このままではAとBの結果を比べることはできません。導線のまき数以外の条件は同じにしましょう。」と言いました。このとき，AとBで同じにしなければならない条件は何ですか。 □ の中に書きなさい。

図３　A　まき数100回　　B　まき数200回



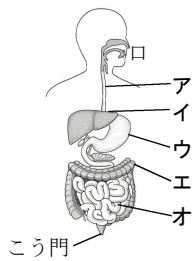
直接体験が困難なＢ区分の内容については、実感を伴った理解が図られるよう学習活動を工夫する。

・直接観察することが困難なものについては、効果的な映像資料や模型等を複数用意し、児童一人一人に調べさせる学習活動が考えられる。
・通し番号（15 については、例えば、食べ物の消化、吸収、排出までの流れを児童に説明させる中で、臓器の名称や大きさ、位置等を併せて確認させるなどの学習活動が考えられる。また、例えば、「胃は、自分の体であればどのあたりにあるか」と問い掛けるなど、実感を伴った理解ができるような手立ての工夫が必要である。

［参考 通し番号（15］

食べ物が歯などで細かくされたり，からだに吸収されやすい養分にかえられたりすることを消化という。消化された食べ物の養分は，主に（ ㋐ ）で吸収され，血液によって肝臓に運ばれ，その一部が一時的にたくわえられる。㋐ に当てはまる臓器は，図１のア～オのどれですか。１つ選んで，□の中に記号を書きなさい。また，臓器の名前を書きなさい。

図１



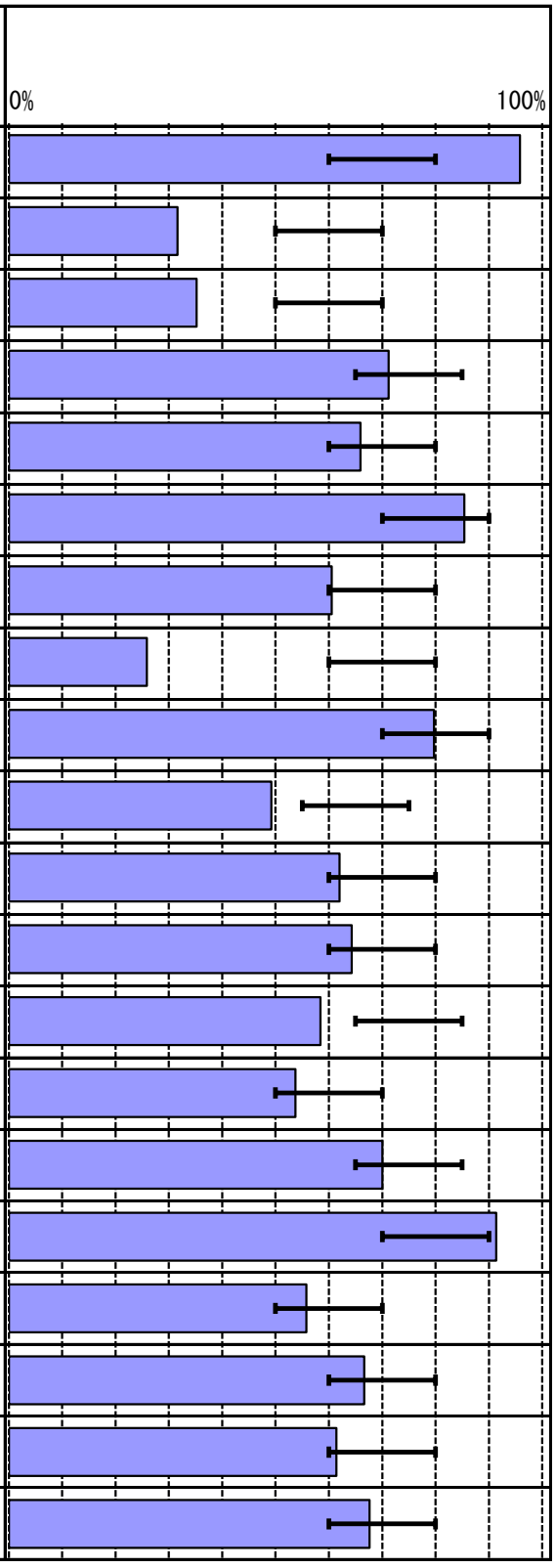
令和元年度秋田県学習状況調査　中学校第１学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	領域等	内容	評価規準	通し番号	観点		
					思考表現	技能	知識理解
小学校第６学年	A 物質・エネルギー	(2)ア	・水溶液の性質を安全に調べるための技能を身に付けている。	(1		○	
		(2)アイ	・実験の結果を基に，水溶液に溶けている物と水溶液の性質について考察している。	(2	○		
		(3)イ	・てこを傾ける働きについて，予想を確かめるための条件制御を考え，表現している。	(3	○		
		(3)ウ	・てこを利用した道具の支点，力点，作用点の位置関係を理解している。	(4			○
		(4)ア	・蓄電について理解している。	(5			○
		(4)ア	・コンデンサーに同じ量の電気をためるための条件制御の方法を身に付けている。	(6		○	
		(4)アイ	・実験の結果から，発光ダイオードでは電気が効率よく光に変換されていることを見いだし，表現している。	(7	○		
	B 地球・生命	(4)ア	・泥岩について理解している。	(8			○
		(4)イ	・地層の構成物の特徴から，流れる水の働きによってできた層であることを見いだし，表現している。	(9	○		
		(2)ア	・葉の働きを調べる実験において，適切に条件を設定する技能を身に付けている。	(15		○	
中学校第１学年	化学的領域	(2)イ（ア）	・質量パーセント濃度と溶液の質量から，溶媒の質量を求める方法を理解している。	(10			○
		(2)ア（ア）	・ガスバーナーを正しく操作する技能を身に付けている。	(11		○	
		(2)ア（イ）	・酸素と二酸化炭素を発生させる方法を身に付けている。	(12		○	
		(2)ア（イ）	・酸素と二酸化炭素の性質について，実験の結果を課題と正対させて考察し，表現している。	(13	○		
		(2)ア（ア）	・物質の密度を求める方法を理解している。	(14			○
	生物的領域	(1)イ（イ）	・光合成には光が必要であることを見いだし，表現している。	(16	○		
		(1)イ（イ）	・双子葉類の道管について理解している。	(17			○
		(1)イ（イ）	・蒸散は，葉以外の部分でも行われることを確かめる実験の方法を考え，表現している。	(18	○		
		(1)ウ（ア）	・種子をつくる植物の仲間について理解している。	(19			○
		(1)ウ（ア）	・単子葉類と双子葉類における葉脈と根の違いについて理解している。	(20			○

中学校　１年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　62.6%

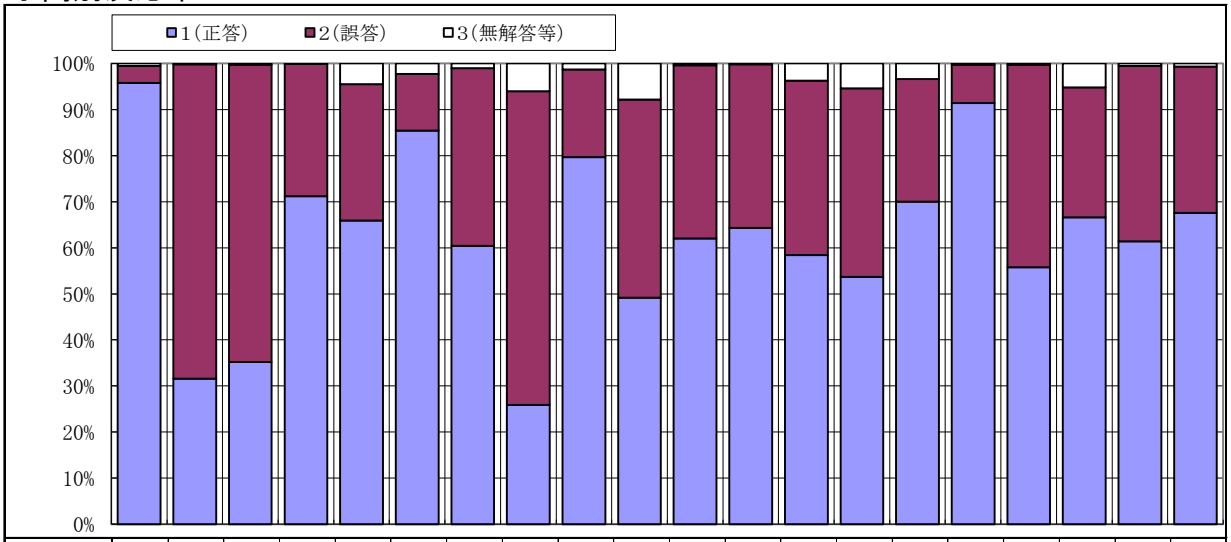
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	水溶液の性質を安全に調べるための技能	95.8	70.0
（2	水溶液の性質	31.6	60.0
（3	てこを傾ける働きを調べるための実験計画	35.2	60.0
（4	てこを利用した道具	71.2	75.0
（5	電気を蓄える働き	65.9	70.0
（6	同じ量の電気をためるための条件制御	85.4	80.0
（7	電気の利用	60.5	70.0
（8	堆積岩の種類	25.9	70.0
（9	地層のでき方	79.7	80.0
（１０	質量パーセント濃度を利用した溶媒の質量の求め方	49.2	65.0
（１１	ガスバーナーの使い方	62.0	70.0
（１２	酸素と二酸化炭素の発生方法	64.3	70.0
（１３	酸素と二酸化炭素の性質	58.4	75.0
（１４	密度の求め方	53.7	60.0
（１５	でんぷんの有無を調べる実験の条件制御	70.0	75.0
（１６	光合成に必要な条件	91.4	80.0
（１７	道管の位置	55.8	60.0
（１８	蒸散を調べる方法	66.6	70.0
（１９	種子をつくる植物	61.4	70.0
（２０	単子葉類と双子葉類の葉脈と根の違い	67.6	70.0



※⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	95.8	31.6	35.2	71.2	65.9	85.4	60.5	25.9	79.7	49.2	62.0	64.3	58.4	53.7	70.0	91.4	55.8	66.6	61.4	67.6
2 (誤答)	3.7	68.2	64.4	28.7	29.6	12.3	38.6	68.1	19.0	43.0	37.6	35.5	37.9	40.9	26.6	8.3	44.0	28.2	38.1	31.7
3 (無解答等)	0.5	0.2	0.3	0.1	4.5	2.3	1.0	6.0	1.3	7.8	0.4	0.2	3.7	5.4	3.4	0.3	0.3	5.2	0.5	0.7

小問別通過率度数分布表（116校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	42	1	1	4	3	12	3	2	7	1		3	2	1	3	11	1	5	1	3	
90%～100%	64			4	5	50	4		20	1		4	3		4	68	2	5	1	3	
80%～90%	7		1	24	18	28	12		44	4	5	13	11	7	19	32	6	9	5	17	4
70%～80%	1	1		37	23	13	19		29	9	22	19	17	11	42	3	11	31	14	25	15
60%～70%	1	2	3	28	35	8	30	4	13	15	41	40	29	22	22	1	27	29	43	43	60
50%～60%		7	6	16	19	5	24	2	3	27	36	20	23	30	20		21	28	35	14	30
40%～50%		13	20		9		13	11		23	9	14	13	24	5		25	7	11	10	6
30%～40%		33	45	2	3		6	20		22	1		10	15			12	1	3		1
20%～30%		35	30	1	1		3	25		8			5	3			9		1		
10%～20%		20	6				2	41		3		2		2					1		
0%～10%	1	4	4					11		3	2	1	3	1	1	1	2	1	1	1	

中学校１年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			内容区分別・領域別				計
	科学的な思考・表現	技能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	化学	生物	
＋10％ より高い	1	1	0	1	0	0	1	2
±10％ の範囲内	3	4	6	4	2	3	4	１３
－10％ より低い	3	0	2	2	1	2	0	5
計	7	5	8	7	3	5	5	２０

2　考察

(1) 全体について

①20問中15問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②学習内容が小学校６年の設問は通過率の平均が62.1、中学校１年の設問は通過率の平均が63.0であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①類似問題については、10問中６問で通過率が上昇し、指導の改善が図られている。特に昨年度の課題であった「密度の求め方」に関する設問の通過率は18.4ポイント上昇し、指導の改善が図られている。

②観点が「技能」の設問については、５問全てが設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、定着が図られている。

(3) 課題

①通し番号(2「水溶液の性質」のように、実験の結果から、水溶液に溶けている物と水溶液の性質を考察することについて、指導の手立てを工夫する必要がある。

②通し番号(13 「酸素と二酸化炭素の性質」のように、実験の結果を課題と正対させて考察し表現することについて、指導の手立てを工夫する必要がある。

3　今後の指導

観察、実験の結果を基に、生徒が関わり合いながら考察を深める手立てを工夫する。

・予想や仮説が確かめられた場合には、どのような結果が得られるかを見通す場面を設定し、予想や仮説に照らして考察させることを大切にする。
・差異点や共通点等の視点を明確にして考察させる。例えば、通し番号(2の設問の内容については、生徒同士が実験の結果における差異点や共通点を、水溶液の性質と関連させて話し合い、水溶液の種類を推察する活動が考えられる。

[参考　通し番号(2]

表はこの実験の結果で，**A**～**D**はそれぞれ，炭酸水，うすい塩酸，アンモニア水，石灰水のいずれかです。

表

水溶液	青色のリトマス紙の色の変化	赤色のリトマス紙の色の変化	蒸発皿に入れて加熱する
食塩水	変化しない	変化しない	白いものが残った
A	赤くなった	変化しない	何も残らなかった
B	変化しない	青くなった	白いものが残った
C	変化しない	青くなった	何も残らなかった
D	少し赤くなった	変化しない	何も残らなかった

(2) 広さんは，**C**について次のように説明しました。広さんの説明が正しくなるように，**X**，**Y**に当てはまる語句を，**X**は下の**ア**～**ウ**から，**Y**は下の**エ**～**カ**からそれぞれ１つずつ選んで，**記号**を書きなさい。また，**Z**には**水溶液の名称**を書きなさい。

＜広さんの説明＞

表から，**C**は（　**X**　）がとけていて，（　**Y**　）の水溶液であることがわかります。だから**C**は（　**Z**　）です。

ア　固体　　**イ**　液体　　**ウ**　気体
エ　酸性　　**オ**　中性　　**カ**　アルカリ性

課題に正対した結論を科学的な根拠をもって説明する活動を充実させる。

・観察、実験の計画を立案する際には、課題に対して、既習の内容や生活経験を基に予想や仮説を立てさせる。
・観察、実験の方法の妥当性や得られる結果の見通しなどを生徒同士で検討したり、発表したりするなどの学習活動が考えられる。
・根拠を科学的なものにできるように、観察、実験の結果を分析し解釈させる活動を取り入れる際には、既習の科学的な知識を関連させることが大切である。例えば、通し番号(13については、結果において、試験管**A**と試験管**B**で水面の位置が異なったのは集めた気体の水への溶けやすさが異なることや、試験管**A**の水面の位置が上昇したのは試験管内の気体が水に溶けたから起こる現象であることを、想起させることなどが考えられる。

[参考　通し番号(13]

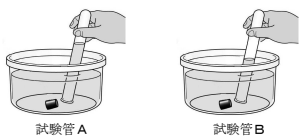
守さんは，二酸化炭素と酸素の性質のちがいについて課題を設定し，予想を立てて次の実験を行いました。

【課題】二酸化炭素と酸素では，どちらが水にとけやすいのだろうか。

【予想】二酸化炭素の方が水にとけやすいと思う。

【結果】水そうの中でゴム栓を取って，しばらくすると，図３のように，試験管**A**内の水面の位置は上昇したが，試験管**B**内の水面の位置は変化がなかった。

図3



(2) 実験の結果から，守さんの**予想**は「**正しい**」「**正しくない**」のどちらといえますか，書きなさい。また，そのように判断した**理由**を，試験管**A**内と，試験管**B**内の水面の位置に着目して書きなさい。

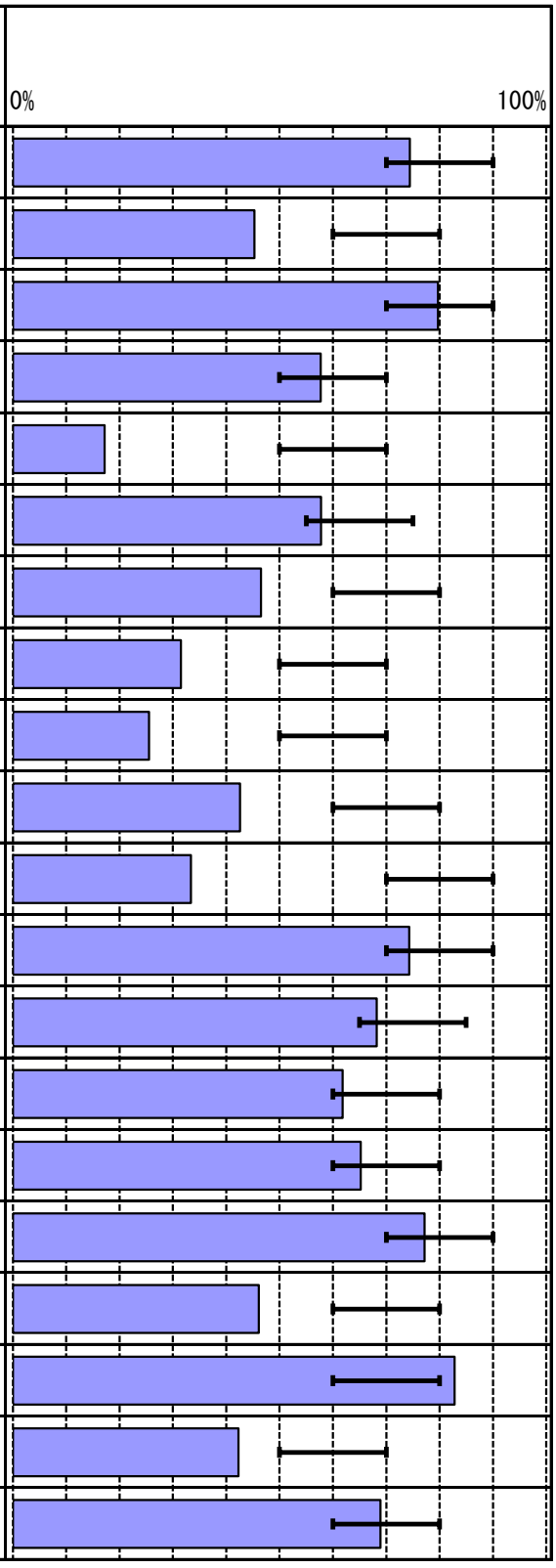
令和元年度秋田県学習状況調査　中学校第２学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点		
					思考表現	技能	知識理解
第１学年	地学的領域	(2)イ（ア）	・示相化石になる生物の条件を理解している。	(1			○
		(2)イ（ア）	・地形図と柱状図を関連させて地層が傾いている方向を考察し，表現している。	(2	○		
		(2)ア（ア）	・火山灰を観察する際の基本操作を身に付けている。	(3		○	
		(2)ア（ア）	・火山の形とマグマの粘性，有色鉱物の割合を関連付けながら考察し，表現している。	(4	○		
		(2)ア（ア）	・火山岩の特徴や成因について理解している。	(5			○
	物理的領域	(2)ア（ア）	・物質の密度を求める方法を理解している。	(6			○
		(1)イ（イ）	・圧力は力の大きさと面積に関係があることを理解している。	(7			○
		(1)イ（イ）	・浮力について，物体の体積と関係付けながら考察し，表現している。	(8	○		
		(1)ア（ア）	・光の反射の道筋を作図する技能を身に付けている。	(9		○	
		(1)ア（ア）	・光の屈折に着目し，水面での光の進み方を調べる方法を構想している。	(10	○		
第２学年	化学的領域	(4)ア（イ）	・有機物に共通する原子について理解している。	(11			○
		(4)ア（ア）	・気体を集めるときの技能を身に付けている。	(12		○	
		(4)ア（ア）	・発生した気体の性質を基に，気体を同定する方法を理解している。	(13			○
		(4)イ（ア）	・発生した物質が水であることを確かめる方法を理解している。	(14			○
		(4)イ（ア）	・気体が化合するときの化学変化を，モデルを使って表現している。	(15	○		
	生物的領域	(3)イ（ア）	・血管を流れている動脈血について理解している。	(16			○
		(3)イ（ア）	・肺のつくりについて，表面積とガス交換の効率を関連させて考察し，表現している。	(17	○		
		(3)イ（ア）	・血液の流れと弁の働きを関連させて考察し,表現している。	(18	○		
		(3)ウ（ア）	・変温動物の体温と活動の様子について関連させて推論し，表現している。	(19	○		
		(3)ウ（ア）	・変温動物の仲間について理解している。	(20			○

中学校　２年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　54.9%

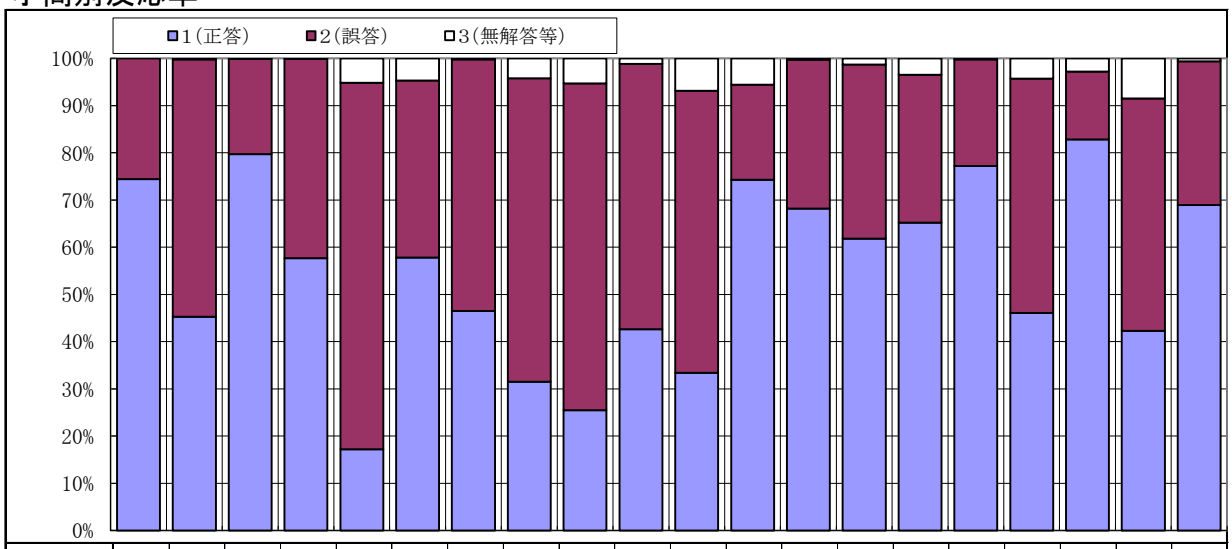
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	示相化石から推定される生息環境	74.4	80.0
（2	地層が傾いている方向	45.3	70.0
（3	火山灰の観察方法	79.7	80.0
（4	火山の形，マグマの粘性，有色鉱物の割合の関係	57.7	60.0
（5	火山岩のつくりとでき方	17.2	60.0
（6	密度の求め方	57.8	65.0
（7	圧力の大きさの違い	46.5	70.0
（8	物質の体積と浮力の関係	31.5	60.0
（9	反射した光の進み方（作図）	25.5	60.0
（１０	光の屈折	42.6	70.0
（１１	有機物に含まれる原子とその記号	33.4	80.0
（１２	発生した気体を捕集するときの留意点	74.3	80.0
（１３	気体の性質の調べ方	68.2	75.0
（１４	水の有無の調べ方	61.8	70.0
（１５	水素と酸素の化合についてモデルを用いた表し方	65.2	70.0
（１６	動脈血が流れる血管	77.2	80.0
（１７	肺のつくりと働き	46.1	70.0
（１８	静脈にある弁の働き	82.8	70.0
（１９	気温の変化による変温動物の行動	42.3	60.0
（２０	変温動物の仲間	68.9	70.0



※⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	74.4	45.3	79.7	57.7	17.2	57.8	46.5	31.5	25.5	42.6	33.4	74.3	68.2	61.8	65.2	77.2	46.1	82.8	42.3	68.9
2 （誤答）	25.6	54.5	20.2	42.2	77.6	37.5	53.3	64.3	69.3	56.2	59.7	20.1	31.5	36.9	31.3	22.6	49.6	14.4	49.2	30.5
3 （無解答等）	0.0	0.2	0.1	0.1	5.2	4.7	0.2	4.2	5.3	1.2	6.9	5.6	0.3	1.3	3.5	0.2	4.3	2.8	8.5	0.6

小問別通過率度数分布表（116校）

は県平均通過率

	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	3	2	13	2		1			1	2	1	7	3	2	4	7	2	7	3	3	
90%～100%	6		29	2								7	2	1	4	10		23	2	4	
80%～90%	32	1	37	5		7	1	1		1		34	16	7	12	43	9	57	9	20	
70%～80%	45	3	19	18	1	22	1	2	1	1	2	36	31	25	32	31	12	19	11	29	4
60%～70%	24	8	7	23	1	24	11	3	4	4	1	19	45	28	33	20	12	7	17	40	30
50%～60%	5	29	8	39	4	35	30	10	4	23	5	10	15	34	18	4	17	2	8	16	59
40%～50%		32	1	18	6	18	38	16	7	36	23	1	1	13	7		13		11	3	22
30%～40%		32	1	5	9	7	27	31	15	36	30	1	3	3	2		20		14		
20%～30%		7		3	26	1	6	34	38	10	37			1	1		19		23		
10%～20%		1			31			16	36	2	14				1		7		14		1
0%～10%	1	1	1	1	38	1	2	3	10	1	3	1		2	2	1	5	1	4	1	

中学校２年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			内容区分別・領域別				計
	科学的な思考・表現	技能	知識・理解	物理	化学	生物	地学	
＋10％ より高い	1	0	0	0	0	1	0	1
±10％ の範囲内	2	2	6	1	4	2	3	１０
－10％ より低い	5	1	3	4	1	2	2	9
計	8	3	9	5	5	5	5	２０

2　考察

(1) 全体について

①20問中９問が設定通過率の「－10％より低い」であり、学習内容の定着状況は十分とは言えない。

②第２学年の学習内容に関する設問の10問中７問が、設定通過率の「±10％の範囲内」又は「＋10％より高い」であり、第２学年の学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①類似問題は、７問中６問で通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。

②「火山灰の観察方法」や「発生した気体を捕集するときの留意点」などの観察、実験の技能に関する設問についての通過率は、他の観点に比べて高く、定着が図られている。

(3) 課題

①通し番号(5「火山岩のつくりとでき方」についての通過率が低い。観察の結果に加え、資料を活用した上で、視点をもって考察できるような手立ての工夫が必要である。また、既習の知識・技能を活用して問題解決を行うような学習活動を取り入れる必要がある。

②通し番号(9「反射した光の進み方（作図）」についての通過率が低い。生活経験を基に学習課題を設定し、結果について話し合ったり、見いだした規則性を他の事象に当てはめて説明したりする学習活動の工夫が必要である。

3　今後の指導

既習の知識・技能を活用して課題解決したり、関連付けて考察したりすることができるように指導の手立てを工夫する。

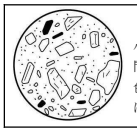
・観察では、何に着目させるかを明確にすることが大切である。その上で、資料提示の際には、ＩＣＴ機器等を利用したり、考察の際には共通点や相違点について視点を与えたりするなど、指導の手立てを工夫する。

・通し番号(5については、見いだした火成岩の組織の違いに対する新たな疑問を基に、学習課題を設定する。既習の溶解度と再結晶の学習を生かし、条件を変えて結晶を生成させる実験を行い、マグマの冷え方と関連付けて考察することができるよう、指導の手立てを工夫する。

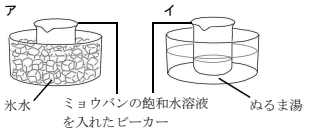
［参考　通し番号(5 ］

(3) 次の観察シートは，恵さんがＢの火山の地表にある岩石をルーペで観察し，記録したものです。このような岩石のつくりを何といいますか，**名称**を書きなさい。また，恵さんはマグマの冷え方のちがいによって岩石のつくりにちがいができると考え，熱湯でミョウバンの飽和水溶液をつくり，氷水とぬるま湯でそれぞれ冷やしました。この岩石のつくりと同じようなつくりの結晶ができるのは，**ア**，**イ**のどちらの実験ですか。

〔観察シート〕



形がわからないほど小さな鉱物の集まりの間に，比較的大きな黒色や白色の鉱物が散らばっている。



生活経験から問題を見いだし、観察、実験の結果から見いだした規則性を基に説明する活動を充実させる。

・授業の導入では、生活経験を想起する活動を行わせ、生徒の見いだした疑問を基に学習課題を設定する。

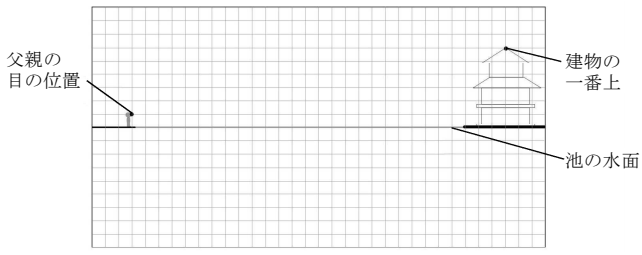
・既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想させる。

・通し番号(9については、例えば、平面鏡を使った光の反射の学習の後に、平面鏡を水面に置き換えて光の進み方について、グループで話し合う活動が考えられる。

・身の回りにある同じような現象について、導き出した規則性を当てはめて説明する活動を意図的に取り入れる。

［参考　通し番号(9 ］

(1) 〔疑問〕について，守さんは，建物のおよその高さと兄がスケッチした位置から建物までの距離を調べたところ，それぞれ図２のような位置関係にあることがわかりました。建物の一番上からの光が，水面で反射して兄の目に届くまでの光の道筋を作図しなさい。



4　結果と考察　(5)英語

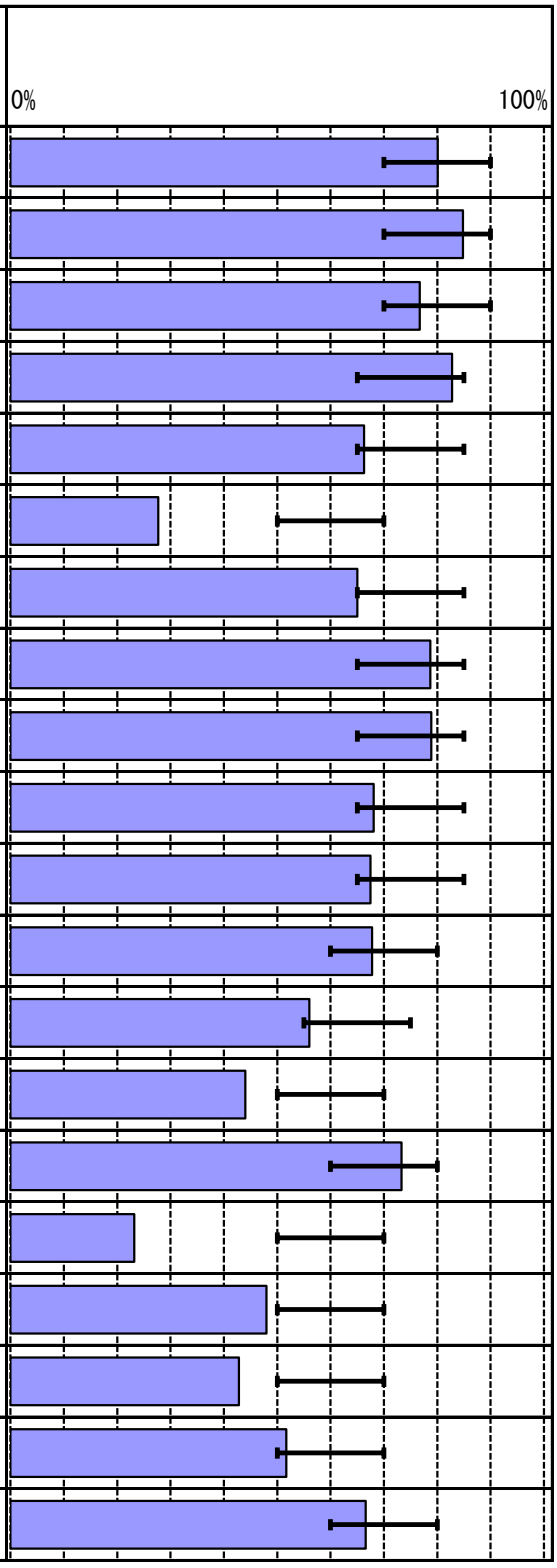
令和元年度秋田県学習状況調査　中学校第１学年　英語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準		通し番号	観点		
						表現	理解	知識・理解
第１学年	聞くこと	ア(ｲ)	[正確な聞き取り]	・短い英語の指示を聞いて，必要な情報を聞き取ることができる。	(1		○	
		ア(ｵ)	[適切な聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて，要点を適切に聞き取ることができる。	(2　(3		○	
		ア(ｲ)	[正確な聞き取り]	・短い会話を聞いて，情報を正確に聞き取ることができる。	(4		○	
		ア(ｳ)	[適切な聞き取り]	・話し手の問い掛けを聞いて，適切に応じることができる。	(5		○	
		ア(ｳ)	[適切な聞き取り]	・聞いて把握した内容について，適切に応じることができる。	(6		○	
	読むこと	ウ(ｳ)	[正確な読み取り]	・書かれた内容について，正確に読み取ることができる。	(7　(9		○	
		ウ(ｴ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について，大切な部分を読み取り，適切に応じることができる。	(8		○	
		ウ(ｳ)	[正確な読み取り]	・話の流れをつかみながら，文章を正確に読み取ることができる。	(10　(11		○	
	書くこと	エ(ｲ)	[言語についての知識・理解]	・正しい語法や文法を理解し，文の中で正確に用いることができる。	(12　(13			○
		エ(ｲ)	[正確な筆記]	・与えられた情報を基に，正しく英文を書くことができる。	(14	○		
		エ(ｵ)	[適切な筆記]	・自分のことについて，読み手に伝わるように適切に英文を書くことができる。	(15	○		
		エ(ｳ)	[適切な筆記]	・読み取った内容を基に，適切に英文を書くことができる。	(16	○		
		エ(ｲ)	[正確な筆記]	・与えられた語を用いて，会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。	(17　(18			○
		エ(ｲ)	[言語についての知識・理解]	・正しい語順を用いて，文を構成する知識を身に付けている。	(19　(20			○

中学校１年　英語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　62.5%

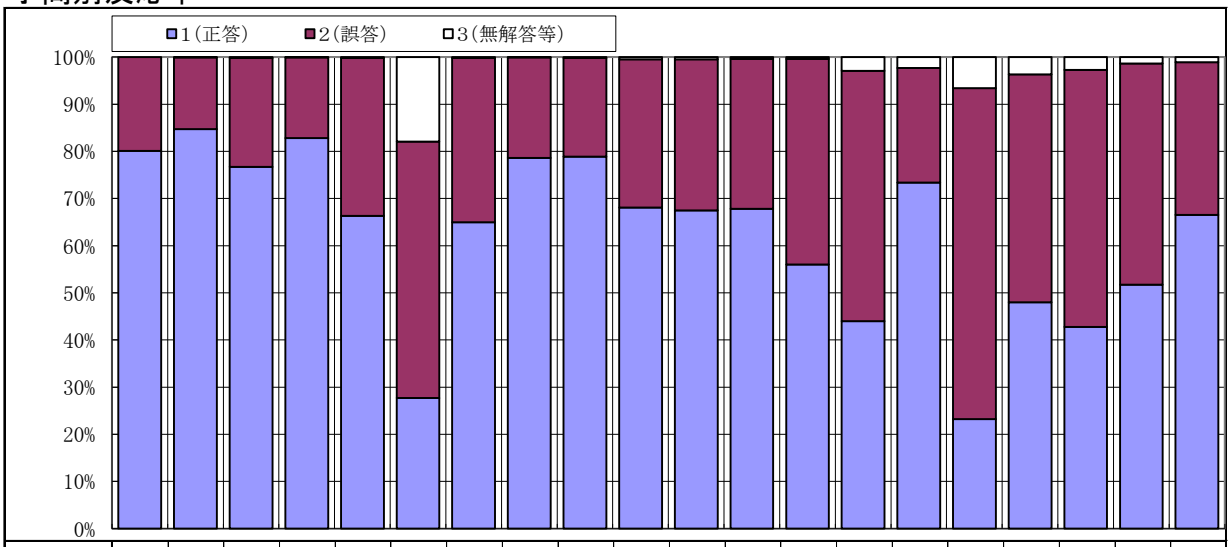
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（聞）短い英語の指示の聞き取り	80.1	80.0
（2	（聞）日曜日の行動についての聞き取り	84.8	80.0
（3	（聞）犬を飼っている人物についての聞き取り	76.7	80.0
（4	（聞）演奏する楽器についての聞き取り	82.8	75.0
（5	（聞）質問に対する適切な応答	66.3	75.0
（6	（聞）聞いた内容に対する適切な応答	27.7	60.0
（7	（読）昼食時の会話の読み取り	65.0	75.0
（8	（読）ホームページの内容の読み取りと適切な対応	78.7	75.0
（9	（読）アンケートについての会話の読み取り	78.9	75.0
（１０	（読）適切な会話の構成	68.1	75.0
（１１	（読）適切な会話の構成	67.5	75.0
（１２	（書）適切な一般動詞の選択	67.8	70.0
（１３	（書）適切な前置詞の選択	56.0	65.0
（１４	（書）与えられた情報に基づく英文の作成	44.0	60.0
（１５	（書）好きなもの（こと）についての英文の作成	73.3	70.0
（１６	（書）メール文の内容を踏まえた英文の作成	23.2	60.0
（１７	（書）与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成（be動詞の疑問文）	48.0	60.0
（１８	（書）与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成（三単現の否定文）	42.8	60.0
（１９	（書）疑問詞を用いた疑問文の構造	51.7	60.0
（２０	（書）be動詞の文の構造	66.6	70.0



※⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　英語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	80.1	84.8	76.7	82.8	66.3	27.7	65.0	78.7	78.9	68.1	67.5	67.8	56.0	44.0	73.3	23.2	48.0	42.8	51.7	66.6
2 (誤答)	19.9	15.2	23.1	17.1	33.5	54.4	34.9	21.3	20.9	31.4	32.0	31.8	43.6	53.1	24.3	70.2	48.3	54.5	46.9	32.4
3 (無解答等)	0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	17.9	0.2	0.1	0.2	0.5	0.5	0.4	0.4	2.9	2.3	6.6	3.7	2.7	1.4	1.1

小問別通過率度数分布表（116校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	1	6	1	4	1	1	3	4	4	2	4	2	2		6					3	
90%～100%	14	22	7	19	2		2	7	5	3	2	4	2	1	9		2		1	4	1
80%～90%	43	65	31	53	8	2	4	35	40	11	8	7	4	3	30		4	1	4	9	1
70%～80%	39	19	50	31	25		24	48	47	37	34	32	12	3	31	3	5	5	8	32	10
60%～70%	14	2	19	6	36	2	49	19	16	35	39	39	30	8	22	5	10	7	18	35	58
50%～60%	3		4	2	29	8	20	2	4	21	20	24	23	22	12	2	30	20	30	19	39
40%～50%		1			12	7	10	1		5	8	3	30	25	4	11	27	29	26	9	6
30%～40%		1	2			18	3			2		3	9	31		7	19	25	17	2	
20%～30%					1	45	1						2	17		28	14	22	5	1	1
10%～20%						27							1	3		35	2	3	4	1	
0%～10%	2		2	1	2	6					1	2	1	3	2	25	3	4	3	1	

中学校１年　英語　調査結果の考察

１　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			領域別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	1	１０	4	5	5	5	１５
－10％ より低い	2	1	2	1	0	4	5
計	3	１１	6	6	5	9	２０

２　考察

(1) 全体について

①20問中15問が設定通過率の「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②「書くこと」において、「－10％より低い」設問が９問中４問あり、課題が見られる。

(2) 成果

①「読むこと」において、全問が設定通過率の「±10％の範囲内」であり、情報などを正確に読み取ることの定着状況は、おおむね良好である。

②平成30年度調査において課題の見られた「英語による指示の聞き取り」に関する設問の通過率が上昇(66.9％→80.1％)し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

①平成29、30年度調査において課題の見られた「読み取った内容を基に、適切な疑問文を書くこと」については、依然として設定通過率の「－10％より低い」という結果である。

②「書くこと」において、三人称単数現在形などについて、基本的な語や文法事項の知識の定着やそれらを活用して正しい文を書くことに課題が見られる。

３　今後の指導

「書くこと」に関して、習得した言語材料をコミュニケーションの中で活用させながら、「話すこと」などと関連付けた指導を工夫する。

・言語材料の定着を図るために、言語の使用場面や言語の働きに配慮し、実際のコミュニケーションを意識した言語活動の中で繰り返し活用させる。また、話す活動において用いた語句等を書く活動につなげることで定着を図る。

・例えば、三人称単数現在形を用いた英文において、家族や友達を紹介するなどの場面を設定し、話す活動や書く活動を通して繰り返し活用させるようにする。

聞いたり読んだりして理解したことについて、場面や状況、読み手の意向等に応じて、文脈に沿って英文を書く指導を工夫する。

・身近な話題について文量等にとらわれない形式で英文を書く活動や、聞いたり読んだりしたことについて自分の考えや気持ちを書くなどの領域間の統合を図る言語活動を、年間を通じて計画的・継続的に取り入れ、書くことへの抵抗感を減らすようにする。

・書き始める前に、場面や状況、相手の意向等を捉えた上で、自分の考えや気持ちを伝える英文としてふさわしい表現となるよう見通しをもたせる。

・書いた英文を生徒同士で読み合い、読み手に正しく伝わる英文になっているかなどについてアドバイスし合う活動を取り入れる。

※指導例　：通し番号(14、(16、(18、(19

聞いたり読んだりしたことについて、情報を整理して話したり書いたりする活動を通して、言語材料の定着と、文脈に沿って英文を書く力の育成を目指す活動の例

① 家族や友達、憧れの人物などについて写真などを示しながら紹介する。

Look at this picture.
This is my father.
He is a teacher.
I like him very much.
Do you have any questions about him?

② 紹介された人物について、詳しく知るために質問をして情報を得る。

＜質問例＞
・What does he like?
・What subject does he teach?
・(料理をしている写真を見て)
Can he cook well?
What is he cooking now?
・Why do you like him?

③ 友達の「家族や友達、憧れの人物」について説明する英文を書く。

④ 友達や教師によるアドバイス等を受けて文脈を意識しながら正しい英文で書く。

This is Mari's father. He is a teacher. He teaches math. He likes cooking. He cooks every day. He is very kind and he works hard for his students. So Mari likes him very much.

⑤ 事後の活動として、別の友達に口頭で紹介したり、紹介文を生徒同士で読み合ったりする機会を設定する。

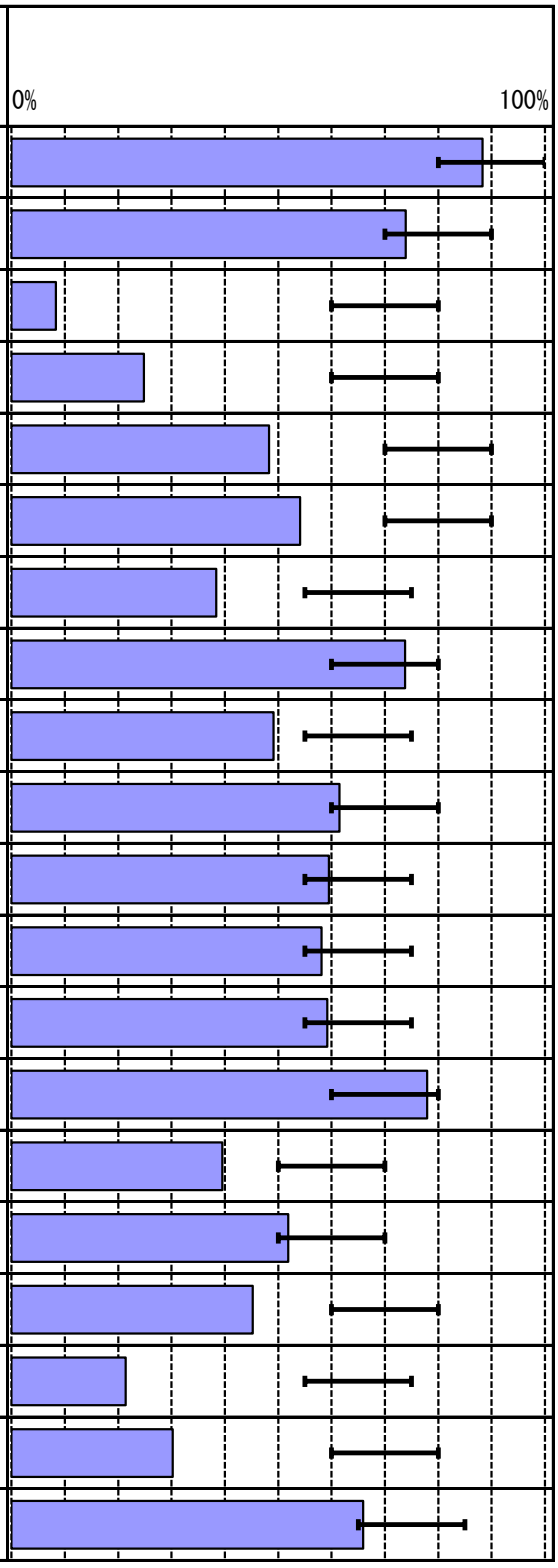
令和元年度秋田県学習状況調査　中学校第２学年　英語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準		通し番号	観点		
						表現	理解	知識・理解
第２学年	聞くこと	ア(ｲ)	[正確な聞き取り]	・短い英語の指示を聞いて，必要な情報を聞き取ることができる。	(1		○	
		ア(ｵ)	[適切な聞き取り]	・会話を聞いて，要点を適切に聞き取ることができる。	(2 (3		○	
		ア(ｲ)	[正確な聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて，情報を正確に聞き取ることができる。	(4 (5		○	
		ア(ｳ)	[適切な聞き取り]	・話し手の問い掛けを聞いて，適切に応じることができる。	(6		○	
		ア(ｳ)	[適切な聞き取り]	・聞いて把握した内容について，適切に応じることができる。	(7		○	
	読むこと	ウ(ｳ)	[正確な読み取り]	・書かれた内容について，正確に読み取ることができる。	(8 (9 (10		○	
		ウ(ｳ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について，要点を適切に読み取ることができる。	(11		○	
		ウ(ｳ)	[正確な読み取り]	・話の流れをつかみながら，文章を正確に読み取ることができる。	(12		○	
	書くこと	エ(ｲ)	[言語についての知識・理解]	・正しい語法や文法を理解し，文脈の中で正確に用いることができる。	(13 (14			○
		エ(ｳ)	[適切な筆記]	・読み取った内容を基に，適切に英文を書くことができる。	(15	○		
		エ(ｵ)	[適切な筆記]	・自分のことについて，内容につながりをもたせて適切に英文を書くことができる。	(16	○		
		エ(ｲ)	[正確な筆記]	・与えられた語を用いて，会話が成り立つように英文を書くことができる。	(17 (18			○
		エ(ｲ)	[言語についての知識・理解]	・正しい語順を用いて，文を構成する知識を身に付けている。	(19 (20			○

中学校２年　英語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　51.4%

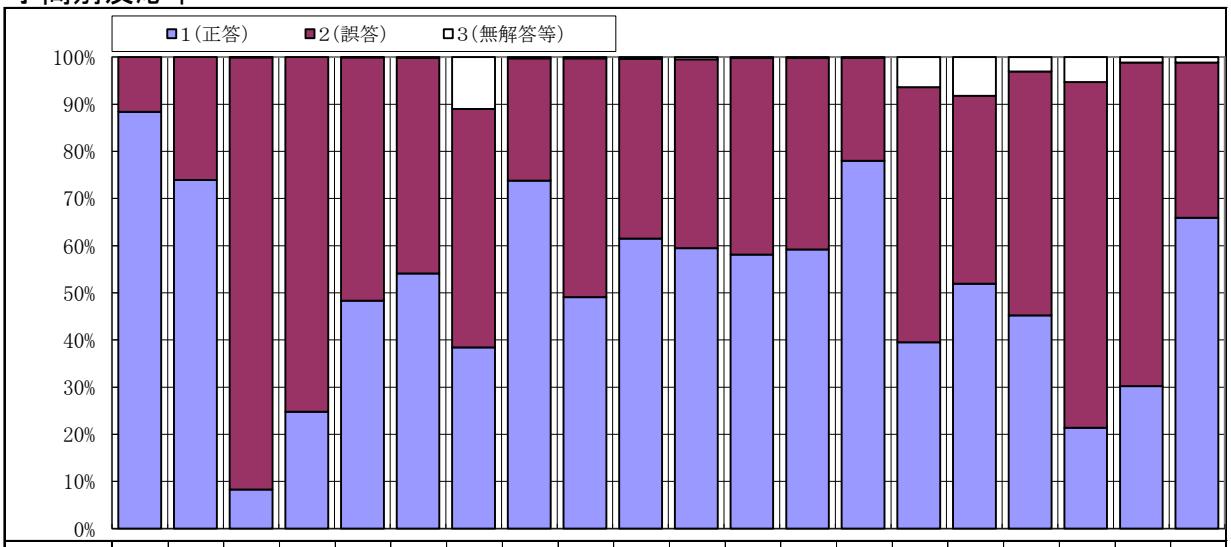
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（聞）短い英語の指示の聞き取り	88.3	90.0
（2	（聞）週末の予定の聞き取り	73.9	80.0
（3	（聞）駅に行くべき時間についての聞き取り	8.3	70.0
（4	（聞）遅れた理由についての聞き取り	24.8	70.0
（5	（聞）話の話題についての聞き取り	48.3	80.0
（6	（聞）質問に対する適切な応答	54.1	80.0
（7	（聞）聞いた内容に対する適切な応答	38.4	65.0
（8	（読）漢字の成り立ちについての会話文の読み取り	73.8	70.0
（9	（読）スピーチの内容についての読み取り	49.1	65.0
（１０	（読）グラフと表を説明した英文の読み取り	61.5	70.0
（１１	（読）スピーチの要点についての読み取り	59.5	65.0
（１２	（読）適切な文章の構成	58.1	65.0
（１３	（書）適切な動詞の選択	59.2	65.0
（１４	（書）適切な接続詞の選択	77.9	70.0
（１５	（書）会話とメモの内容を踏まえた英文の作成	39.5	60.0
（１６	（書）冬休みにしたいことについての英文の作成	51.9	60.0
（１７	（書）与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成（三単現の否定文）	45.2	70.0
（１８	（書）与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成（現在進行形の文）	21.4	65.0
（１９	（書）不定詞の副詞的用法の文の構造	30.2	70.0
（２０	（書）不定詞の形容詞的用法の文の構造	65.9	75.0



※⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　英語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	88.3	73.9	8.3	24.8	48.3	54.1	38.4	73.8	49.1	61.5	59.5	58.1	59.2	77.9	39.5	51.9	45.2	21.4	30.2	65.9
2 (誤答)	11.6	26.1	91.6	75.2	51.6	45.7	50.6	25.9	50.6	38.1	40.1	41.7	40.6	21.8	54.1	39.9	51.7	73.4	68.6	32.9
3 (無解答等)	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	11.0	0.3	0.3	0.4	0.5	0.2	0.2	0.2	6.4	8.2	3.1	5.3	1.2	1.2

小問別通過率度数分布表（116校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	13	4	1		1		1	2	2	2	3	2		4		2	1			4	0
90%～100%	43	3				1		7	1	2	1	1	1	11		3	2	1		12	0
80%～90%	46	23			2	4	4	27	2	6	1	6	6	42	1	6	2	1	4	18	1
70%～80%	13	50		1	3	5	2	41	3	16	16	15	18	39	8	17	7		6	23	1
60%～70%	1	28		1	9	19	12	24	15	41	31	28	29	16	4	13	15	1	2	22	13
50%～60%		6	1	1	44	46	17	13	26	34	46	40	40	3	16	25	17		6	22	53
40%～50%				2	36	34	22	1	42	12	13	19	13		22	19	23	7	13	9	43
30%～40%				22	14	5	19		21	2	2	3	4		34	18	32	10	16	5	4
20%～30%			3	51	5		22		3		1	1	2		21	7	12	26	30		1
10%～20%			30	29	1		11								6	4	1	50	22		
0%～10%		2	81	9	1	2	6	1	1	1	2	1	3	1	4	2	4	20	17	1	

中学校２年　英語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			領域別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	1	6	3	2	4	4	１０
－10％ より低い	1	6	3	5	1	4	１０
計	2	１２	6	7	5	8	２０

2　考察

(1) 全体について

①20問中10問が設定通過率の「－10%より低い」という結果であり、全体的に学習内容の定着状況に課題が見られる。

②「聞くこと」の７問中５問、「書くこと」の８問中４問が「－10%より低い」という結果であり、課題が見られる。

(2) 成果

①聞いた内容に対して自分の考えを書く設問における通過率が、平成30年度調査から17.4ポイント上昇し、指導の改善が図られている。

②平成30年度調査と比較すると、時制に応じて正しい語を選択する設問における通過率が、24.2ポイント、不定詞を用いて英文を作成する設問における通過率が、10.2ポイント上昇しており、文の構造等に関して指導の改善が図られている。

(3) 課題

①「聞くこと」において、聞き取った内容を場面や状況等と関連付けて思考し、必要な情報や要点などを理解することに課題が見られる。

②場面や状況等に応じた文を、基本的な語句や表現を用いて書くことに課題が見られる。

3　今後の指導

習得した言語材料を、意味や用法を考えながら活用し、それらが実際のコミュニケーションにおいて役立つものであることを実感できるような言語活動を継続的に行う。

・新たに語句や表現を学習する際には、具体的な目的や場面を設定するなど、意味のある文脈の中で活用することを通して定着を図る。

・生徒一人一人の活動の状況やつまずきを明確な視点をもって見取り、個の習熟の程度に応じて、ヒントを示したり、辞書の使用を促したりするなどして、誤りを修正させたり、言語材料への理解を深めさせたりする手立てを講じる。

聞いたり読んだりして理解したことについて、情報を整理し、自分の考えや気持ちなどが聞き手や読み手に正しく伝わるように話したり書いたりする活動の充実を図る。

・聞いたり読んだりして理解した内容について、自分の考えや気持ちを書くなどの領域間の統合的な言語活動を計画的・継続的に取り入れる。聞いたり読んだりする際には、要点をメモさせたり線を引かせたりするなど、内容理解のための方法について指導する。

・生徒が自分の考えや気持ちなどをメモやイメージマップ等を活用して整理し、伝え合いながら考えを広げたり深めたりできるよう言語活動を充実させる。その際には、語句や表現と伝える内容の両方の適切さや正確さに目を向けさせ、適切なフィードバックを行う。

※指導例：通し番号(3、(4、(7、(15、(16

ＡＬＴのスピーチを聞き、その内容について友達と伝え合いながら自分の考えをまとめ、ＡＬＴへ自分の考えや気持ちを伝える、複数の領域を統合して行う活動の例

ＡＬＴのスピーチをメモを取りながら聞く。

【ALT によるスピーチ】

I like spring the best of all seasons. We can see many beautiful flowers and trees in spring. I enjoy hiking. Which season do you like? And why do you think so? Please tell me.

⇨

聞いた内容について自分の考えや気持ち等を友達と伝え合う。

S1：Ms. Jones likes spring the best. She likes seeing beautiful flowers and trees. How about you?

S2：I like spring, too. But I like summer better.

S1：Me, too. I can enjoy swimming in summer.

S2：I like it because we have a long vacation.

⇨

伝え合った内容を基にＡＬＴへの応答文を書く。

I like summer the best of all seasons. I can enjoy swimming in the sea. And we have a long vacation in summer. I go to the sea with my family ever year. It is very fun. So I like summer the best.

【指導のポイント】

生徒同士で伝え合わせる際は、文法上の誤り等はある程度許容しつつ、スピーチの概要を聞き取れているか、自分の考え等を伝えられているかを重視して見取り、会話を継続・発展させることができるよう励ましながら指導する。応答文を書かせる際は、生徒同士による相互評価や教師のアドバイス等を基に、語彙や表現の選択、内容や文構成等を再構築できるよう指導する。